

**FUJIFILM**

DIGITAL CAMERA

# **GFX 100**

Version 4.00

FF180005

使用説明書

## はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

## 最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>



## 章目次

---


<b>メニュー一覧</b>	iv
<b>1 このカメラの概要</b>	1
<b>2 撮影の準備</b>	37
<b>3 基本的な撮影と再生</b>	55
<b>4 動画の撮影と再生</b>	61
<b>5 撮影に関する設定</b>	69
<b>6 撮影メニュー</b>	111
<b>7 画像の再生と再生メニュー</b>	191
<b>8 セットアップメニュー</b>	217
<b>9 ショートカット機能</b>	259
<b>10 オプション品・外部機器の使い方</b>	277
<b>11 他機器との接続</b>	295
<b>12 資料</b>	313

# メニュー一覧



このカメラで使用できるメニューの一覧です。

## 撮影メニュー

静止画撮影や動画撮影時に使用できるメニューです。

 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (📖 111)。

## 静止画撮影メニュー

-   の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。
- (V.4) が付いている項目は、Ver.4.00 で追加または変更されたメニューです。

📖	画質設定	📖
	撮影モード (V.4)	112
	画像サイズ	112
	画質モード	113
	RAW 記録方式	114
1/4	フィルム シミュレーション (V.4)	115
	モノクローム カラー (V.4)	117
	グレイン・エフェクト	117
	カラークローム・エフェクト	117
	カラークローム ブルー	118
	スムーズスキン・エフェクト	118
	ダイナミックレンジ	119
2/4	D レンジ優先	120
	ホワイトバランス	121
	トーンカーブ (V.4)	125
	カラー	125
	シャープネス	125

📖	画質設定	📖
	高感度ノイズ低減 (V.4)	126
	明瞭度 (V.4)	126
	長秒時ノイズ低減	126
	点像復元処理	127
3/4	色空間	127
	ピクセルマッピング	128
	カスタム選択 (V.4)	128
	カスタム登録 / 編集 (V.4)	129
	カスタム登録内容の自動更新 (V.4)	133
4/4	  マウントアダプター設定 (V.4)	134

AF MF フォーカス設定		📖
1/3	フォーカスエリア選択	137
	AF モード	137
	AF-C カスタム設定	138
	縦 / 横位置 AF モード切替	141
	AF ポイント表示  	141
	フォーカス点数切り替え	142
	プリ AF	142
  AF 補助光 (V.4)	142	
2/3	顔検出 / 瞳 AF 設定	143
	AF+MF	145
	MF アシスト	146
	フォーカスチェック	146
	測光&フォーカスエリア連動	147
	  ワンタッチ AF 時の動作 (V.4)	147
	  被写界深度スケール (V.4)	148
レリーズ優先 / フォーカス優先	148	
3/3	  フォーカスリミッター (V.4)	149
	  タッチパネルモード (V.4)	150

📷 撮影設定		📖
1/2	セルフタイマー	152
	セルフタイマー設定保持	153
	セルフタイマーランブ (V.4)	153
	インターバルタイマー撮影	154
	インターバルタイマー撮影 露出平準化	155
	AE ブラケットング設定	156
	フィルムシミュレーション BKT (V.4)	156
2/2	フォーカス BKT 設定	156
	測光	156
	シャッター方式	157
	フリッカー低減 (V.4)	158
	感度	158
	ブレ防止モード	159
	35mm フォーマットモード	160
  ワイヤレス通信 (V.4)	161	

🔦 フラッシュ設定		📖
	フラッシュ機能設定	162
	赤目補正	162
	TTL-LOCK モード	163
	LED ライト設定	163
	コマンダー設定	164
	CH 設定	164

## 動画撮影メニュー



- と の両方のアイコンが付いている項目は、静止画撮影メニューと動画撮影メニューで共通の項目です。設定を変更すると両方同時に変更されます。
- (V.4) が付いている項目は、Ver.4.00 で追加または変更されたメニューです。

📹 動画設定		📖
	撮影モード (V.4)	165
	動画モード	165
	ファイル形式 (V.4)	166
	動画圧縮方式	167
1 <sup>3</sup>	動画クロープ倍率固定モード (V.4)	167
	F-Log/HLG/RAW 撮影	168
	4K 映像出力先	170
	FULL HD 映像出力先	170
	HDMI 出力情報表示	171
	4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)	171
	HDMI レックコントロール	171
2 <sup>3</sup>	測光 (V.4)	171
	ブレ防止モード (V.4)	172
	ブレ防止モードブースト (V.4)	172
	感度 (V.4)	173
	ゼブラ設定	173
	ゼブラレベル	173
	動画専用操作モード  (V.4)	174
	タリーランプ	174
3 <sup>3</sup>	カスタム選択 (V.4)	175
	カスタム登録 / 編集 (V.4)	175
	カスタム登録内容の自動更新 (V.4)	175
	ワイヤレス通信 (V.4)	175

📺 画質設定		📖
	フィルム シミュレーション (V.4)	176
	モノクローム カラー (V.4)	176
	ダイナミックレンジ	177
1 <sup>2</sup>	ホワイトバランス (V.4)	177
	トーンカーブ (V.4)	177
	カラー	177
	シャープネス	178
	高感度ノイズ低減 (V.4)	178
	フレーム間ノイズリダクション	178
2 <sup>2</sup>	周辺光量補正	179
	マウントアダプター設定 (V.4)	179

AF MF フォーカス設定		📖
1/2	📷 フォーカスエリア選択	180
	📷 AF モード (V.4)	180
	📷 AF-C カスタム設定	181
	📷 📷 AF 補助光 (V.4)	181
	📷 📷 顔検出 / 瞳 AF 設定	182
	📷 MF アシスト	182
	📷 フォーカスチェック	183
	📷 📷 ワンタッチ AF 時の動作 (V.4)	183
2/2	📷 📷 被写界深度スケール (V.4)	183
	📷 📷 フォーカスリミッター (V.4)	183
	📷 📷 タッチパネルモード (V.4)	184
	フォーカスチェックロック (V.4)	186

🔊 オーディオ設定		📖
	内蔵マイクレベル設定 (V.4)	187
	外部マイクレベル設定 (V.4)	187
	マイク端子設定 (V.4)	188
	マイクレベルリミッター (V.4)	188
	風音低減 (V.4)	188
	ローカットフィルター (V.4)	188
	ヘッドホン音量 (V.4)	188

🕒 タイムコード設定		📖
	タイムコード表示 (V.4)	189
	開始時間設定 (V.4)	189
	カウントアップ設定 (V.4)	189
	ドロップフレーム (V.4)	190
	HDMI タイムコード出力 (V.4)	190

## 再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。



- 詳細は再生メニューをご覧ください (P.197)。
- (V4) が付いている項目は、Ver.4.00 で追加または変更されたメニューです。

再生メニュー	
1/3	197
RAW 現像 (V4)	198
消去	200
同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)	202
トリミング	202
リサイズ	203
プロテクト	204
画像回転	205
赤目補正	206
ボイスメモ設定	207
レーティング	208
画像コピー	209
画像転送予約	210
📷📶 ワイヤレス通信 (V4)	211
フォトブックアシスト	212
プリント予約 (DPOF)	214

再生メニュー	
3/3	215
instax プリンタープリント 表示比率	216



## セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

- 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (P.217)。
- (V.4) が付いている項目は、Ver.4.00 で追加または変更されたメニューです。

基本設定		表示設定		
1/2	フォーマット	218	EVF 明るさ	225
	日時設定	219	EVF 鮮やかさ	225
	世界時計	219	EVF 色調整	225
	言語/LANG.	220	LCD 明るさ	226
	マイメニュー設定 (V.4)	220	LCD 鮮やかさ	226
	マイメニュー設定 (V.4)	220	LCD 色調整	226
	センサークリーニング	221	LCD 色調整	226
	バッテリー劣化度	221	撮影画像表示	227
2/2	リセット	222	縦横自動回転表示	227
	認証	222	マニュアル時モニター露出 / WB 反映	228
音設定		2/4		
	AF 合焦音量	223	ナチュラルライブビュー	228
	セルフタイマー音量	223	F-Log ビューアシスト (V.4)	229
	操作音量	224	フレーミングガイド	229
	シャッター音量	224	縦横自動回転再生	230
	シャッター音	224	再生時拡大倍率 (V.4)	230
	再生音量	224	距離指標の単位	230
				2画面モード表示設定
3/4			画面のカスタマイズ	231
			情報表示拡大モード (EVF)	232
			情報表示拡大モード (LCD)	232
			情報表示拡大 表示設定	233
			情報表示コントラスト調整	233
			サブ液晶モニター設定	234
			リアサブモニター設定	236
4/4			サブ液晶モニター背景色	238
			リアサブモニター明るさ	238
			クイックメニュー背景設定 (V.4)	238
			クイックメニュー背景設定 (V.4)	238

操作ボタン・ダイヤル設定		目録	
1/3	フォーカスレバー設定	239	
	📷 クイックメニュー登録 / 編集 (V.4)	239	
	📷 クイックメニュー登録 / 編集 (V.4)	239	
	ファンクション (Fn) 設定 (V.4)	240	
	コマンドダイヤル設定 (V.4)	240	
	コマンドダイヤル回転方向 (V.4)	241	
	半押し AF	241	
	半押し AE	241	
	2/3	レンズなしリリース	242
		カードなしリリース	242
フォーカスリング		242	
フォーカスリング操作		242	
AE/AF-LOCK 設定		243	
AWB-LOCK 設定		243	
露出補正ボタン設定		243	
タッチパネル設定	244		
3/3	ロック (V.4)	245	
消費電力設定		目録	
	自動電源 OFF	246	
	パフォーマンス (V.4)	247	
	撮影スタンバイモード	248	
	オートパワーセーブ	248	

保存設定		目録
1/2	コマ NO.	249
	処理前画像記録	250
	ファイル名編集	250
	📷 カードスロット設定 (V.4)	250
	📷 カードスロット設定 (V.4)	251
	スロット選択 (📷 順次記録時)	251
	スロット選択 (📷 順次記録時)	251
	フォルダ選択	252
2/2	著作権情報	252
接続設定		目録
	Bluetooth 設定	253
	ネットワーク設定	254
	instax プリンター接続設定	255
	接続モード (V.4)	256
	無線通信周波数設定	257
	共通設定	258
	情報表示 (V.4)	258
	ワイヤレス設定初期化	258



# 目次

はじめに .....	ii
最新情報について .....	ii
メニュー一覧 .....	iv
撮影メニュー .....	iv
再生メニュー .....	viii
セットアップメニュー .....	ix
付属品一覧 .....	xxiii
本書について .....	xxiv
本書で使われている記号について .....	xxiv
画面のイラストや写真について .....	xxiv
表記について .....	xxiv

## 1 このカメラの概要 1

カメラの各部名称と機能 .....	2
銘板プレート .....	5
フォーカスレバー .....	5
ドライブモードダイヤル .....	6
ドライブボタン .....	7
コマンドダイヤル .....	8
インジケータランプ .....	9
液晶モニター .....	10
交換式ファインダーの各部名称と機能 .....	11
ファインダーの取り付け方 .....	12
アイカップ .....	13
視度調節ダイヤル .....	13
撮影時の表示画面 .....	14
EVF の表示画面 .....	14
LCD の表示画面 .....	16
EVF と LCD の切り替え .....	18
EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整 .....	19
情報表示の切り替え .....	20
2 画面について .....	21
「スタンダード」画面の表示について .....	22
サブ液晶モニター .....	24
リアサブモニター .....	27

メニューの使い方 .....	28
メニュー画面について .....	28
メニュータブへの移動 .....	29
タッチ操作について .....	30
撮影時のタッチ操作について .....	30
再生時のタッチ操作について .....	34
縦位置撮影 .....	35
縦表示について .....	35

## 2 撮影の準備 37

ストラップを取り付ける .....	38
レンズを取り付ける .....	39
バッテリーを充電する .....	40
バッテリーを入れる .....	44
メモリーカードを入れる .....	46
2枚のメモリーカードを使用する場合 .....	47
使用可能なメモリーカード .....	48
電源をオンにする / オフにする .....	49
バッテリー残量の表示 .....	50
初期設定を行う .....	51
言語を変更する .....	53
日時を変更する .....	53


## 3 基本的な撮影と再生 55





プログラムで静止画を撮影する .....	56
静止画を再生する .....	59
画像を消去する .....	60

## 4 動画の撮影と再生 61

動画を撮影する .....	62
動画の設定について .....	65
動画を再生する .....	66




<b>5</b>	<b>撮影に関する設定</b>	<b>69</b>
	P、S、A、M で撮影する.....	70
	プログラム (P) 撮影.....	70
	シャッタースピード優先 (S) 撮影.....	72
	絞り優先 (A) 撮影.....	74
	マニュアル (M) 撮影.....	76
	オートフォーカス撮影.....	80
	フォーカスモード.....	81
	AF モードの選択.....	83
	フォーカスエリアの変更.....	85
	マニュアルフォーカス撮影.....	88
	ピントの確認方法.....	90
	ISO 感度を変更.....	93
	AUTO 設定について.....	94
	測光モードを変更.....	95
	露出補正.....	96
	AE/AF ロック撮影.....	97
	ボタンによる AE/AF ロック.....	98
	ブラケティング撮影.....	99
	AE ブラケティング.....	100
	ISO ブラケティング.....	100
	フィルムシミュレーション BKT.....	100
	ホワイトバランス BKT.....	101
	ダイナミックレンジ BKT.....	101
	フォーカス BKT.....	102
	連続撮影 (連写).....	104
	多重露出撮影.....	106
	ピクセルシフトマルチショット.....	109
<b>6</b>	<b>撮影メニュー</b>	<b>111</b>
	画質設定 (静止画).....	112
	撮影モード (V4).....	112
	画像サイズ.....	112
	画質モード.....	113
	RAW 記録方式.....	114
	フィルム シミュレーション (V4).....	115

モノクローム カラー (V.4)	117
グレイン・エフェクト	117
カラークローム・エフェクト	117
カラークローム ブルー	118
スムーズスキン・エフェクト	118
ダイナミックレンジ	119
D レンジ優先	120
ホワイトバランス	121
トーンカーブ (V.4)	125
カラー	125
シャープネス	125
高感度ノイズ低減 (V.4)	126
明瞭度 (V.4)	126
長秒時ノイズ低減	126
点像復元処理	127
色空間	127
ピクセルマッピング	128
カスタム選択 (V.4)	128
カスタム登録 / 編集 (V.4)	129
カスタム登録内容の自動更新 (V.4)	133
  マウントアダプター設定 (V.4)	134
フォーカス設定 (静止画)	137
フォーカスエリア選択	137
AF モード	137
AF-C カスタム設定	138
縦 / 横位置 AF モード切替	141
AF ポイント表示  	141
フォーカス点数切り替え	142
プリ AF	142
  AF 補助光 (V.4)	142
顔検出 / 瞳 AF 設定	143
AF+MF	145
MF アシスト	146
フォーカスチェック	146
測光 & フォーカスエリア連動	147
  ワンプッシュ AF 時の動作 (V.4)	147

 被写界深度スケール (V.4)	148
レリーズ優先 / フォーカス優先	148
 フォーカスリミッター (V.4)	149
 タッチパネルモード (V.4)	150
<b>撮影設定 (静止画)</b>	<b>152</b>
セルフタイマー	152
セルフタイマー設定保持	153
セルフタイマーランプ (V.4)	153
インターバルタイマー撮影	154
インターバルタイマー撮影露出平準化	155
AE ブラケティング設定	156
フィルムシミュレーション BKT (V.4)	156
フォーカス BKT 設定	156
測光	156
シャッター方式	157
フリッカー低減 (V.4)	158
感度	158
ブレ防止モード	159
35mm フォーマットモード	160
 ワイヤレス通信 (V.4)	161
<b>フラッシュ設定 (静止画)</b>	<b>162</b>
フラッシュ機能設定	162
赤目補正	162
TTL-LOCK モード	163
LED ライト設定	163
コマンダー設定	164
CH 設定	164
<b>動画設定 (動画)</b>	<b>165</b>
撮影モード (V.4)	165
動画モード	165
ファイル形式 (V.4)	166
動画圧縮方式	167
動画クロップ倍率固定モード (V.4)	167
F-Log/HLG/RAW 撮影	168
4K 映像出力先	170
FULL HD 映像出力先	170



HDMI 出力情報表示.....	171
4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時).....	171
HDMI レックコントロール.....	171
測光 (V.4).....	171
プレ防止モード (V.4).....	172
プレ防止モードブースト (V.4).....	172
感度 (V.4).....	173
ゼブラ設定.....	173
ゼブラレベル.....	173
動画専用操作モード   (V.4).....	174
タリーランプ.....	174
カスタム選択 (V.4).....	175
カスタム登録 / 編集 (V.4).....	175
カスタム登録内容の自動更新 (V.4).....	175
ワイヤレス通信 (V.4).....	175
画質設定 (動画).....	176
フィルム シミュレーション (V.4).....	176
モノクローム カラー (V.4).....	176
ダイナミックレンジ.....	177
ホワイトバランス (V.4).....	177
トーンカーブ (V.4).....	177
カラー.....	177
シャープネス.....	178
高感度ノイズ低減 (V.4).....	178
フレーム間ノイズリダクション.....	178
周辺光量補正.....	179
マウントアダプター設定 (V.4).....	179
フォーカス設定 (動画).....	180
フォーカスエリア選択.....	180
AF モード (V.4).....	180
AF-C カスタム設定.....	181
AF 補助光 (V.4).....	181
顔検出 / 瞳 AF 設定.....	182
MF アシスト.....	182
フォーカスチェック.....	183
ワンプッシュ AF 時の動作 (V.4).....	183






  被写界深度スケール (V.4)	183
  フォーカスリミッター (V.4)	183
  タッチパネルモード (V.4)	184
フォーカスチェックロック (V.4)	186
<b>オーディオ設定 (動画)</b>	<b>187</b>
内蔵マイクレベル設定 (V.4)	187
外部マイクレベル設定 (V.4)	187
マイク端子設定 (V.4)	188
マイクレベルリミッター (V.4)	188
風音低減 (V.4)	188
ローカットフィルター (V.4)	188
ヘッドホン音量 (V.4)	188
<b>タイムコード設定 (動画)</b>	<b>189</b>
タイムコード表示 (V.4)	189
開始時間設定 (V.4)	189
カウントアップ設定 (V.4)	189
ドロップフレーム (V.4)	190
HDMI タイムコード出力 (V.4)	190





## **7 画像の再生と再生メニュー** **191**

再生時の表示画面	192
情報表示の切り替え	193
再生方法	195
再生ズーム	196
マルチ再生	196
再生メニュー	197
スロット切り替え	197
RAW 現像 (V.4)	198
消去	200
同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)	202
トリミング	202
リサイズ	203
プロテクト	204
画像回転	205
赤目補正	206
ボイスメモ設定	207
レーティング	208

画像コピー.....	209
画像転送予約.....	210
  ワイヤレス通信 (V.4).....	211
フォトブックアシスト.....	212
プリント予約 (DPOF).....	214
instax プリンタープリント.....	215
表示比率.....	216

## 8 セットアップメニュー 217

セットアップメニュー (基本設定).....	218
フォーマット.....	218
日時設定.....	219
世界時計.....	219
 言語/LANG.....	220
 マイメニュー設定 (V.4).....	220
 マイメニュー設定 (V.4).....	220
センサークリーニング.....	221
バッテリー劣化度.....	221
リセット.....	222
認証.....	222
セットアップメニュー (音設定).....	223
AF 合焦音量.....	223
セルフタイマー音量.....	223
操作音量.....	224
シャッター音量.....	224
シャッター音.....	224
再生音量.....	224
セットアップメニュー (表示設定).....	225
EVF 明るさ.....	225
EVF 鮮やかさ.....	225
EVF 色調整.....	225
LCD 明るさ.....	226
LCD 鮮やかさ.....	226
LCD 色調整.....	226
撮影画像表示.....	227
縦横自動回転表示.....	227
マニュアル時モニター露出/WB 反映.....	228

ナチュラルライブビュー	228
F-Log ビューアシスト (V.4)	229
フレーミングガイド	229
縦横自動回転再生	230
再生時拡大倍率 (V.4)	230
距離指標の単位	230
2画面モード表示設定	231
画面のカスタマイズ	231
情報表示拡大モード (EVF)	232
情報表示拡大モード (LCD)	232
情報表示拡大 表示設定	233
情報表示コントラスト調整	233
サブ液晶モニター設定	234
リアサブモニター設定	236
サブ液晶モニター背景色	238
リアサブモニター明るさ	238
 クイックメニュー背景設定 (V.4)	238
 クイックメニュー背景設定 (V.4)	238
セットアップメニュー (操作ボタン・ダイヤル設定)	239
フォーカスレバー設定	239
 クイックメニュー登録 / 編集 (V.4)	239
 クイックメニュー登録 / 編集 (V.4)	239
ファンクション (Fn) 設定 (V.4)	240
コマンドダイヤル設定 (V.4)	240
コマンドダイヤル回転方向 (V.4)	241
半押し AF	241
半押し AE	241
レンズなしリリース	242
カードなしリリース	242
フォーカスリング	242
フォーカスリング操作	242
AE/AF-LOCK 設定	243
AWB-LOCK 設定	243
露出補正ボタン設定	243
タッチパネル設定	244
ロック (V.4)	245

セットアップメニュー（消費電力設定）.....	246
自動電源 OFF .....	246
パフォーマンス (V.4) .....	247
撮影スタンバイモード .....	248
オートパワーセーブ .....	248
セットアップメニュー（保存設定）.....	249
コマ NO.....	249
処理前画像記録 .....	250
ファイル名編集 .....	250
📷 カードスロット設定 (V.4) .....	250
📷 カードスロット設定 (V.4) .....	251
スロット選択 (📷 順次記録時) .....	251
スロット選択 (📷 順次記録時) .....	251
フォルダ選択 .....	252
著作権情報 .....	252
セットアップメニュー（接続設定）.....	253
Bluetooth 設定 .....	253
ネットワーク設定 .....	254
instax プリンター接続設定 .....	255
接続モード (V.4) .....	256
スマートフォン無線通信周波数設定 .....	257
共通設定 .....	258
情報表示 (V.4) .....	258
ワイヤレス設定初期化 .....	258

## 9 ショートカット機能 259

ショートカット機能について .....	260
マイメニュー .....	261
マイメニュー設定 .....	261
クイックメニュー .....	263
クイックメニュー画面 .....	263
設定の確認と変更 .....	265
クイックメニューの割り当て変更 .....	266
ファンクション機能 .....	269
ファンクションボタン .....	269
タッチファンクション .....	274

<b>10 オプション品・外部機器の使い方</b>	<b>277</b>
交換レンズ.....	278
レンズの各部名称.....	278
交換レンズのお手入れ.....	279
レンズキャップの取り外し方.....	279
レンズフードの取り付け方.....	279
絞りリング.....	280
EVF チルトアダプター.....	281
取り付け方.....	282
使い方.....	283
クリップオンフラッシュ / シンクローターミナル.....	284
クリップオンフラッシュ・シンクローターミナルを設定する.....	285
シンクローターミナル.....	286
クリップオンフラッシュ.....	287
コマンダー（光通信）.....	290
<b>11 他機器との接続</b>	<b>295</b>
HDMI 出力.....	296
HDMI 機器との接続.....	296
撮影画面の出力.....	297
再生画面の出力.....	297
無線通信で接続（Bluetooth® / 無線 LAN（Wi-Fi））.....	298
スマートフォンと通信する（FUJIFILM Camera Remote）.....	298
テザー撮影機能を使用する（Capture One Pro Fujifilm/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire）.....	300
USB ケーブルで接続.....	301
テザー撮影機能を使用する（Capture One Pro Fujifilm/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Pixel Shift Combiner）.....	304
メモリーカードの画像をパソコンに転送する.....	305
カメラをウェブカメラとして使用する（FUJIFILM X Webcam）.....	305
RAW 現像する（FUJIFILM X RAW STUDIO）.....	306
カメラの設定を保存する / 読み込む（FUJIFILM X Acquire）.....	306
スマートフォンと接続する.....	307

instax SHARE プリンターと接続.....	310
プリンターとの接続を設定する.....	310
画像をプリントする.....	311

## 12 資料

## 313

カメラで使える別売アクセサリ.....	314
カメラで使えるソフトウェア.....	316
FUJIFILM Camera Remote.....	316
RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX.....	316
Capture One Express Fujifilm.....	316
Capture One Pro Fujifilm.....	316
Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX.....	317
FUJIFILM X Acquire.....	317
FUJIFILM X Webcam.....	317
FUJIFILM X RAW STUDIO.....	318
FUJIFILM Pixel Shift Combiner.....	318
お取り扱いにご注意ください.....	319
お手入れについて.....	334
センサークリーニング.....	335
ファームウェア更新情報.....	336
ファームウェアバージョンの確認方法.....	336
トラブルシューティング / FAQ.....	337
警告表示.....	350
標準撮影枚数 / 記録時間.....	355
主な仕様.....	356
索引.....	362
ソフトウェアのお問い合わせ.....	368
アフターサービスについて.....	369

## 付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-T125 (2 個)
- バッテリーチャージャー BC-T125 (1 個)
- プラグアダプター (1 式)
- 交換式ファインダー EVF-GFX2 (1 式)
- ボディキャップ (1 個) (本体に装着)
- ショルダーストラップ (1 本)
- ケーブルプロテクター (1 個)
- ホットシューカバー (1 個) (端子保護用、本体に装着)
- シンクロターミナルキャップ (1 個) (本体に装着)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)



ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください ( 40)。






- プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。別紙のお知らせをご確認のうえ、適切なアダプターをご使用ください。
- このカメラで使用できるソフトウェアについては、 316 をご覧ください。

## 本書について

この説明書には、富士フィルムデジタルカメラ GFX100 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

### 本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

### 画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

### 表記について

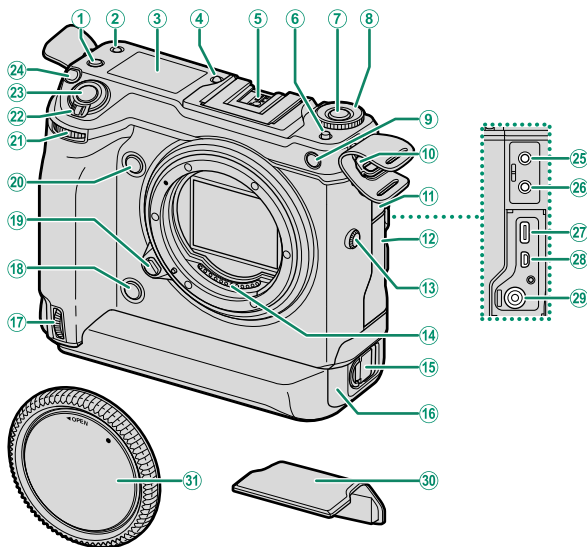
- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「メモリーカード」と表記します。
- このカメラは、ファインダーと液晶モニターを装備しています。本書では、ファインダーを「EVF」、液晶モニターを「LCD」と表記する場合があります。



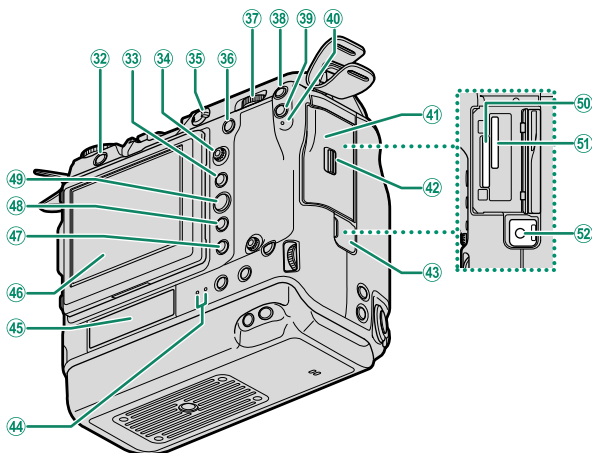
# このカメラの概要



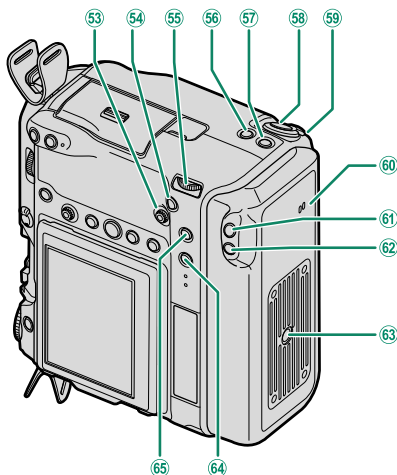
# カメラの各部名称と機能



① Fn2 ボタン	.....269	①⑦ 縦位置フロントコマンドダイヤル	.....8、35、240
② サブ液晶モニター切替ボタン	.....25	①⑧ 縦位置 Fn3 ボタン	.....35
③ サブ液晶モニター	.....24	①⑨ レンズ取り外しボタン	.....39
④ サブ液晶モニター照明ボタン	.....26	①⑩ Fn3 ボタン	.....269
⑤ ホットシュー	.....285	①⑪ フロントコマンドダイヤル	.....8、240
⑥ ドライブモードダイヤル		①⑫ 電源レバー	.....49
ロック解除ボタン	.....6	①⑬ シャッターボタン	.....58
⑦ ドライブボタン	.....7	①⑭ Fn1 ボタン	.....269
⑧ ドライブモードダイヤル	.....6	☑ (露出補正) ボタン	.....96
⑨ AF 補助光ランプ	.....142	①⑮ マイク端子	.....63、187、188
セルフタイマーランプ	.....152	①⑯ ヘッドホン端子	.....188
⑩ ストラップリング	.....38	①⑰ USB 端子 (Type-C)	.....43、301
⑪ 端子カバー 1		①⑱ HDMI マイクロ端子 (Type D)	.....296
⑫ 端子カバー 2		①⑲ DC-IN15V 端子	.....42
⑬ シンクロータミナル	.....286	①⑳ ホットシューカバー	.....285
⑭ レンズ信号接点		①㉑ ボディキャップ	.....39
⑮ バッテリートレイロックレバー	.....44		
⑯ バッテリートレイ	.....44		



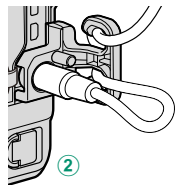
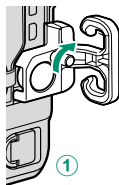
- |                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| ③② 𠄎 (消去) ボタン ..... 60               | ④④ インジケータランプ 2 ..... 9、42   |
| ③③ AE-L (AE ロック) ボタン ..... 98、269    | ④⑤ リアサブモニター ..... 27  |
| ③④ フォーカスレバー ..... 5、85、239           | ④⑥ チルト式液晶モニター (LCD)<br>..... 10、16、18、19<br>タッチパネル ..... 30、150、244 |
| ③⑤ フォーカスモード切換レバー ..... 81            | ④⑦ 𠄎 (再生) ボタン ..... 59  |
| ③⑥ AF-ON ボタン ..... 98、269            | ④⑧ <b>DISP/BACK</b> (表示 / 戻る) ボタン<br>..... 20、193                   |
| ③⑦ リアコマンドダイヤル<br>..... 8、195、240     | ④⑨ <b>MENU/OK</b> (メニュー / 決定) ボタン<br>..... 28                       |
| ③⑧ <b>Fn4</b> ボタン ..... 269          | ⑤⑩ メモリーカードスロット 1 ..... 46   |
| ③⑨ <b>Q</b> (クイックメニュー) ボタン ..... 263 | ⑤⑪ メモリーカードスロット 2 ..... 46   |
| ④① インジケータランプ 1 ..... 9               | ⑤⑫ リモートリリース端子 ..... 79  |
| ④② メモリーカードスロットカバー<br>..... 46        |   |
| ④③ リモートリリース端子カバー ..... 79            |   |



- |   |   |
|---|---|
| ⑤③ 縦位置フォーカスレバー.....5、35   | ⑥① スピーカー.....66、224                               |
| ⑤④ 縦位置 <b>AF-ON</b> ボタン.....35、269  | ⑥② 縦位置 <b>Fn4</b> ボタン.....35、269                  |
| ⑤⑤ 縦位置リアコマンドダイヤル<br>.....8、35、269   | ⑥③ 縦位置 <b>Q</b> (クイックメニュー) ボタン<br>.....35、263     |
| ⑤⑥ 縦位置 <b>Fn2</b> ボタン.....35、269  | ⑥④ 三脚用ねじ穴   |
| ⑤⑦ 縦位置 <b>Fn1</b> ボタン.....35、269  | ⑥⑤ <b>Fn5</b> ボタン.....83、269                      |
|  (露出補正) ボタン.....96 | ⑥⑥ 縦位置 <b>AE-L</b> (AE ロック) ボタン<br>.....35、98、269 |
| ⑤⑧ 縦位置シャッターボタン.....35、58  |   |
| ⑤⑨ 縦位置キーロックレバー.....35   |   |

### ケーブルプロテクターについて

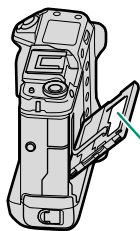
①ケーブルプロテクターは、AC電源アダプターやUSBケーブルを使っているときに、ケーブルに引っかかってケーブルが抜けたりするのを防ぐためのものです。プロテクターは、図のように取り付け、ネジを回して固定します。



②ケーブルを差し込んで、図のように通します。

## 銘板プレート

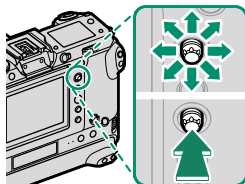
FCC ID、KC マーク、CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので、銘板プレートは取り外さないでください。



铭板プレート

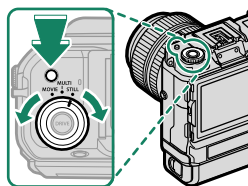
## フォーカスレバー

フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。



## ドライブモードダイヤル

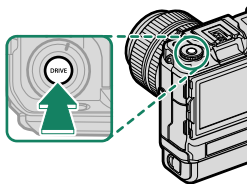
ドライブモードダイヤルでドライブモードを選べます。ドライブモードダイヤルロック解除ボタンを押しながら、ドライブモードダイヤルを回します。



設定	説明
<b>STILL</b>	一コマ撮影や連続撮影（連写）ができます（ <a href="#">図 56</a> 、 <a href="#">104</a> ）。
<b>MULTI</b>	ブラケティング撮影、多重露出撮影、ピクセルシフトマルチショットで静止画を撮影できます（ <a href="#">図 99</a> 、 <a href="#">106</a> 、 <a href="#">109</a> ）。
<b>MOVIE</b>	動画が撮影できます（ <a href="#">図 62</a> ）。

## ドライブボタン

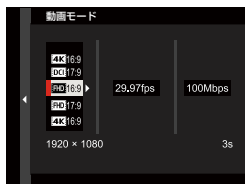
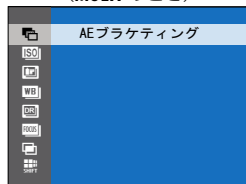
ドライブモードダイヤルが **STILL** または **MULTI** のときにドライブボタンを押すと、ドライブモード選択画面が表示されます。ドライブモードダイヤルが **MOVIE** のときにドライブボタンを押すと、動画モードの設定画面 ( 165 ) が表示されます。



ドライブモード選択画面  
(STILL のとき)



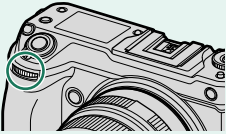
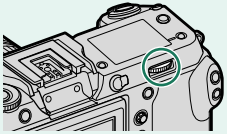


ドライブモード選択画面  
(MULTI のとき)



動画モードの設定画面  
(MOVIE のとき)

## コマンドダイヤル

フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで、以下の操作ができます。

	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
		
 <p>回転</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュータブ、ページの切り替え</li> <li>絞り値の変更<sup>*1、2</sup></li> <li>前後の画像を表示（再生時）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メニュー項目の選択</li> <li>プログラムシフト</li> <li>シャッタースピードの変更<sup>*1、4</sup></li> <li>露出補正<sup>*1</sup> (☑)（露出補正）ボタンを押しながら回転</li> <li>クイックメニューの設定値を変更</li> <li>フォーカスエリアのサイズ変更</li> <li>画像を再生ズーム（再生時）</li> <li>画像をマルチ再生（再生時）</li> </ul>
 <p>中央押し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絞り値、ISO 感度の切り替え<sup>*2</sup></li> <li>☑ <b>操作ボタン・ダイヤル設定</b> &gt; <b>コマンドダイヤル設定</b> の設定切り替え（長押し）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピント位置拡大表示<sup>*3</sup></li> <li>マニュアルフォーカス時に <b>MF アシスト</b> の設定切り替え（長押し）<sup>*3</sup></li> <li>ピント位置拡大表示（再生時）</li> </ul>

\*1 ☑ **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル設定** で設定を変更可能

\*2 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているとき

\*3 ファンクションボタンに **フォーカスチェック** が割り当てられているときのみ

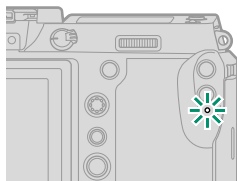
\*4 シャッタースピードがオート以外のとき

 コマンドダイヤルを回す方向は、☑ **操作ボタン・ダイヤル設定** > **コマンドダイヤル回転方向** で設定できます。



## インジケータランプ

インジケータランプ 1 の色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。



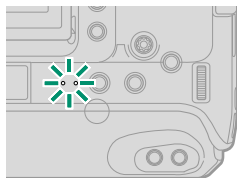
インジケータランプ 1	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。
	電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています。*
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

\* 転送予約した画像がある場合



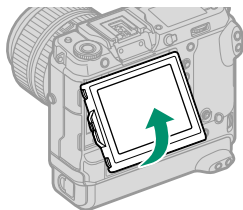
- 画面にも、警告表示が表示されます。
- ファインダーを覗いているときは、インジケータランプは点灯 / 点滅しません。
- 動画設定 > タリーランプ**で、動画の記録中に点灯するランプをインジケータランプから AF 補助光ランプに変えたり、点灯または点滅の設定を変更できます。

電源がオフの場合、バッテリー充電中はインジケータランプ 2 が緑色に点灯します。右側のランプは右側に入っているバッテリーの状態を表し、左側のランプは左側に入っているバッテリーの状態を表します（[図 42](#)）。




## 液晶モニター

液晶モニターをチルトすると、液晶モニターを見やすい角度に調整して撮影できます。液晶モニターをチルトしているときは、指などが挟まらないようにご注意ください。また、内側の配線などには触れないでください。故障の原因となります。



液晶モニターはタッチパネルとして操作できます。タッチパネルでは以下の操作ができます。

- タッチ操作による撮影 (図 31)
- フォーカスエリアの変更 (図 30)
- タッチファンクション (図 33)
- 動画専用操作モード  (図 32)
- 再生時の画面操作 (図 34)

### 縦向きチルトについて

このカメラでは、縦向きにしたときも縦方向に液晶モニターをチルトできます。縦位置（ローアングル/ハイアングル）撮影に便利です。

- チルトロック解除ボタンを押して、見やすい角度に調整してください (図 1)。
- 縦位置のハイアングル撮影では図のようにカメラを持ち替えると撮影しやすくなります (図 2)。

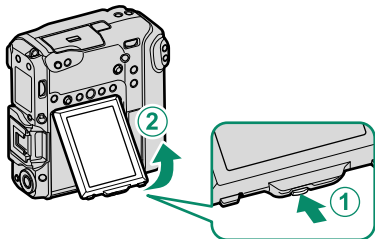


図 1

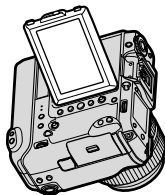
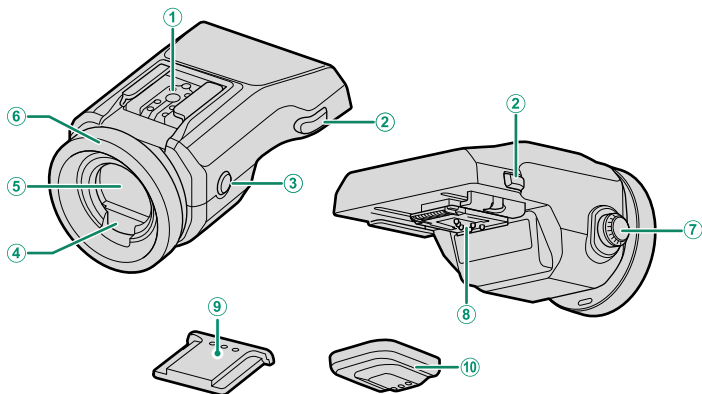


図 2

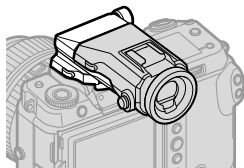
## 交換式ファインダーの各部名称と機能



- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| ① ホットシュー.....281、287          | ⑥ アイカップ.....13    |
| ② EVF ロック解除ボタン.....12         | ⑦ 視度調節ダイヤル.....13 |
| ③ <b>VIEW MODE</b> ボタン.....18 | ⑧ 接続端子.....12     |
| ④ アイセンサー.....18               | ⑨ ホットシューカバー       |
| ⑤ ファインダー (EVF).....14、18、19   | ⑩ 端子カバー           |

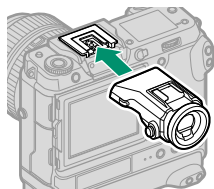
### ファインダーについて

別売の EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右 ( $\pm 45^\circ$ )、上下 ( $0^\circ \sim 90^\circ$ ) に変更できます ( 281)。



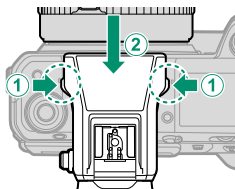
## ファインダーの取り付け方

ファインダーを使用すると、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。ホットシューカバーを取り外し「カチッ」と音（感触）がするまで押し込み、カメラに取り付けます。



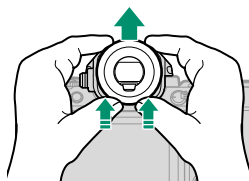
### ファインダーを取り外すときは

両方の EVF ロック解除ボタンを押しながら (①)、正面側を押さえて (②) ファインダーを取り外します。



## アイカップ

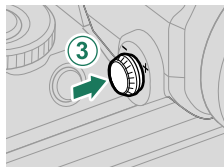
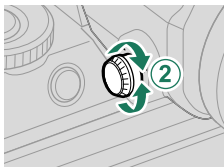
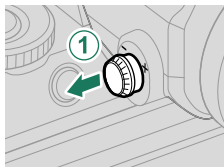
アイカップを取り外すときは、両手でアイカップの下部を押さえて、上に引き上げてください。



## 視度調節ダイヤル

ファインダー内の表示が見えにくいときは、ファインダーを覗きながら視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの表示がもっともはっきり見えるように調節してください。

- ① 視度調節ダイヤルをつまんで引き出します。
- ② ダイヤルを回して視度を調節します。
- ③ 視度調節ダイヤルを押し込んでロックします。



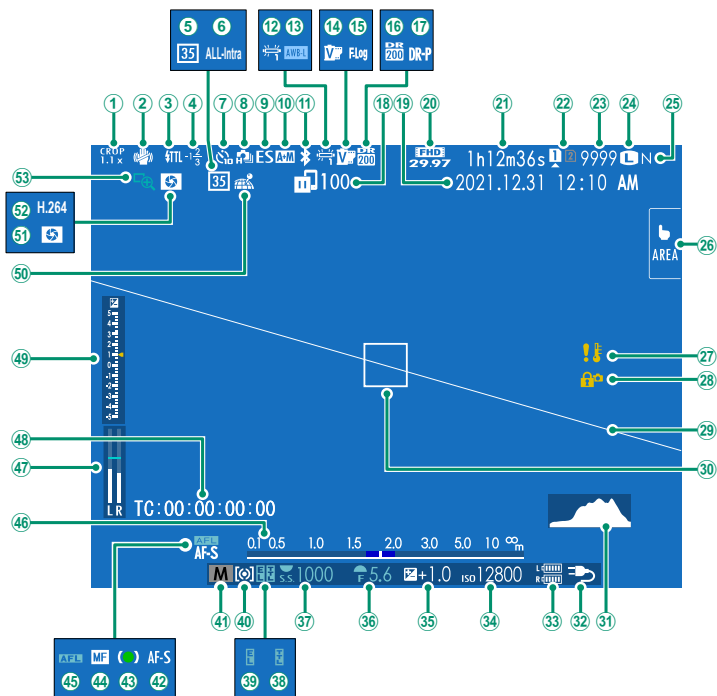
**!** 視度調節ダイヤルは必ず引き出してから回してください。引き出さずに回すと、故障の原因になりますのでご注意ください。

## 撮影時の表示画面

撮影時は、ファインダー（EVF） / 液晶モニター（LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

### EVF の表示画面



① クロップ倍率.....	167	②7 温度警告.....	354
② ブレ防止 <sup>*2</sup> .....	159	②8 ボタンロック <sup>*3</sup> .....	245
③ フラッシュ (TTL モード).....	287	②9 電子水準器.....	23
④ 調光補正.....	287	③0 AF フレーム.....	85、97
⑤ 35 mmフォーマットモード.....	160	③1 ヒストグラム.....	23
⑥ 動画圧縮方式.....	167	③2 給電状態.....	42
⑦ セルフタイマー.....	152	③3 バッテリー残量表示.....	50
⑧ 連写モード.....	104	③4 ISO 感度.....	93
⑨ シャッター方式.....	157	③5 露出補正.....	96
⑩ AF+MF <sup>*2</sup> .....	145	③6 絞り値.....	71、74、76
⑪ Bluetooth ON/OFF.....	253	③7 シャッタースピード.....	71、72、76
⑫ ホワイトバランス.....	121	③8 TTL ロック.....	163、273
⑬ AWB ロック.....	243	③9 AE ロック.....	98、243
⑭ フィルム シミュレーション.....	115	④0 測光モード.....	95
⑮ F-Log/HLG/RAW 撮影.....	168	④1 撮影モード.....	70
⑯ ダイナミックレンジ.....	119	④2 フォーカスモード <sup>*2</sup> .....	81
⑰ D レンジ優先.....	120	④3 合焦マーク <sup>*2</sup> .....	82
⑱ 画像転送状況.....	253、298	④4 マニュアルフォーカス <sup>*2</sup> .....	81、88
⑲ 日付・時刻.....	51、53、219	④5 AF ロック.....	98、243
⑳ 動画モード.....	62、165	④6 距離指標バー <sup>*2</sup> .....	90
㉑ 動画の記録可能時間/記録経過時間 .....	63	④7 マイクレベル <sup>*2</sup> .....	187
㉒ カードスロット設定.....	47、250	④8 タイムコード.....	189
㉓ 撮影可能枚数 <sup>*1</sup> .....	355	④9 露出インジケータ.....	76、96
㉔ 画像サイズ.....	112	⑤0 位置情報取得状態.....	258、298
㉕ 画質モード.....	113	⑤1 被写界深度確認.....	75、90
㉖ タッチパネルモード.....	30、150	⑤2 H.265(HEVC)/H.264.....	166
		⑤3 フォーカスチェック.....	91、146

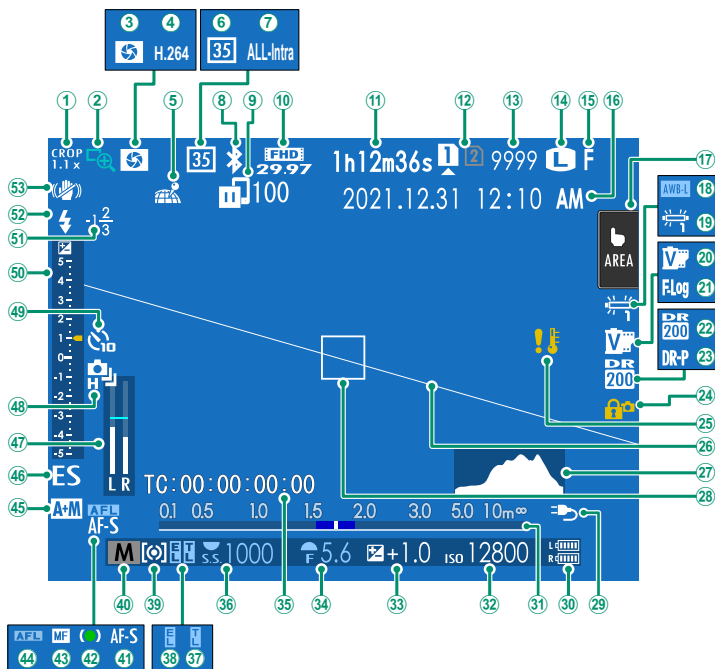
\*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

\*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、非表示になります。

\*3 MENU/OK ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは MENU/OK ボタンを再度長押しします。

# LCD の表示画面

1 このカメラの機能





① クロップ倍率.....	167	⑳ ヒストグラム.....	23
② フォーカスチェック.....	91、146	㉑ AF フレーム.....	85、97
③ 被写界深度確認.....	75、90	㉒ 給電状態.....	42
④ H.265(HEVC)/H.264.....	166	㉓ バッテリー残量表示.....	50
⑤ 位置情報取得状態.....	258、298	㉔ 距離指標バー <sup>*2</sup> .....	90
⑥ 35 mmフォーマットモード.....	160	㉕ ISO 感度.....	93
⑦ 動画圧縮方式.....	167	㉖ 露出補正.....	96
⑧ Bluetooth ON/OFF.....	253	㉗ 絞り値.....	71、74、76
⑨ 画像転送状況.....	253、298	㉘ タイムコード.....	189
⑩ 動画モード.....	62、165	㉙ シャッタースピード.....	71、72、76
⑪ 動画の記録可能時間／記録経過時間.....	63	㉚ TTL ロック.....	163、273
⑫ カードスロット設定.....	47、250	㉛ AE ロック.....	98、243
⑬ 撮影可能枚数 <sup>*1</sup> .....	355	㉜ 測光モード.....	95
⑭ 画像サイズ.....	112	㉝ 撮影モード.....	70
⑮ 画質モード.....	113	㉞ フォーカスモード <sup>*2</sup> .....	81
⑯ 日付・時刻.....	51、53、219	㉟ 合焦マーク <sup>*2</sup> .....	82
⑰ タッチパネルモード <sup>*3</sup> .....	30、150	㊱ マニュアルフォーカス <sup>*2</sup> .....	81、88
⑱ AWB ロック.....	243	㊲ AF ロック.....	98、243
㉑ ホワイトバランス.....	121	㊳ AF+MF <sup>*2</sup> .....	145
㉒ フィルム シミュレーション.....	115	㊴ シャッター方式.....	157
㉓ F-Log/HLG/RAW 撮影.....	168	㊵ マイクレベル <sup>*2</sup> .....	187
㉔ ダイナミックレンジ.....	119	㊶ 連写モード.....	104
㉕ D レンジ優先.....	120	㊷ セルフタイマー.....	152
㉖ ボタンロック <sup>*4</sup> .....	245	㊸ 露出インジケータ.....	76、96
㉗ 温度警告.....	354	㊹ 調光補正.....	287
㉘ 電子水準器.....	23	㊺ フラッシュ (TTL モード).....	287
		㊻ プレ防止 <sup>*2</sup> .....	159

\*1 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

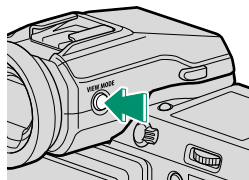
\*2  表示設定 > 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、非表示になります。




\*3 タッチ操作で切り替えることができます。

\*4 MENU/OK ボタン長押しでボタンロックをしているときに表示されます。ロックを解除するときは MENU/OK ボタンを再度長押しします。

## EVF と LCD の切り替え

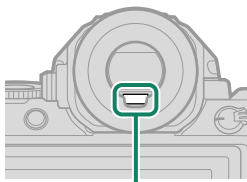
**VIEW MODE** ボタンを押すごとに、ファインダー（EVF）と液晶モニター（LCD）の表示が以下のように切り替わります。



設定	内容
 アイセンサー	ファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、表示が自動的にファインダーに切り替わります。目を離すと液晶モニターに表示が戻ります。
EVF ONLY	ファインダーにのみ表示します。
LCD ONLY	液晶モニターにのみ表示します。
EVF ONLY + 	ファインダーに目を近づけたときだけアイセンサーの働きにより、ファインダーに自動的に表示されます。
 アイセンサー + LCD 撮影画像表示	撮影時はファインダーに目を近づけると、アイセンサーの働きにより、自動的にファインダー表示になり、撮影後に目を離すと液晶モニター表示で撮影画像を確認できます。セットアップメニューの <b>表示設定</b> > <b>撮影画像表示</b> で設定された内容で液晶モニターに表示されます。

### アイセンサーについて

- 目以外のものを近づけたり、直射日光が当たったりしても、アイセンサーが反応することがあります。
- 液晶モニターをチルトしている時はアイセンサーが無効になります。




アイセンサー

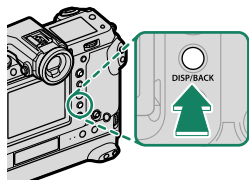
## EVF/LCD の明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > EVF 明るさ、EVF 鮮やかさ**でファインダー (EVF) の明るさや鮮やかさを調整し、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター (LCD) の明るさや鮮やかさを調整します。

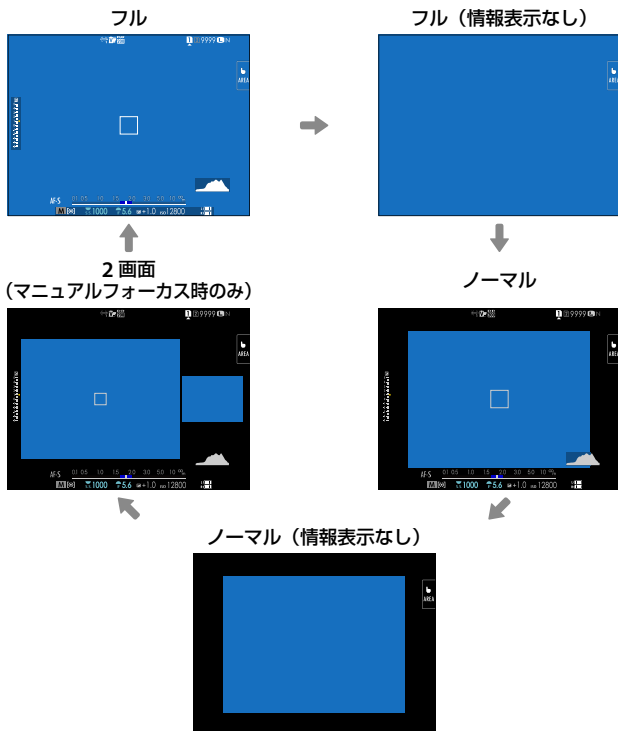
## 情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

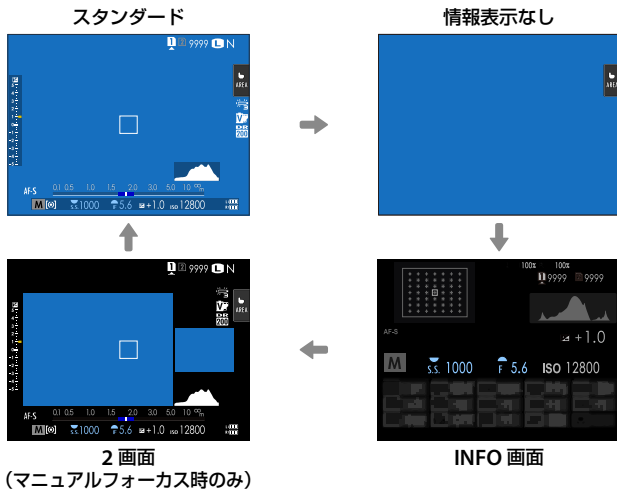
 EVF と LCD は、それぞれ個別に表示の切り替えを行ってください。EVF の表示を切り替えるときは、ファインダーを覗きながら **DISP/BACK** ボタンを押してください。



### ファインダー（EVF）



## 液晶モニター（LCD）



## 2画面について

「2画面」表示では、撮影画面全体を表示する親画面（大きい画面）とピントを合わせた位置を拡大表示する子画面（小さい画面）の2画面を表示します。

## 「スタンダード」画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

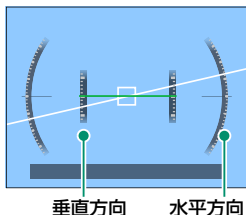
- 1 **DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- 2 セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ**を選びます。
- 3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
画面に表示する項目には、**✓** が表示されます。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時		表示項目	工場出荷時	
	静止画	動画		静止画	動画
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>	—
電子水準器	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	タッチパネルモード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ライブビューハイライト警告	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ブーストモード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input type="checkbox"/>	—
絞り/シャッター速度/ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	画像サイズ&画質モード	<input type="checkbox"/>	—
情報表示背景	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	動画モード&録画時間	—	<input type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	35mm フォーマットモード	<input checked="" type="checkbox"/>	—
露出補正ゲージ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	画像転送予約	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスモード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	マイクレベル	—	<input checked="" type="checkbox"/>
測光	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ガイドンスメッセージ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>	—	バッテリー残量表示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>	—	画面枠	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- 4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。  
設定が保存されます。
- 5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

## 電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。**電子水準器**を割り当てたファンクションボタンを押すと、図のような3D表示になります（ 269）。

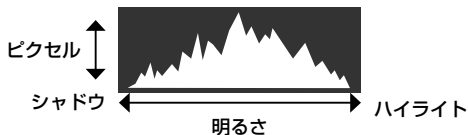


## 画面枠について

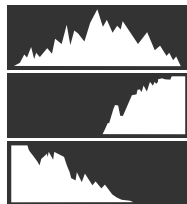
背景が黒いときなど、撮影範囲がわかりにくいときに**画面枠**をオンにすると、撮影画面内の縁に枠が表示されます。

## ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

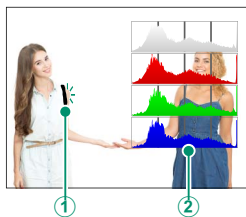


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



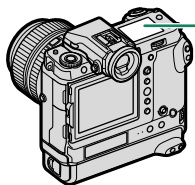
**ヒストグラム**を割り当てたファンクションボタンを押すと、RGBヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります（ 269）。

- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGBヒストグラム表示

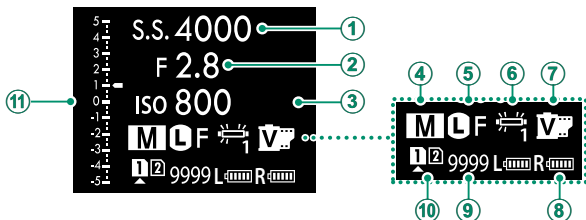


## サブ液晶モニター

サブ液晶モニターでシャッタースピードや絞り値、ISO 感度などの設定を確認できます。



サブ液晶モニター



### 工場出荷時の設定

① シャッター速度	⑦ フィルム シミュレーション
② 絞り	⑧ バッテリー残量表示
③ ISO	⑨ 撮影枚数
④ 撮影モード	⑩ カードスロット設定
⑤ 画像サイズ & 画質モード	⑪ <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ
⑥ ホワイトバランス	

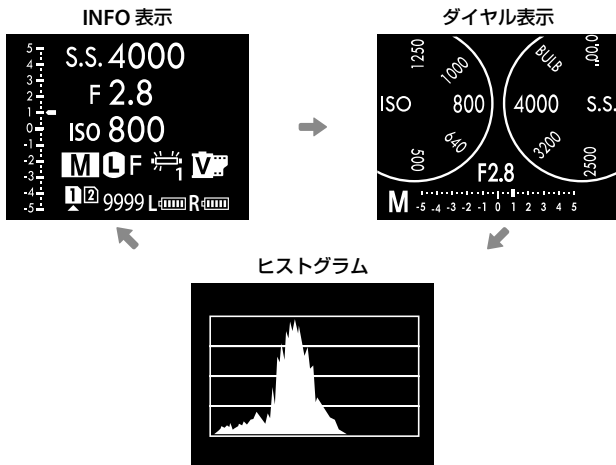
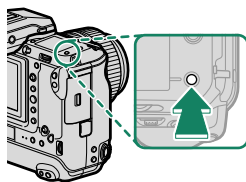


表示する項目は **表示設定** > **サブ液晶モニター設定** で変更できます。



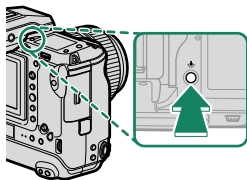
## サブ液晶モニターの表示の切り替え

サブ液晶モニター切替ボタンを押すごとに、表示が切り替わります。



## サブ液晶モニター照明ボタン

サブ液晶モニターが見えづらいときなどは、サブ液晶モニター照明ボタンを押すと、サブ液晶モニターの照明が点灯します。もう一度押すと、照明が消灯します。

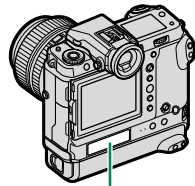


## サブ液晶モニター背景色について

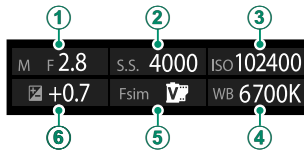
**表示設定 > サブ液晶モニター背景色**でサブ液晶モニターの背景色を黒（黒背景）または白（白背景）に設定できます。サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

## リアサブモニター

リアサブモニターで露出補正ゲージやヒストグラムなどの情報を確認できます。



リアサブモニター



### 工場出荷時の設定

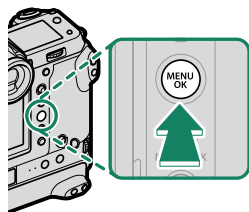
① 絞り	④ ホワイトバランス
② シャッター速度	⑤ フィルムシミュレーション
③ ISO	⑥ 露出補正表示



- リアサブモニターは **表示設定 > リアサブモニター設定** で表示する項目を設定したり、オフにしたりできます。
- アイセンサーが有効のときは、ファインダーに目を近づけるとリアサブモニターがオフになります。

# メニューの使い方

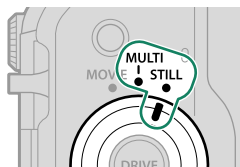
MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。



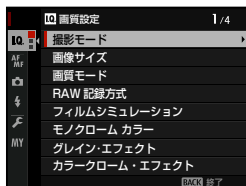
## メニュー画面について

メニュー画面は静止画撮影時 / 動画撮影時 / 再生時によって表示が異なります。

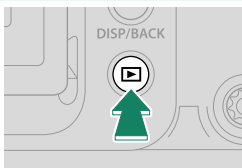
撮影時



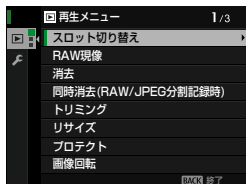
ドライブモードダイヤルが  
**STILL** または **MULTI** のとき



再生時



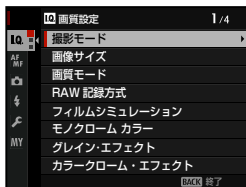
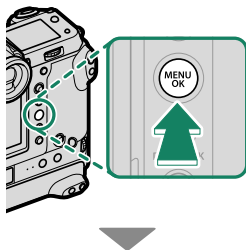
画像を再生しているとき



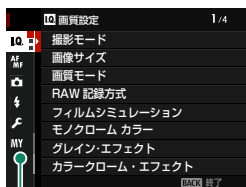
## メニュータブへの移動

使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

- 1 MENU/OK** ボタンを押して、メニューを表示します。




- 2** フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。



タブ

- 3** フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブを選びます。

- 4** フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。

 メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

## タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

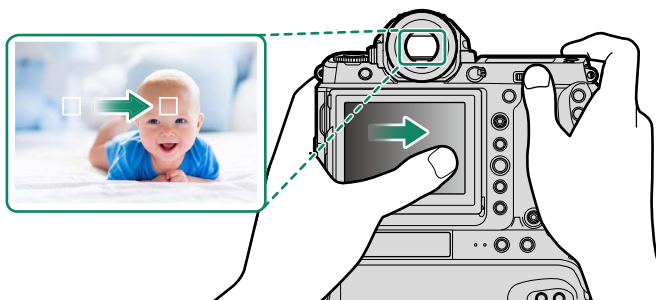
### 撮影時のタッチ操作について

タッチパネルを使用するときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定**を ON にします。



### EVF 使用時のタッチ操作

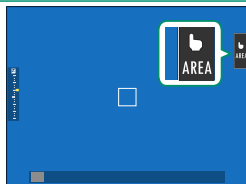
ファインダー（EVF）を使用しているときに液晶パネル（LCD）をタッチパネルとして使用して、フォーカスエリアを変更できます。**操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > EVF タッチパネル有効範囲**で動作範囲を設定できます。








**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON で顔セレクト** がオンのときは、タッチ操作でピントを合わせる顔を選べます。



## LCD 使用時のタッチ操作

撮影画面のタッチパネルモードアイコンをタッチするごとに、タッチ操作を変更できます。LCD 使用時は次のタッチ操作が行えます。





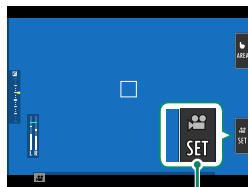
タッチパネルモード	意味
 <b>AF</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li> <li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、タッチした場所にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li> <li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、ワンブッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。</li> </ul>
 <b>AF OFF</b>	
 <b>エリア選択</b>	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 <b>OFF</b>	タッチ操作を無効にします。

 ピント位置拡大中は、タッチパネルの動作が異なります (📖 151)。




-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定が OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
-  **フォーカス設定 > タッチパネルモード** でもタッチ操作を切り替えることができます。動画撮影時のタッチ操作については、「動画撮影時のタッチ操作 (📷 タッチパネルモード: 📖 184)」をご覧ください。

## 動画専用操作モード

撮影メニューの  動画設定 > 動画専用操作モード  を ON にするか、撮影画面の動画専用モードボタンを押すと、コマンドダイヤルとタッチ操作で次の撮影時の設定を変更できます。動画撮影時に、静止画撮影とは別に露出を設定したい場合や、カメラの操作音を記録したくないときに便利です。



動画専用モードボタン


- シャッタースピード
- 絞り
- 露出補正
- 感度
- 内蔵マイクレベル設定 / 外部マイクレベル設定
- 風音低減
- ヘッドホン音量
-  フィルム シミュレーション
-  ホワイトバランス
-  ブレ防止モード
-  ブレ防止モードブースト

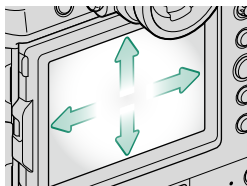


- 動画専用操作モードをオンにすると絞りリングの操作は無効になります。
- 動画専用操作モードのときに動画専用モードボタンを押すと、撮影の設定を変更したり、動画専用操作モードをオフにしたりすることができます。



## タッチファンクション

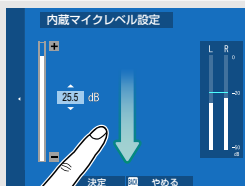
このカメラでは、画面を左右上下にフリックすることで、ファンクションボタンと同様に機能呼び出すことができます（ 274）。





- **T-Fn1**（画面を上フリック）
- **T-Fn2**（画面を左フリック）
- **T-Fn3**（画面を右フリック）
- **T-Fn4**（画面を下フリック）



- 割り当てた機能によっては、設定画面を表示後、項目の設定をタッチ操作で行えます。



- タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  タッチファンクションを ON にしてください。**

## 再生時のタッチ操作について

☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > ▶ タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

### スワイプ



画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。

### ダブルタップ



画面を 2 回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。

### マルチタッチ (ピンチアウト)



画面上に 2 本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。

### ドラッグ




拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。

### マルチタッチ (ピンチイン)



画面上に 2 本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。

 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。

## 縦位置撮影

縦位置ボタンや縦位置コマンドダイヤル、縦位置フォーカスレバーを使うと、カメラを縦向きにして撮影するときの操作性が向上します。



横向き



縦向き



- 縦位置ボタンや縦位置コマンドダイヤル、縦位置フォーカスレバーを使うには、縦位置キーロックレバーを **LOCK** から ● に設定します。横向きで撮影する場合は **LOCK** に設定すると、縦位置撮影用のボタンなどをロックして誤操作を防止できます。
- 縦位置コマンドダイヤルの機能は横向きのコマンドダイヤルと同じです。

## 縦表示について

カメラを縦向きで撮影するときは、**表示設定 > 縦横自動回転表示**を **ON** にすると、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の情報表示が縦向きになります。



## 撮影の準備

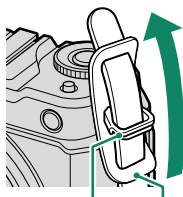
# 2

## ストラップを取り付ける

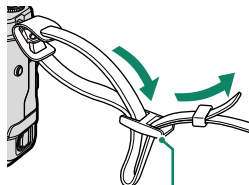
カメラにストラップを取り付けます。

ストラップをストラップリングカバーとストラップリングに通し、ストラップを止め具に通します。

**!** ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。



ストラップリング    ストラップリングカバー



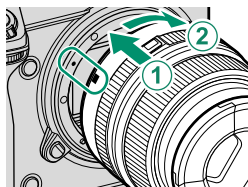
止め具

反対側も同様の手順を繰り返して取り付けます。

## レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のレンズが使用できます。

カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて (①)、レンズを回し (②) カメラにレンズを取り付けます。

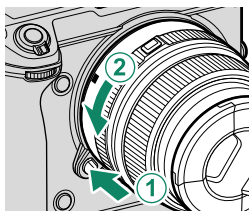


- ① レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

### レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して (①)、矢印の方向にレンズを回してください (②)。

- ① レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。



### 別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応のアクセサリーが使用できます。

- ① レンズを取り付けたり取り外したりするとき (レンズ交換) は、以下のことにご注意ください。
- ゴミやほこりの付着に注意してください。
- 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- レンズキャップを取り付けて行ってください。
- レンズの使い方については、レンズの説明書をご覧ください。

## バッテリーを充電する

安全上の理由から、ご購入時にはバッテリーは充電されていません。充電しないとカメラは作動しませんので、必ずカメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。



- このカメラに付属されているバッテリーは NP-T125 です。
- 充電時間は約 140 分です。

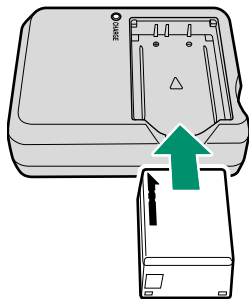
### 1 バッテリーチャージャーにプラグアダプターを取り付けます。



プラグアダプターは、国・地域によって付属されているアダプターが異なります。別紙のお知らせをご確認のうえ、適切なアダプターをご使用ください。

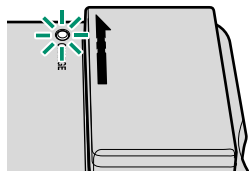
### 2 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

指標（矢印）の方向を確認し、端子同士が向き合うように取り付けてください。



### 3 電源プラグを屋内のコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して、充電を開始します。



### 4 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。



## 充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

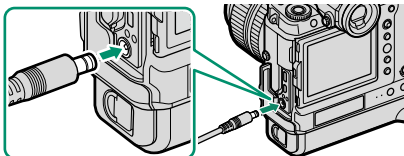


充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください。
	フル充電 (充電終了)	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。
点灯	充電中	—
点滅	充電異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください。

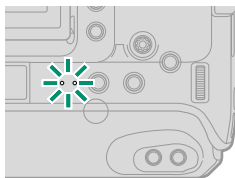
- ❗
- 付属の充電器は 100 ~ 240V まで対応しており、海外でもご使用いただけます（変換プラグアダプターが必要な場合があります）。
  - バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなる場合があります。
  - バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
  - バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
  - 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
  - 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
  - バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1 ~ 2日前)には、バッテリーを充電してください。
  - 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
  - バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
  - 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
  - 低温時および高温時は充電時間が長くなる場合があります。




## AC パワーアダプターで充電する


カメラにバッテリーを入れた状態で別売の AC パワーアダプター AC-15V を AC 電源に接続すると、バッテリーを充電できます。充電時間は約 120 分です。




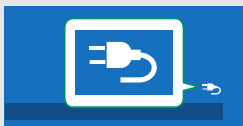
カメラの電源をオン（再生モード）にしているときは画面のアイコンで、オフにしているときはインジケータランプ 2 でバッテリーの充電状態を示します。左側のランプがバッテリー L を、右側のランプがバッテリー R を示します。



電源オン時のアイコン	電源オフ時のインジケータランプ 2	バッテリーの状態
 (黄点灯)	点灯	充電中
 (緑点灯)	消灯	充電完了
 (赤点灯)	点滅	充電異常

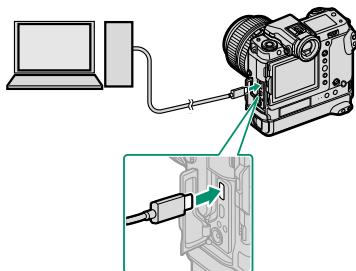
 充電中にカメラの電源をオンにすると、電源がオフのときよりも充電時間が長くなることがあります。

 AC-15V から給電しているときは、画面に給電状態アイコンが表示されます。



## パソコンに接続してバッテリーを充電する

カメラにバッテリーを入れた状態でパソコンに接続すると、バッテリーを充電できます。カメラの電源はオフにして、USB ケーブルでパソコンと接続してください。



USB 端子 (Type-C)

インジケータランプ 2 でバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ 2	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	充電異常

- ❗ USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続し直してください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。
- 充電時間の目安は約 400 分です（入力 5V/500mA の場合）。

- 🔌 充電中にカメラの電源をオンにすると充電は中断され、給電になります。給電中はバッテリーが少しずつ消費されます。
- 画面に給電状態アイコンが表示されます。

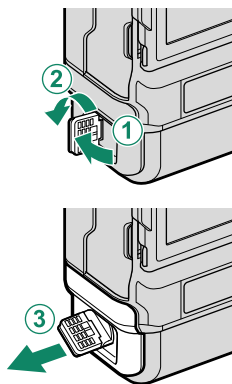


## バッテリーを入れる

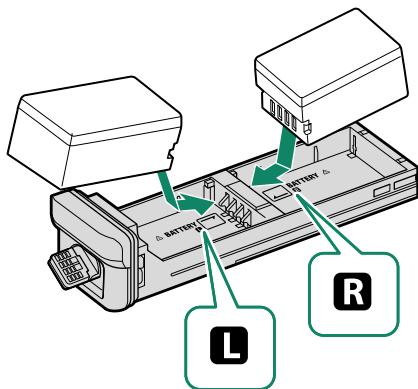
バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

- 1 バッテリートレイロックレバーを回して、バッテリートレイを取り出します。

- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリートレイを取り出さないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリートレイに無理な力を加えないでください。

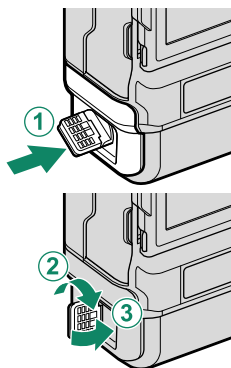


- 2 バッテリーを図のように入れます。



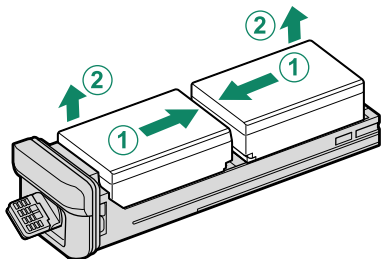
- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

- 3** バッテリートレイを押し込みながら、バッテリートレイロックレバーを元に戻します。



**バッテリーを取り出すときは**

カメラの電源をオフにしてからバッテリートレイロックレバーを回して、バッテリートレイを取り出してください。バッテリーを図のように取り出してください。



- !** 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

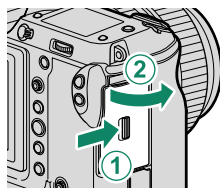
## メモリーカードを入れる

撮影した画像は、市販のメモリーカードに記録します。

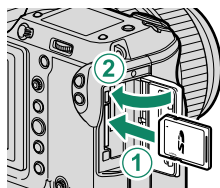


このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。

- 1 メモリーカードスロットカバーロックをスライドさせて、メモリーカードスロットカバーを開けます。



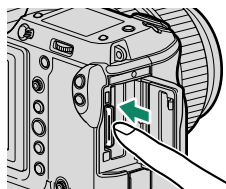
- 2 メモリーカードを入れ、メモリーカードスロットカバーを閉めます。



- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。

## メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからメモリーカードスロットカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



- ① メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

## 2枚のメモリーカードを使用する場合

このカメラには2つのメモリーカードスロットがあるため、2枚のメモリーカードを使用できます。静止画のメモリーカードへの記録方法は、**📁 保存設定 > 📷 カードスロット設定**で変更できます（📖 250）。動画の記録先スロットは、**📁 保存設定 > 🎥 カードスロット設定**で変更できます（📖 251）。

設定	説明	画面表示
順次記録 (工場出荷時設定)	スロット1のメモリーカードの空きがなくなったら、スロット2のメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。 <b>📁 保存設定 &gt; スロット選択 (📷 順次記録時)</b> で最初に記録するカードをスロット2に設定しているときは、スロット2のメモリーカードの空きがなくなったらスロット1のメモリーカードに切り替わります。	
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。	
RAW/JPEG分割記録	スロット1のメモリーカードにはRAW画像を、スロット2のメモリーカードにはJPEG画像をそれぞれ保存します。この設定は <b>📷 画質設定 &gt; 画質モード</b> が、 <b>SUPER FINE+RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW</b> のときのみ有効です。	

## 使用可能なメモリーカード

- このカメラは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。また、バスインターフェースは UHS-I/UHS-II に対応しています。
- 高速連写撮影をするときは、UHS-II のメモリーカードをおすすめします。
- ビットレート 400Mbps の動画を撮影するときは、ビデオスピードクラス V60 以上のメモリーカードをご使用ください。ビットレート 400Mbps 以外の動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 またはビデオスピードクラス V30 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> を参照してください。

**!** メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードにデータを記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



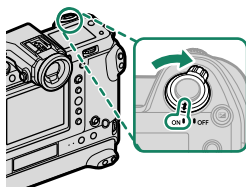
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどをはらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。



## 電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

電源レバーを **ON** に合わせると、電源がオンになります。**OFF** に合わせると、電源がオフになります。



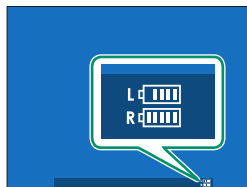
**!** レンズやファインダーに指紋が付かないようにご注意ください。ファインダーがクリアに見えない、または撮影画像の画質低下の原因になります。

- ▶** 撮影中に **▶** (再生) ボタンを押すと、再生モードになります。
  - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
  - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- 消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押しまたは電源レバーを **OFF** にしてから再度 **ON** にすると、撮影モードでオンになります。

## バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



- 挿入されているバッテリー残量のみ表示されます。
- フル充電のバッテリーを2本使用したときは、次の順序でバッテリー容量が空になります。
  - ① バッテリーL (左)
  - ② バッテリーR (右)

表示	意味
	バッテリーの残量は十分にあります。
	バッテリーの残量は約 80%です。
	バッテリーの残量は約 60%です。
	バッテリーの残量は約 40%です。
	バッテリーの残量は約 20%です。
(赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
(赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

## 初期設定を行う

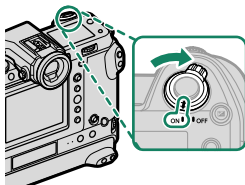
ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。また、このカメラでは、初期設定でスマートフォンとカメラをペアリングすることで、日時の自動設定やスマートフォンへの画像送信が簡単にできるようになります。以下の手順で初期設定を行ってください。

 ペアリングを行う場合は、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールして、起動しておいてください。「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

[http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera\\_remote/](http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/)

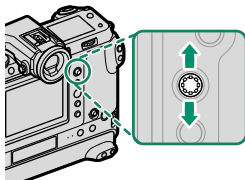
### 1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



### 2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



### 3 スマートフォンとペアリングを行います。


**MENU/OK** ボタンを押して、「FUJIFILM Camera Remote」がインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。



 ペアリングを行わない場合は、**DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップしてください。

#### 4 ペアリングが完了すると、時刻の確認画面が表示されます。

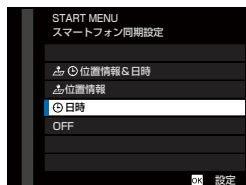
表示されている時刻を確認します。

 **DISP/BACK** ボタンを押すと、手動で時刻を設定できます ( 図 53)。



#### 5 カメラの設定情報をスマートフォンと同期します。


 **接続設定 > Bluetooth 設定** で後から設定することもできます。




#### 6 MENU/OK ボタンを押します。

確認した時刻がカメラに設定され、撮影画面が表示されます。

#### 7 メモリーカードをフォーマット (初期化) します ( 図 218)。

 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。



 バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

#### 設定のスキップ

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに再度、設定画面を表示させるかどうかを選べます。次回起動時に設定画面を表示させたくない場合は確認画面で**表示しない**を選んでください。


## 言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** >  **言語/LANG.** を選びます。
- 2 言語を設定します。  
フォーカスレバーで使用する言語を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。  
設定した言語表示になります。

## 日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 日時を設定します。  
フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。  
日時が設定されます。



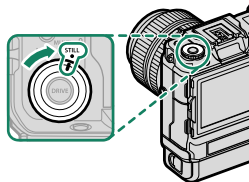
## 基本的な撮影と再生

# 3

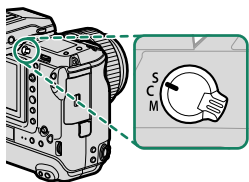
## プログラムで静止画を撮影する

ここでは、プログラム（P）モードによる撮影の基本的な流れを説明します。その他のモードの撮影方法は「P、S、A、Mで撮影する」をご覧ください（[目次](#) 70）。

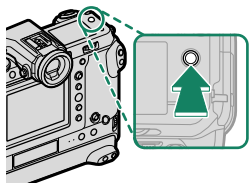
- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。



- 2 フォーカスモード切換レバーを **S** に設定します。



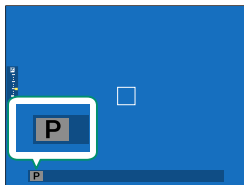
- 3 撮影モードを **P** に設定します。  
**Fn2** ボタンを押すと表示される撮影モードメニューで **P** を選びます。



- 工場出荷時の設定では、**Fn2** ボタンに**撮影モード**が割り当てられています。**撮影モード**メニューを表示させる機能は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また **Fn2** ボタンに他の機能を割り当てることができます。
- 画質設定 > 撮影モード**でも撮影モードを設定できます。

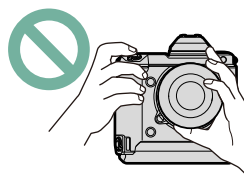
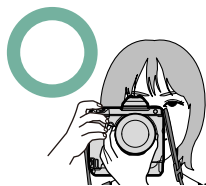


- 4 撮影画面に P が表示されていることを確認します。



- 5 カメラを構えます。

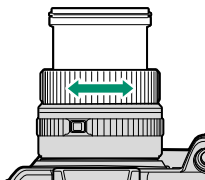
- 手ブレを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



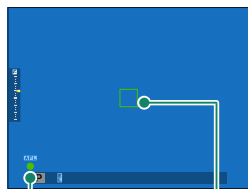
- 6 構図を決めます。

#### ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



7 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク  
フォーカスフレーム

- **ピントが合うと**、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF** が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



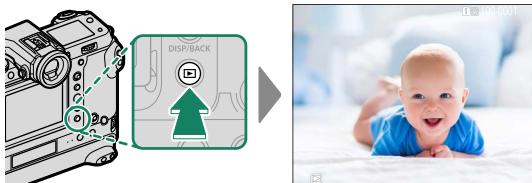
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

8 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

## 静止画を再生する


撮影した画像を再生します。

▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。




1つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。





- フロントコマンドダイヤルを回しても前後の画像を表示できます。
- 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりする場合があります。


### 再生するメモリーカードについて

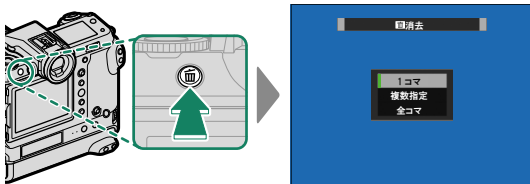
- ▶ ボタンを長押しすると、再生するメモリーカードを切り替えることができます。
-  再生メニュー > スロット切り替えからも再生するメモリーカードの切り替えができます。

## 画像を消去する

1 コマ再生時に  ボタンを押すと、画像を消去できます。


 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1 コマ再生中に  ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

-  ● プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (📖 204)。
- **再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去**をご覧ください (📖 200)。

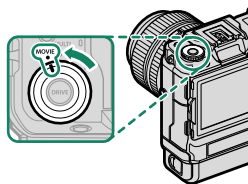
# 動画の撮影と再生

# 4

## 動画を撮影する

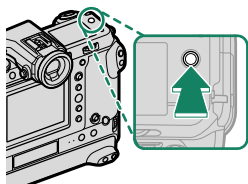
ここでは、オートモードの動画を撮影する流れを説明します。

- 1 ドライブモードダイヤルを **MOVIE** に設定します。

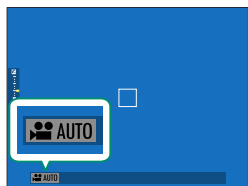


- 2 撮影モードを **P** に設定します。

**Fn2** ボタンを押すと表示される撮影モードメニューで **P** を選びます。



表示画面に **AUTO** が表示されます。

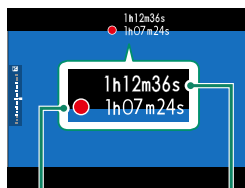


- 工場出荷時の設定では、**Fn2** ボタンに撮影モードが割り当てられています。撮影モードメニューを表示させる機能は、**Fn** 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また **Fn2** ボタンに他の機能を割り当てることができます。
- Fn** 動画設定 > 撮影モードでも撮影モードを設定できます。

### 3 シャッターボタンを全押しします。

動画撮影が開始されます。

- 撮影中は、●が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）と撮影時間（カウントアップ）が表示されます。



動画撮影の撮影時間

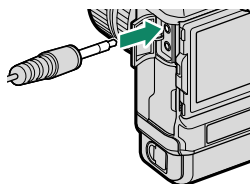
動画撮影の残り時間

### 4 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

#### 外部マイクについて

このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクはプラグインパワーを必要としないφ 3.5mmピンで取り付けerものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。



- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



- 動画の記録中は背面のインジケータランプ1が点灯します。**☒ 動画設定 > タリーランプ**で、点灯するランプ（インジケータランプまたは AF 補助光ランプ）の切り替えや点灯または点滅の設定を変更できます。動画撮影中は±2の範囲で露出補正が可能で、ズームリングがあるレンズを使用している場合は、ズームリングでズーム操作を行えます。
- 動画撮影中も以下の操作が行えます。
  - 感度の変更
  - 次の操作による AF のやり直し
    - シャッターボタンの半押し
    - ファンクションボタンに **AF-ON** が割り当てられているボタンの操作
    - タッチパネル操作
  - **ヒストグラム**や**電子水準器**を割り当てたファンクションボタンを押して、ヒストグラムや水準器を表示
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。
- 動画撮影時にフォーカスエリアを変更するには、**☒ フォーカス設定 > フォーカスエリア選択**を選んでから、フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルを操作します（☞ 85）。



## 動画の設定について


- ドライブモードダイヤルを **MOVIE** に設定してから **MENU/OK** ボタンを押すと、動画撮影メニューが表示されます。
- 撮影メニューの **動画設定 > 動画モード** で動画サイズ、フレームレートなどを変更できます。
- 動画の記録先スロットは、**保存設定 > カードスロット設定** で変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法はフォーカスモード切換レバーで設定します。フォーカスモードを **S** にしても、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** が **顔検出 ON** のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、**顔検出 ON** にしても顔検出は行われません。

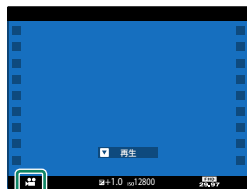
### 背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。撮影モードを **A** (絞り優先)、または、**M** (マニュアル) に設定し、絞り値を調整します。

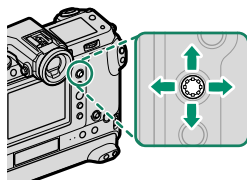
## 動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。1コマ再生時に動画を選択してからフォーカスレバーを下に動かすと、動画を再生できます。




動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。





	1コマ再生中	 再生中	 一時停止中
上	—	停止	停止
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像に移動	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。

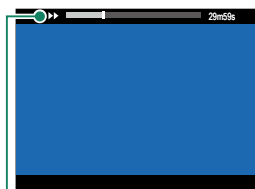


 スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。

 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、 **音設定 > 再生音量**でも設定できます。

### 動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの▶(◀)の数で表示されます。▶(◀)の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン



# 5 撮影に関する設定

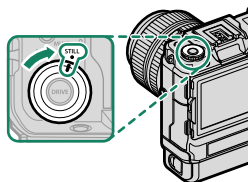
## P、S、A、Mで撮影する

シャッタースピードと絞り値の設定を変更してP、S、A、Mで撮影します。

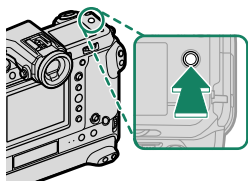
### プログラム (P) 撮影

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

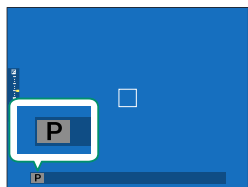
- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。



- 2 撮影モードを **P** に設定します。  
Fn2 ボタンを押すと表示される撮影モードメニューで **P** を選びます。



表示画面に **P** が表示されます。



❗ 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードおよび絞り値が「---」と表示されます。

- 工場出荷時の設定では、Fn2 ボタンに**撮影モード**が割り当てられています。**撮影モードメニュー**を表示させる機能は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また Fn2 ボタンに他の機能を割り当てることもできます。
- 画質設定 > 撮影モード**でも撮影モードを設定できます。

### プログラムシフトの設定

リアコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



絞り値  
シャッタースピード

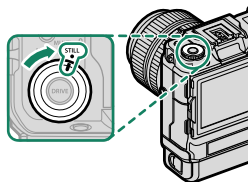
- ❗ 次のとき、プログラムシフトは使用できません。
- フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定**の発光モードが **TTL** のとき
  - 画質設定 > ダイナミックレンジ**が **AUTO** のとき
  - 動画を撮影しているとき

電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

## シャッタースピード優先 (S) 撮影

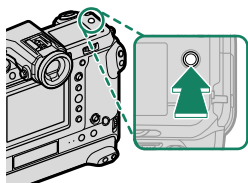
設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。

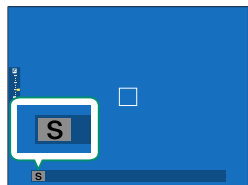


- 2 撮影モードを **S** に設定します。

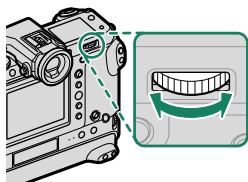
**Fn2** ボタンを押すと表示される撮影モードメニューで **S** を選びます。



表示画面に **S** が表示されます。



- 3 リアコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。



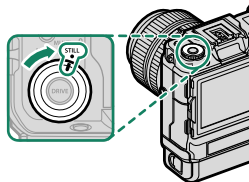


- ❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。
  - 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、絞り値が「---」と表示されます。
- 📷 シャッターボタンを半押ししている間もシャッタースピードを変更できます。
  - 工場出荷時の設定では、Fn2 ボタンに**撮影モード**が割り当てられています。**撮影モードメニュー**を表示させる機能は、**📷 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また Fn2 ボタンに他の機能を割り当てすることもできます。
  - 📷 **画質設定 > 撮影モード**でも撮影モードを設定できます。
  - 撮影モード**が割り当てられているボタンを長押しすると、シャッタースピードをロックします。もう一度長押しすると解除します。
  - シャッタースピードを1秒以上に設定したときは、撮影中にカウントダウンで残りの露光時間が表示されます。
  - 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**長秒時ノイズ低減**を**ON**にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。
  - 長時間露光撮影中にカメラが動くとピントがずれるので、三脚のご使用をおすすめします。

## 絞り優先 (A) 撮影

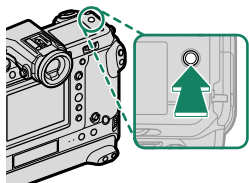
設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。

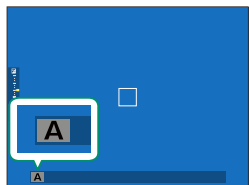


- 2 撮影モードを **A** に設定します。

**Fn2** ボタンを押すと表示される撮影モードメニューで **A** を選びます。



表示画面に **A** が表示されます。



- 3 レンズの絞りリングを回して、絞り値を設定します。

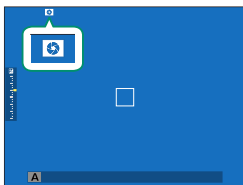


- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **Fn** 操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定で変更できます。

- ❗ 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。
- 被写体の明るさがカメラで測光できる明るさの範囲を超えると、シャッタースピードが「—」と表示されます。
- 📷 シャッターボタンを半押ししている間も絞りを変更できます。
- 工場出荷時の設定では、Fn2 ボタンに**撮影モード**が割り当てられています。**撮影モードメニュー**を表示させる機能は、**📷 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また Fn2 ボタンに他の機能を割り当てることもできます。
- 📷 **画質設定 > 撮影モード**でも撮影モードを設定できます。

### 被写界深度を確認するには

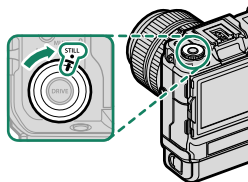
被写界深度を確認するには、ファンクションボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、📷 が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます。



## マニュアル (M) 撮影

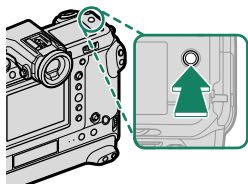
マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。マニュアルで撮影するには、露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。

- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。

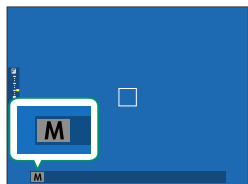


- 2 撮影モードを **M** に設定します。

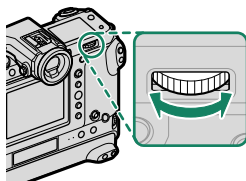
**Fn2** ボタンを押すと表示される撮影モードメニューで **M** を選びます。



表示画面に **M** が表示されます。



- 3** リアコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、レンズの絞りリングを回して絞り値を設定します。



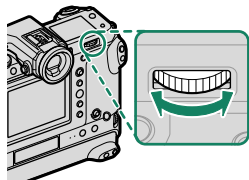
- 露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。
- 絞りリングなしレンズのときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- 絞りリングに **A** ポジションや **C** ポジションがあるレンズで、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞り値を設定します。
- フロントコマンドダイヤルの設定は **操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定** で変更できます。

- 工場出荷時の設定では、**Fn2** ボタンに **撮影モード** が割り当てられています。**撮影モードメニュー** を表示させる機能は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また **Fn2** ボタンに他の機能を割り当てすることもできます。
- 画質設定 > 撮影モード** でも撮影モードを設定できます。
- 撮影モード** が割り当てられているボタンを長押しすると、シャッタースピードをロックします。もう一度長押しすると解除します。

## バルブ撮影

シャッタースピードを **BULB** に設定すると、バルブ撮影ができます。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。

### 1 シャッタースピードを **BULB** に合わせます。



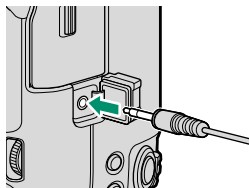
### 2 シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開きます。

- シャッターが開くのは、最大 60 分間です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- シャッターボタンから指を離すとシャッターが閉じて撮影を終了します。撮影を終了すると、撮影した画像の処理を行います。処理が終わるまでの時間が表示されます。

- 絞りを **A** (オート) に設定している場合は、シャッタースピードは 30 秒に固定されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

## リモートレリーズを使用する

長時間露光撮影時には、リモートレリーズが便利です。リモートレリーズ端子に、別売のリモートレリーズ RR-100 や市販の電子式リモートレリーズを取り付けます。



## 露出設定プレビューについて

**表示設定 > マニュアル時モニター露出 / WB 反映**が**露出反映 / WB 反映**のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。

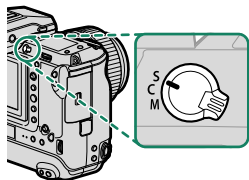


フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、**マニュアル時モニター露出 / WB 反映**を**露出反映 / WB 反映**以外にしてください。

## オートフォーカス撮影

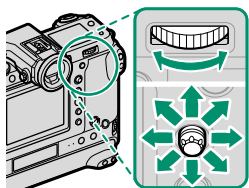
ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定します ( 81)。



- 2 AF モードを選びます ( 83)。

- 3 フォーカスエリアの位置やサイズを変更します ( 85)。

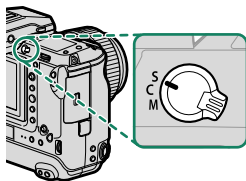


- 4 撮影します。





## フォーカスモード

フォーカスモードは、フォーカスモード切換レバーで設定します。



### フォーカスモードの種類

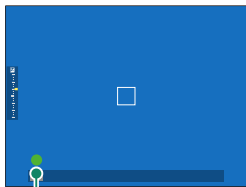
フォーカスモード	内容
<b>S</b> (AF-S)	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。
<b>C</b> (AF-C)	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
<b>M</b> (マニュアルフォーカス)	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します ( 88 )。

-  レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。
- フォーカスモードが **S** または **C** のときは、 **フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

## 合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
( )	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	<b>S</b> のときにピントが合って固定されています。
● (緑点灯)	<b>C</b> のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
<b>MF</b>	<b>M</b> のときに表示されます。



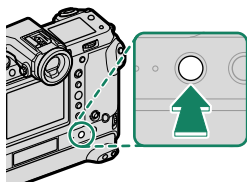
合焦マーク

## AF モードの選択

フォーカスモードと AF モードの組み合わせで、さまざまな撮影シーンに応じたフォーカス設定を選択できます。

### AF モードの設定方法

- 1 **Fn5** ボタンを押して、AF モードの設定画面を表示します。



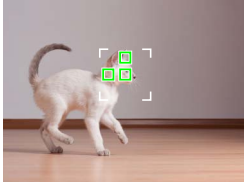



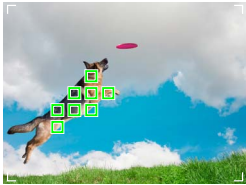




- 2 設定する AF モードを選びます。

- 工場出荷時の設定では、**Fn5** ボタンに **AF モード** が割り当てられています。AF モードの設定画面を表示させる機能は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他のファンクションボタンに割り当てることができます。また **Fn5** ボタンに他の機能を割り当てることもできます。
- フォーカス設定 > AF モード** でも AF モードを設定できます。

### AF モードの種類

- フォーカスモードが **S (AF-S)** のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンにピントを合わせます。	

設定	用途例	作例
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った位置にAFエリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (85、86)、  シングルポイント、  ゾーン、  ワイドの順でフォーカスエリアを選択できます。	


### ● フォーカスモードがC (AF-C) のとき


設定	用途例	作例
 シングルポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせ続けます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向いたAFモードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンに常にピントを合わせ続けます。	
 トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (85、86)、  シングルポイント、  ゾーン、  トラッキングの順でフォーカスエリアを選択できます。	

## フォーカスエリアの変更

フォーカスモードが**S**または**C**のときのフォーカスエリアを変更できます。

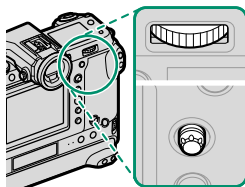
### フォーカスエリアの変更方法









- MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
-  **フォーカス設定** > **フォーカスエリア選択**を選び、フォーカスエリアの選択画面を表示します。
- フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。



 タッチ操作によるフォーカスエリアの位置の変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (P.30)。

### フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。







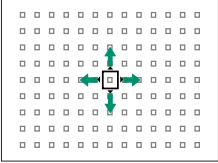
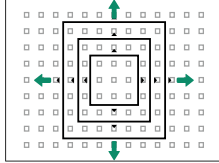
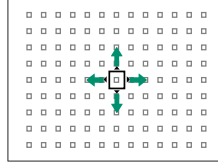
AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル	
				
	<b>8方向移動</b>	<b>中央押し</b>	<b>回す</b>	<b>中央押し</b>
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (6段階)	100%に戻る
			サイズ変更 (3段階)	
			なし	

  **ワイド/トラッキング**のフォーカスエリアは、フォーカスモードが**C**のときのみ有効です。

## フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

		
		
<p><b>■ フォーカス設定 &gt;</b> フォーカス点数切り替えでフォーカスエリアポイントの点数を <b>117</b> と <b>425</b> から選べます。</p>	<p>117のフォーカスエリアポイントを3×3、5×5、7×7の範囲で選べます。</p>	<p>コンティニュース AF でトラッキングしたい被写体の位置にフォーカスエリアを移動できます。</p>

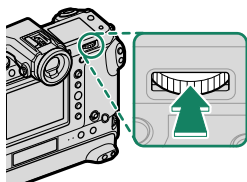
### オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景にある被写体など）

## 拡大表示してピントを確認する

リアコマンドダイヤルの中央を押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。






通常表示



拡大表示

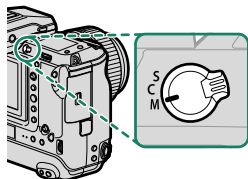


- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF** モードを  シングルポイントに設定してください。
- フォーカスモードが **C** または  フォーカス設定 > プリ AF が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で他の機能を割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます (269)。

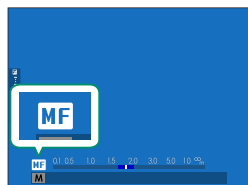
## マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。

- 1 フォーカスモード切換レバーを **M** に設定します。

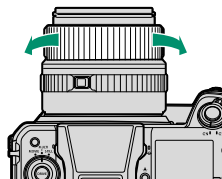


画面に **MF** が表示されます。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。




- 3 撮影します。



- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン・ダイヤル設定** > フォーカスリングで設定できます。
- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモード切換レバーを **S** または **C** に設定していても **M** (マニュアルフォーカス) で撮影できます。



### マニュアルフォーカス時の AF ロック機能について

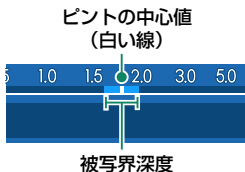
- AFロックまたは **AF-ON** が割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
-  **フォーカス設定 > ワンプッシュ AF 時の動作**で、AF ロックを割り当てたファンクションボタンの動作を変更できます。**AF-S** (シングル AF) のときはボタンを押すとオートフォーカスでピントを合わせます。**AF-C** (コンティニユアス AF) のときはボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

## ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

### 距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
  - **表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に  を入れる。
  - **DISP/BACK** ボタンを押して、**スタンダード** (情報表示あり) 画面に切り替える。
- 被写界深度のスケール (ゲージ) の基準を **フォーカス設定 > 被写界深度スケール** で設定できます。**フィルム基準** はプリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にし、**ピクセル基準** はパソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。

## 拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

**☑** フォーカス設定 > フォーカスチェックを ON にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。



- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- **☑** フォーカス設定 > MFアシストの設定がフォーカスピーキングまたはスタンダードのときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。デジタルスプリットイメージまたはデジタルマイクロプリズムを設定しているときは、倍率変更できません。

## 画面に表示された画像で確認する

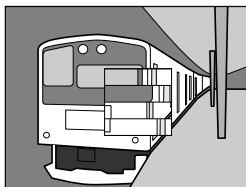
ピントの確認方法を **☑** フォーカス設定 > MFアシストで選べます。



リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、MFアシストの設定を切り替えることができます。

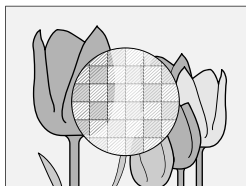
### ● デジタルスプリットイメージ

画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整してください。



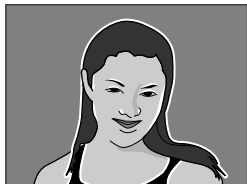
### ● デジタルマイクロプリズム

ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。



- **フォーカスピーキング**

コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。



## ISO 感度を変更

光に対する ISO 感度を変更できます。

**☑ 撮影設定 > 感度**で ISO 感度を設定します。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。 <b>AUTO1、AUTO2、AUTO3</b> にそれぞれ異なった <b>基準 ISO 感度、上限 ISO 感度、低速シャッター限界</b> を設定できます (📖 94)。
100 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
L (50) H (25600) H (51200) H (102400)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。

- ISO 感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。
- ☑ 操作ボタン・ダイヤル設定 > コマンドダイヤル設定**で、フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルで ISO 感度を変更できるようにすることができます。

### ISO 感度の設定について


ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

## AUTO 設定について

AUTO1、AUTO2、AUTO3 を選ぶと、それぞれ異なった値の**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。


設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	100 ~ 12800	100		
上限 ISO 感度	200 ~ 12800	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ~ 1/4 秒、AUTO	AUTO		

**基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。






-  **上限 ISO 感度**よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- 基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- 低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。



## 測光モードを変更

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。

 **撮影設定** > **測光**で使用する測光モードを設定します。

 測光モードを変更するときは、 **フォーカス設定** > **顔検出 / 瞳 AF 設定**を **OFF** にしてください。

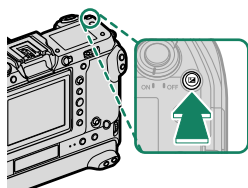
設定	説明
 マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  （マルチ）をおすすめします。
 中央部重点	撮影画面の中央部を重点的に測光して露出値を決定します。
 スポット	画面の約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。


 **フォーカス設定** > **測光 & フォーカスエリア連動**を **ON** にしているときは、フォーカスフレームの位置を測光します（ 147）。

## 露出補正




画像の明るさを調整できます。

 (露出補正) ボタンを押しながらリアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。



 モードによって補正段数が制限されることがあります。

### (露出補正) ボタンについて

-  操作ボタン・ダイヤル設定 > 露出補正ボタン設定が押下切替のときは、  
 (露出補正) ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう1度ボタンを押して露出補正を終了します。
-  操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、露出補正を割り当てるボタンを変更できます。



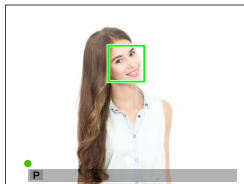
## AE/AF ロック撮影

シャッターボタンを半押しすると、明るさとピントが固定されます。

**1** AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

**2** シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出とピントが合い、AF フレームが緑点灯します。



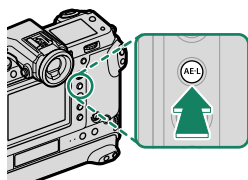
**3**そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

 シャッターボタンによる AE/AF ロック撮影を行う場合は、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AF、半押し AE** を ON にしておく必要があります。

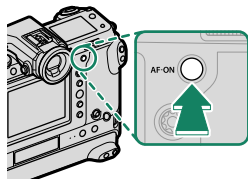
## ボタンによる AE/AF ロック

**AE-L** ボタンを使用すると、AE ロックのみを行えます（工場出荷時の設定）。**AF-ON** ボタンに **AF LOCK** のみを割り当てた場合、**AF-ON** ボタンを使用すると、AF ロックのみを行えます。

- ファンクションボタンで AE ロック / AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > AE/AF-LOCK 設定** を押下切替にすると、ファンクションボタンを放しても AE ロックや AF ロックは解除されなくなります。解除するときは、もう一度ボタンを押します。



AE-L ボタン (AE ロック)



AF-ON ボタン

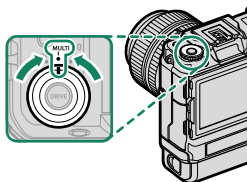


- AE ロック中にフォーカスレバーでフォーカスポイントの位置を変更することができます。
- ファンクションボタンには **操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定** で他の機能を割り当てることができます。また使用するファンクションボタンは変更できます (269)。

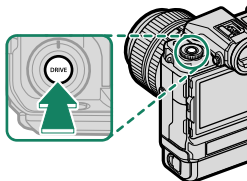
## ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。

- 1 ドライブモードダイヤルを **MULTI** に設定します。




- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。




- 3 フォーカスレバーで使用したいブラケティングを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 撮影します。

## AE ブラケットिंग


一度シャッターボタンを押すと、画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら選んだ撮影コマ数分連続撮影します。 **撮影設定 > AE ブラケットिंग設定**で1コマ/連続撮影やステップ幅、撮影順序などを設定できます。

 アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えると、設定した**ステップ数**で撮影されません。

## ISO ブラケットिंग

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度はドライブモード選択画面で $\pm 1/3$ 、 $\pm 2/3$ 、 $\pm 1$ から選べます。

## フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は  **撮影設定 > フィルムシミュレーション BKT** で設定します。

## ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから**±1**、**±2**、**±3**ステップの幅をドライブモード選択画面で設定できます。

## ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。



ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO400以上になります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。

## FOCUS フォーカス BKT

一度シャッターボタンを押すと、設定に応じてピントを変えながら連続で撮影されます。**☑ 撮影設定 > フォーカス BKT 設定**で撮影の方法を**マニュアル**または**AUTO**から選べます。



- 撮影中は、ズーム操作を行わないでください。
- 三脚のご使用をおすすめします。

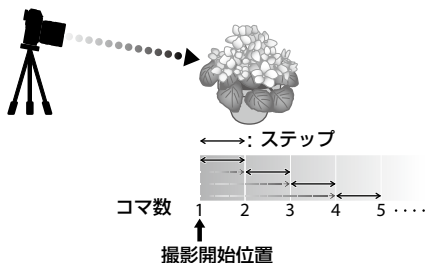
## マニュアル

マニュアルを選ぶと、次の項目を手動で設定できます。

サブメニュー	内容
コマ数	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	ピントの変化量を選びます。
撮影間隔	次の撮影までの時間を選びます。

### コマ数 / ステップとピント位置の関係について

コマ数 / ステップとピント位置の関係は図のようになります。



- ピント位置は、撮影開始位置から無限遠側に向かって移動します。
- ステップの数値が小さいとピント位置の間隔は狭くなり、大きいと広くなります。
- ピント位置が無限遠に到達すると、コマ数の設定に関わらず撮影を終了します。

## AUTO

**AUTO** を選ぶとコマ数とステップをカメラが自動で設定します。

**1** 撮影メニューから **撮影設定** > **フォーカス BKT 設定** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**2** **AUTO** を選んでから、撮影間隔を設定します。  
撮影画面が表示されます。

**3** 被写体のもっとも手前にピントを合わせて **MENU/OK** ボタンを押します。  
距離指標上に **A** が設定されます。

もっとも遠い方を先に設定しても、ピントを合わせる範囲は変わりません。



**4** 被写体のもっとも遠い方にピントを合わせて **DISP/BACK** ボタンを押します。  
距離指標上に **B** が設定され、ピントを合わせる範囲 (**A** と **B** の間) が設定されます。

**DISP/BACK** ボタンの代わりに **MENU/OK** ボタンを押して再度 **A** を設定することもできます。



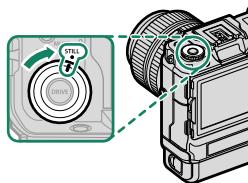
**5** 撮影します。  
カメラがコマ数とステップを自動で設定します。撮影コマ数は撮影画面に表示されます。



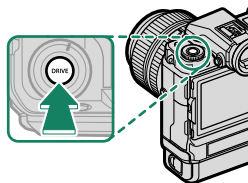
## 連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、各連写設定に応じたコマ数で連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

- 1 ドライブモードダイヤルを **STILL** に設定します。



- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 3 **CL 低速連写**または**CH 高速連写**を選び、シャッターボタンを押すと連続撮影します。

シャッターボタンから指を離すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。

- ❗ 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下したり、フラッシュが発光しなかったりする場合があります。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。



### ピントや露出について

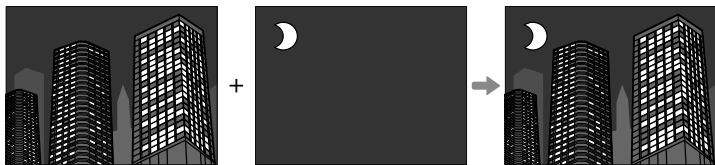
- ピントを自動で変えながら撮影したいときは、フォーカスモードを **C** に設定してください。
- 露出を自動で変えながら撮影したいときは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > 半押し AE** を **OFF** にしてください。



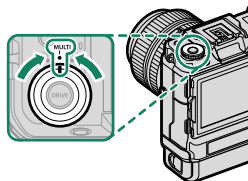
絞りや ISO 感度、露出補正などの撮影条件によっては、露出の自動調整が有効にならない場合があります。

## 多重露出撮影

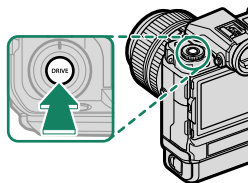
複数の画像を重ねて1つの画像に合成します。



- 1 ドライブモードダイヤルを **MULTI** に設定します。



- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 3  多重露出を選びます。

#### 4 画像をどのように合成するかを選びます。

設定	説明
加算	撮影した画像の露出を加算して合成します。合成する枚数に応じてマイナスの露出補正をしてください。
加算平均	重ね合わせた画像の露出が適正になるように自動的に露出を補正して合成します。同じ構図で撮影したときは背景が適正露出になるように補正されます。
比較 (明)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも明るい部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。
比較 (暗)	重ね合わせた画像の同じ位置を比較して、もっとも暗い部分が残るように合成します。色や明るさによって色が混ざることがあります。

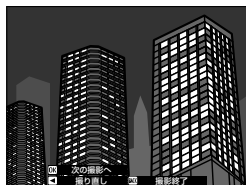
#### 5 1 枚目の画像を撮影します。

#### 6 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚目の撮影画面になります。



- 1 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- DISP/BACK** ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。



#### 7 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面に薄く表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



## 8 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が表示されて、次の画像の撮影画面になります。



- 2 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- **DISP/BACK** ボタンを押すと、撮影した画像が合成され、多重露出撮影を終了します。



## 9 繰り返し撮影します。

一度に 9 枚までの画像を合成できます。

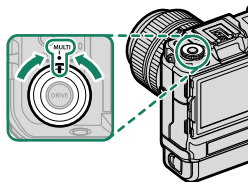
## 10 撮影が終わったら **DISP/BACK** ボタンを押します。

撮影した画像を合成した画像が保存されて、多重露出撮影を終了します。

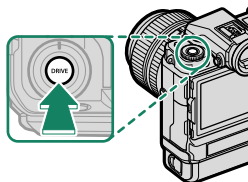
## ピクセルシフトマルチショット

ボディ内手ブレ補正を利用して、0.5画素単位でシフトした画像を16枚撮影し、それぞれRAW画像で記録できます。撮影したRAW画像はパソコンの専用アプリケーションで合成処理を行い、高解像度のRAW画像を生成できます。

- 1 ドライブモードダイヤルを **MULTI** に設定します。



- 2 ドライブボタンを押してドライブモード選択画面を表示させます。



- 3 ピクセルシフトマルチショットを選び、撮影間隔を設定します。

- 撮影間隔は最短に設定することをおすすめします。
- 1枚ごとにフラッシュを発光させて撮影する場合は、撮影間隔をフラッシュのチャージ時間に合わせて設定してください。

- 4 シャッターボタンを押して撮影を開始します。

- メモリーカードに撮影したRAW画像が記録されます。
- 振動を伝えないようにするため、セルフタイマーまたはリモートリリースで撮影してください。

- 5 パソコンで合成処理を行います。

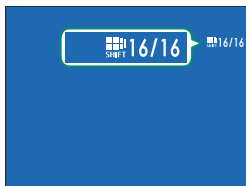
- 合成処理はFUJIFILM Pixel Shift Combinerで行えます。
- 高解像度のRAW画像の現像はCapture One社のCapture One Express Fujifilm、Capture One Pro Fujifilm、Capture One Proをご使用ください。FUJIFILM X RAW STUDIO、RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIXでは現像できません。



- パソコンのソフトウェアの詳細やダウンロードは以下をご覧ください。
  - **FUJIFILM Pixel Shift Combiner** :  
<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>
  - **Capture One Express Fujifilm** :  
<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>
  - **Capture One Pro Fujifilm** :  
<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>
  - **Capture One Pro** :  
<https://www.captureone.com/ja/explore-features>
- ピクセルシフトマルチショットはテザー撮影にも対応しています。テザー撮影はFUJIFILM Pixel Shift Combinerで行います。
- フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/5$ 秒（14bit RAW記録時）、 $1/2.5$ 秒（16bit RAW記録時）以下です。
- ピクセルシフトマルチショット撮影時は、以下の制限があります。
  - 電子シャッターのみでの撮影になります。
  - ISO感度は最大1600に制限されます。ISO 1600以上または**AUTO**に設定している場合はISO 1600になり、ISO 1600未満に設定している場合は、設定値のままになります。
  - **RAW記録方式の記録方式はロスレス圧縮のみになります。**
  - フォーカスモードが**C** (AF-C) の場合は、**S** (AF-S) で撮影されます。**S** (AF-S) または**M** (マニュアル) の場合は、設定されているフォーカスモードのまま撮影されます。
  - 動きのある被写体や撮影中に振動、明るさの変化がある場合は、うまく合成できないことがあります。
  -  **撮影設定 > フリッカー低減**は自動的に**OFF**になります。
  - 露出補正は16枚すべて同じ設定で撮影されます。

## 再生表示

ピクセルシフトマルチショットで撮影された画像を1コマ再生すると、ピクセルシフトマルチショットを示すアイコンが表示されます (192)。




# 撮影メニュー

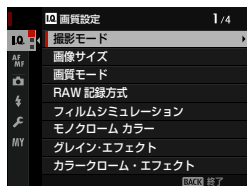
# 6

## 画質設定（静止画）


静止画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ**（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。




## 撮影モード（V.4）

静止画を撮影するときの撮影モードを設定できます（ 70）。

## 画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値	
<b>L</b> 4:3 (11648 × 8736)	<b>L</b> 65:24 (11648 × 4304)
<b>L</b> 3:2 (11648 × 7768)	<b>L</b> 5:4 (10928 × 8736)
<b>L</b> 16:9 (11648 × 6552)	<b>L</b> 7:6 (10192 × 8736)
<b>L</b> 1:1 (8736 × 8736)	
<b>M</b> 4:3 (8256 × 6192)	<b>M</b> 65:24 (8256 × 3048)
<b>M</b> 3:2 (8256 × 5504)	<b>M</b> 5:4 (7744 × 6192)
<b>M</b> 16:9 (8256 × 4640)	<b>M</b> 7:6 (7232 × 6192)
<b>M</b> 1:1 (6192 × 6192)	
<b>S</b> 4:3 (4000 × 3000)	<b>S</b> 65:24 (4000 × 1480)
<b>S</b> 3:2 (4000 × 2664)	<b>S</b> 5:4 (3744 × 3000)
<b>S</b> 16:9 (4000 × 2248)	<b>S</b> 7:6 (3504 × 3000)
<b>S</b> 1:1 (2992 × 2992)	

 画像サイズは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。




## 画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
<b>SUPER FINE</b>	圧縮率が低い最高画質のモードです。
<b>FINE</b>	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
<b>NORMAL</b>	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
<b>SUPER FINE+RAW</b>	SUPER FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>FINE+RAW</b>	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>NORMAL+RAW</b>	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
<b>RAW</b>	RAW ファイルのみを保存します。

### ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **SUPER FINE**、**FINE**、**NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（ 269）。再度ファンクションボタンを押すか、撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている画質モード	ファンクションボタン（RAW を割り当て済み）を押した場合
<b>SUPER FINE</b>	<b>SUPER FINE+RAW</b>
<b>FINE</b>	<b>FINE+RAW</b>
<b>NORMAL</b>	<b>NORMAL+RAW</b>
<b>SUPER FINE+RAW</b>	<b>SUPER FINE</b>
<b>FINE+RAW</b>	<b>FINE</b>
<b>NORMAL+RAW</b>	<b>NORMAL</b>
<b>RAW</b>	<b>FINE</b>

## RAW 記録方式

RAW 画像の記録方式を設定できます。

### 記録方式

設定	説明
非圧縮	データを圧縮せずに RAW 画像を保存します。
ロスレス圧縮	データを圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全に復元できます）。「Capture One Express Fujifilm」や、「RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX」、 「FUJIFILM X RAW STUDIO」などロスレス圧縮 RAW の現象に対応したソフトウェアを使うとデータを欠落させずに現像できます。記録した画像は <b>非圧縮</b> と同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 30～90%、16bit RAW で約 45～100% になります。
圧縮	データを非可逆圧縮して RAW 画像を保存します（データを完全には復元できません）。記録した画像は <b>非圧縮</b> とほぼ同等の画質になり、ファイルサイズは 14bit RAW で約 25～35%、16bit RAW で約 30～40% になります。

### 出力






設定	説明
16 bit	16 ビットの RAW 画像を出力します。
14 bit	14 ビットの RAW 画像を出力します。


**!** 16 bit はドライブモードが **1 コマ撮影**または**ピクセルシフトマルチショット**のときのみ有効です。

## フィルムシミュレーション（V.4）

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 <b>PROVIA/スタンダード</b>	標準的な発色と階調で人物・風景など幅広い被写体に適します。
 <b>Velvia/ビビッド</b>	高彩度な発色とメリハリある階調表現で風景・自然写真に最適です。
 <b>ASTIA/ソフト</b>	落ち着いた発色とソフトな階調でしっとりとした表現に適します。
 <b>クラシッククローム</b>	発色をおさえ暗部のコントラストを高めることで落ち着いた表現に適します。
 <b>PRO Neg. Hi</b>	コントラストを高めたややメリハリのあるポートレート撮影に適します。
 <b>PRO Neg. Std</b>	やわらかな階調で肌の質感を再現したいポートレート撮影に適します。
 <b>クラシックネガ</b>	深い色とメリハリのある階調で、被写体をしっかりとした立体感で表現します。
 <b>ノスタルジックネガ</b>	アンバーに味付けされたハイライトと色乗りの良いシャドウで、印刷された写真のような雰囲気表現します。
 <b>ETERNA/シネマ</b>	落ち着いた発色と豊かなシャドウトーンで動画に適します。
 <b>ETERNA ブリーチバイパス</b>	低彩度かつ高コントラストの独特な発色で撮影できます。動画撮影にも適します。 質感豊かでシャープな表現のモノクロです。さらに <b>Ye</b> 、 <b>R</b> 、 <b>G</b> のフィルターを選んでコントラストを調整します。
 <b>ACROS</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●  <b>ACROS + Ye フィルター</b>：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。</li> <li>●  <b>ACROS + R フィルター</b>：コントラストを強調し、青空が濃くなります。</li> <li>●  <b>ACROS + G フィルター</b>：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。</li> </ul>

設定	説明
 モノクロ	モノクロで表現します。さらに <b>Ye</b> 、 <b>R</b> 、 <b>G</b> のフィルターを選んでコントラストを調整します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●  <b>モノクロ + Ye フィルター</b>：コントラストをやや強調し、青空が少し濃くなります。</li> <li>●  <b>モノクロ + R フィルター</b>：コントラストを強調し、青空が濃くなります。</li> <li>●  <b>モノクロ + G フィルター</b>：唇、肌の調子を出し、ポートレートに適します。</li> </ul>
 セピア	セピア調で表現します。

-  フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- この設定はショートカット機能でも設定できます (📖 260)。
- フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。  
[https://fujifilm-x.com/ja-jp/tag/the-world-of-film-simulation/?post\\_type=xstories](https://fujifilm-x.com/ja-jp/tag/the-world-of-film-simulation/?post_type=xstories)

## モノクロームカラー（V.4）

フィルムシミュレーションの **A** ACROS または **B** モノクロで撮影したモノクロの色調を、赤みがかかった温かみのある温黒調（ウォームトーン）や、青みがかかった冷たさを感じる冷黒調（クールトーン）に調整できます。**WARM** から **COOL**、または **G**（緑）から **M**（マゼンタ）の2つの軸で調整できます。



## グレイン・エフェクト

画像にザラっとした粒状の質感を与えます。

### 強度

設定	説明
強	濃い粒状を与えます。
弱	薄い粒状を与えます。
OFF	使用しません。

### 粒度

設定	説明
大	粒の粗い質感を与えます。
小	粒の細かい質感を与えます。

## カラークローム・エフェクト

赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

## カラークローム ブルー

青系の色情報を階調豊かに表現します。

設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

## スムーズスキン・エフェクト


人物の肌をなめらかに補正します。


設定	説明
強	強い効果を与えます。
弱	弱い効果を与えます。
OFF	使用しません。

## ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、逆光や明暗差の大きなシーンで白とびを抑えて、より見た目に近い画像を撮影できます。

設定	おすすめ用途
<b>AUTO</b> (自動調整)	コントラストのある画像が撮影できます。
<b>100 100%</b>	⇕
<b>200 200%</b>	
<b>400 400%</b>	明暗差が大きいシーンでの、白とびを抑えます。

 ダイナミックレンジが広がるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。

-  ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、**100 100%** または **200 200%** で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。
- 200 200%** は ISO 感度が ISO 200 以上 ISO 12800 以下、**400 400%** は ISO 400 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

## D レンジ優先

明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。

設定	説明
<b>AUTO</b>	明暗差に応じて、自動的に階調を補正します。
<b>強</b>	階調補正を強くします。明暗差の大きいシーンに適しています。
<b>弱</b>	階調補正を弱くします。明暗差のやや大きいシーンに適しています。
<b>OFF</b>	階調補正を行いません。














- **弱**は ISO 感度が ISO 200 以上 ISO 12800 以下、**強**は ISO 400 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
- **D レンジ優先**が **OFF** 以外に設定されている場合、**トーンカーブ**、**ダイナミックレンジ**は自動的に設定されるため、変更することができなくなります。





## ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 <b>AUTO</b> をおすすめします。
 カスタム 1	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
 カスタム 2	
 カスタム 3	
 色温度設定	色温度を設定します。
 晴れ	晴天の屋外での撮影用です。
 日陰	曇天や日陰などでの撮影用です。
 蛍光灯 1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
 蛍光灯 3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
 電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/ 設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。
- この設定はショートカット機能でも設定できます（ 260）。

## WB シフト

ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。
- フォーカスレバーでシフト量を調整するときは、フォーカスレバーによる斜め移動はできません。

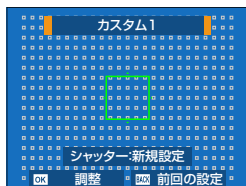
## カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

- 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。


1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス ( $\Omega_1/\Omega_2/\Omega_3$ ) を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面内に表示します。



- **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。
- カスタムホワイトバランスを取得するエリアのサイズや位置を変更することもできます。

### 3 シャッターボタンを全押しして設定します。

 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。


### 4 「GOOD!」と表示されたら、MENU/OK ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは -（マイナス）側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは +（プラス）側に露出補正してから、再度測定してください。



## K 色温度を設定する

光源の色温度に合わせて設定します。

 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。


1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度が表示されます。



2 フォーカスレバーで色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

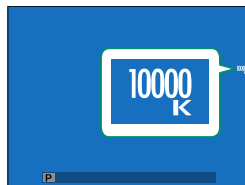
WB シフト画面が表示されます。

 シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度が設定されます。設定した色温度が画面に表示されます。



### 色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

## トーンカーブ（V.4）

トーンカーブを参考にしながら、ハイライト部やシャドウ部の調子をそれぞれ設定できます。硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。



設定	設定値
ハイライト	-2 ~ +4
シャドウ	-2 ~ +4

## カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

## シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

## 高感度ノイズ低減 (V.4)

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値								
-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4

## 明瞭度 (V.4)

ハイライト部とシャドウ部の階調をなるべく保ったまま、画像をはっきりとさせます。画像をはっきりとさせたいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

❗ 0以外の値に設定して撮影した場合、画像処理のため保存に時間がかかります。

## 長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF

❗ ON にすると、画像処理のため保存に時間がかかります。

## 点像復元処理

**ON** にすると、レンズごとの焦点距離、絞り値、画面中心から周辺までのデータを高精度に処理することで、絞り込み時の回折ボケやレンズ周辺部のわずかなボケを補正します。画像のすみずみまで高いシャープネスやリアルな立体感が得られます。

設定値	
ON	OFF

## 色空間

画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

## ピクセルマッピング

撮影画像の輝点が気になってきたときなどに実行すると、輝点が軽減されます。

1 撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**画質設定** タブを選びます。

2 ピクセルマッピングを選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押して、ピクセルマッピングを実行します。



- 実行しても、思うように軽減されないことがあります。
- 十分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- カメラの温度が高いときはピクセルマッピングは実行できません。
- 処理には数秒程度かかることがあります。

## カスタム選択 (V.4)

カスタム登録 / 編集で保存したカスタム 1 ~ 7 の静止画撮影の設定を呼び出します。

設定値			
選択しない	カスタム 1	カスタム 2	カスタム 3
カスタム 4	カスタム 5	カスタム 6	カスタム 7



カスタム設定を使用しない場合は、**選択しない**を選びます。



## カスタム登録 / 編集（V.4）

静止画の撮影メニューの設定を自分好みの組み合わせで保存できます。保存した設定は、**画質設定 > カスタム選択**で呼び出せます。

### カスタム設定を作成する

カスタム設定を新規に作成できます。

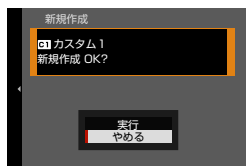
**1** 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録 / 編集**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**2** C1 ~ C7 のうち、新規作成の場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



**3** 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。選んだ場所に現在のカメラの設定が登録されます。



### カスタム設定の内容を変更する

作成したカスタム設定の内容を変更して保存できます。

**1** 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録 / 編集**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**2** 設定を変更したいカスタムを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

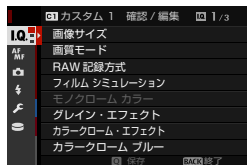


3 確認 / 編集を選び、MENU/OK ボタンを押します。




4 撮影メニューの一覧からカスタム登録したいメニューの項目を選んで MENU/OK ボタンを押します。

選んだ項目の設定ができます。




5 MENU/OK ボタンを押すと、項目の設定を終了して撮影メニューの一覧に戻ります。

続けて別の項目を設定することができます。

 カスタム登録内容の自動更新をしないに設定している場合、設定を変更した項目には赤い丸が表示され、自動的に保存されません。

- 設定を変更した項目を選んで **Q** ボタンを押すと、選んだ項目を個別に保存できます。
- 手順3の画面に戻り、**変更を保存**を選ぶと、設定を変更した項目をすべて保存できます。**変更をリセット**を選ぶと、変更をすべて保存せずに元の設定に戻します。
- 赤い丸が付いた変更中のカスタムをコピーした場合に、変更中のカスタムがコピーの対象となります。

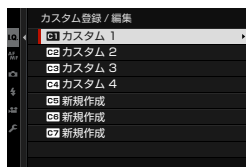
-  • ドライブモードダイヤルが **STILL** のときと **MULTI** のときで、使うことのできるカスタム設定は共通です。
- 一つのカスタム設定に対して、ドライブモードは **STILL** と **MULTI** の両方の設定が登録されます。ドライブモードダイヤルが **STILL** のときと **MULTI** のときで、それぞれの設定が呼び出されます。

## カスタム設定をコピーする

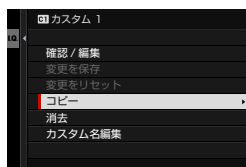
選んだカスタム設定の内容を複製したり、別のカスタム設定に上書きしたりできます。カスタム設定の名前を変更している場合、コピー先のカスタム名はコピー元のカスタム名と同じになります。

**1** 撮影メニューから **画質設定 > カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

**2** コピー元のカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



**3** コピーを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



**4** C1 ~ C7 から、コピーしたい場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

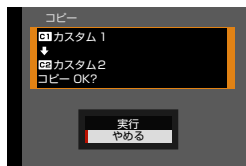
確認画面が表示されます。



すでに作成されているカスタム設定を選ぶと、そのカスタム設定に登録されている内容を上書きします。



**5** 実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。  
カスタム設定が複製または上書きされます。



## カスタム設定を消去する

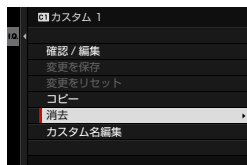
選んだカスタム設定を消去します。

1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

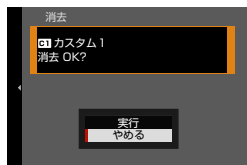
2 消去したいカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 消去を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
確認画面が表示されます。



4 **実行** を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。  
選んだカスタム設定が消去されます。

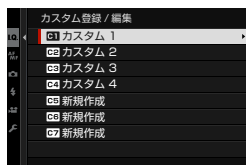


## カスタム設定の名前を変更する

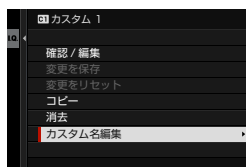
カスタム設定の名前を変更できます。

- 1 撮影メニューから **画質設定** > **カスタム登録 / 編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 2 名前を変更したいカスタム設定を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 3 **カスタム名編集** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



- 4 カスタム設定の名前を入力して**設定**を選びます。  
カスタム設定の名前が変更されます。

## カスタム登録内容の自動更新（V.4）

カスタム登録の内容を自動更新できます。

設定	説明
する	カスタム設定（カスタム 1～7）の内容を変更すると、設定内容が自動的に更新されます。
しない	カスタム登録の内容を自動更新しません。カスタム登録内容を変更する場合は手動で行います（ <a href="#">図 129</a> ）。

## 📷 マウントアダプター設定 (V.4)

マウントアダプターを装着したときの設定を行います。

📺 動画の設定も同時に変更されます (🗨 179)。

### シャッター選択

レンズシャッター付きレンズをご使用の場合は、シャッター制御を**ボディ** (カメラ本体)で行うか、**レンズ**のシャッターで行うかを選びます。

❗ ご使用になるレンズによっては、機能しない場合があります。

### レンズ登録

レンズ**1**～**レンズ6**にそれぞれレンズの設定を登録できます。**OFF**を選ぶとレンズの補正は行いません。

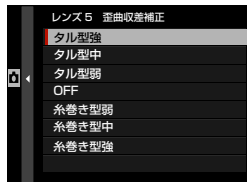
### 焦点距離設定

ご使用になるレンズの実焦点距離をフォーカスレバーで設定します。



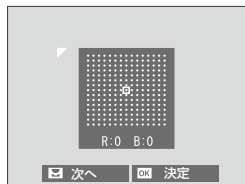
### 歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。




## 色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。

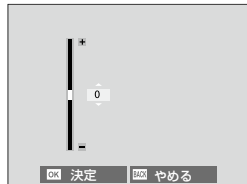


- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 フォーカスレバーで補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
  - レッド/シアン（横軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
  - ブルー/イエロー（縦軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。


 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

## 周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、**-5**～**+5**と**0**(ゼロ)の計11段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がります。オールドレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がります。古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

## レンズ名編集

レンズ名を編集できます。



## フォーカス設定（静止画）

静止画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF**（フォーカス設定）タブを選びます。

メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[図 85](#)）。

### AF モード

フォーカスモードが **S** または **C** のときの AF モードを設定します（[図 83](#)）。

## AF-C カスタム設定

フォーカスモードを**C**に設定したときのピントの追従性を設定します。シーンに応じた**SET 1**～**5**を選びます。**SET 6 カスタム**で設定値を任意で設定することもできます。



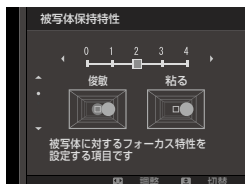
設定	説明
<b>SET 1</b> 汎用性の高い 基本的な設定	動きのある被写体全般に適用する標準的な設定です。
<b>SET 2</b> 障害物があるとき や、フレームアウト しやすいとき	ロックしている被写体にピントを合わせ続けようとしています。被写体がフォーカスエリアから外れてしまったり、被写体以外がフォーカスエリアに入ってしまうシーンに適しています。
<b>SET 3</b> 急加速 / 急減速する 被写体向け	急激な加速や減速に反応してピントを合わせようとしています。被写体の速度変化が大きいシーンに適しています。
<b>SET 4</b> 急に現れる 被写体向け	フォーカスエリア内に入ってきたものに対して即座にピントを合わせようとしています。急に現れる被写体や被写体を切り替えながら撮影する場合に適しています。
<b>SET 5</b> 前後左右に激しく 動く被写体向け	被写体の速度変化が大きく、さらに上下左右にも動いてフォーカスエリアから外れやすいシーンに適しています。
<b>SET 6</b> カスタム	被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性をお好みで設定できます。 <b>SET 1</b> ～ <b>5</b> で設定されている設定値を参考にして各特性を設定してください (139、141)。

## 各設定の特性について

それぞれの設定は、**被写体保持特性**、**速度変化特性**、**ゾーンエリア特性**の設定値で構成されています。

### 被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のものが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。設定値が大きいほどピントを合わせようとしている被写体を長く捉えようとしています。



#### 設定値

0	1	2	3	4
---	---	---	---	---

- ❗ 数値が大きいほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

### 速度変化特性

被写体が速度変化した場合の被写体位置の予測度合いを決める特性です。数値が大きいほど急速な動きに反応し、ピント精度を上げようとしています。



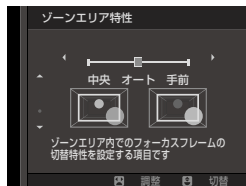
#### 設定値

0	1	2
---	---	---

- ❗ 数値が大きいほど、光の反射やコントラストがない被写体などの AF が苦手な被写体ではピントが不安定になる場合があります。

## ゾーンエリア特性

ゾーン AF エリア内のどのエリアを優先してピントを決めるかを定める特性です。



設定	説明
手前	常に手前のエリアを優先してピントを選びます。
オート	初回 AF ではゾーン中央付近の被写体にピントを合わせ（ロック）、そのあとはロックした被写体が含まれるエリアを自動で選びます。
中央	常に中央のエリアを優先してピントを選びます。

**!** ゾーンエリア特性は AF モードに **☐** ゾーンを選んでいるときのみ有効です。

### SET 1 ~ 5 の特性について


SET 1 ~ 5 の特性の各設定値は以下のように設定されています。

AF-C カスタム設定	被写体保持特性	速度変化特性	ゾーンエリア特性
SET 1	2	0	オート
SET 2	3	0	中央
SET 3	2	2	オート
SET 4	0	1	手前
SET 5	3	2	オート

## SET 6 カスタムの設定手順

- 1 AF-C カスタム設定の SET 6 カスタムを選びます。




- 2 被写体保持特性、速度変化特性、ゾーンエリア特性の設定値を設定します。フォーカスレバーで設定する項目を選び、フロントコマンドダイヤルで設定値を変更します。設定画面で  ボタンを押すと、設定をリセットします。
- 3 DISP/BACK ボタンで設定を決定します。

## 縦 / 横位置 AF モード切替

カメラを横向きで撮影するときと、縦向きで撮影するときの AF モードを別々に設定できます。

設定	説明
OFF	横向きと縦向きを同じ位置に設定します。
フォーカスエリアのみ	フォーカスエリアの位置のみ別々に設定します。
ON	縦向きと横向きをそれぞれ別々に設定します。

## AF ポイント表示

 フォーカス設定 > AF モードがゾーンまたはワイド / トラッキングのときのフォーカスエリアポイント枠を表示するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

## フォーカス点数切り替え

AFモードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードがMのとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。

設定	説明
117点 (9 × 13)	117点(9 × 13)のフォーカスエリアポイントから選べます。
425点 (17 × 25)	425点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

## プリ AF

ONにすると、シャッターボタンを半押ししていないときもAFサーチを実行します。常にAFサーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンスを逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	OFF

❗ ONにすると、バッテリーの消耗が早くなります。

## 📷 AF 補助光 (V.4)

ONにすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF補助光が発光します。AF補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値	
ON	OFF

- ❗ シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
- 被写体に近づいた撮影では、AF補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- 人の目に近づけて発光させないでください。

📺 動画の設定も同時に変更されます (📖 181)。

## 顔検出 / 瞳 AF 設定



顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物の明るさが適正になるように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。



設定	説明
顔検出 ON	<p>顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>瞳 AF OFF</b>：顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。</li> <li>● <b>瞳 AF AUTO</b>：顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。</li> <li>● <b>瞳 AF 右目優先</b>：顔を検出したときに右目にピントを合わせます。</li> <li>● <b>瞳 AF 左目優先</b>：顔を検出したときに左目にピントを合わせます。</li> </ul>
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- ❗
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
  - 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。




- 顔を検出すると顔の上に緑色の枠が表示されます。カメラが複数の顔を検出した場合は、その他の顔の上にグレーの枠が表示されます。グレーの枠の顔をタッチして、ピントを合わせる顔を変更できます。ピントを合わせる顔を変更すると、が白から緑色に変わります。
- **顔セレクト**  を割り当てたファンクションボタンを押すと、フォーカスレバーや EVF 使用時のタッチパネル操作で変更することもできます ( 30 )。
- フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔からフォーカスエリアに変更することができます。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- ピントを合わせた顔が撮影画面から外れると、顔が撮影画面に戻ることを一定時間待つため、顔以外の場所に緑色の枠が残ることがあります。
- 連写中はピントを合わせる顔は変更できません。
- 撮影条件によっては連写後に選択した顔が解除されることがあります。
- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。
- この設定はショートカット機能でも設定できます ( 260 )。




## AF+MF


**ON** に設定すると、フォーカスモードが **S** 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回すと AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値	
ON	OFF

-  距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードを **S**、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。

 **MFアシスト**でスタンダードまたはフォーカスピーキングを選んでいる場合は、選んだ MF アシストでピントの確認ができます。

### AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

 **フォーカス設定** > **フォーカスチェック** を **ON** にすると、**AF モード** が **シングルポイント** のときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。拡大倍率はリアコマンドダイヤルを回して切り替えます。

## MFアシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です（デジタルスプリットイメージ/デジタルマイクロプリズム/フォーカスピーキング機能を使用しません）。
デジタル スプリットイメージ	画面中央部にスプリットイメージが表示されます。スプリットイメージの上部、中央部、下部に3本の分割線があるので、ピントを合わせたい被写体が分割線上に写るようにして、分割線上下での像のズレが無いようにフォーカスリングを回して、フォーカスを調整できます。スプリットイメージは <b>モノクロ</b> 、 <b>カラー</b> のいずれかを選べます。
デジタル マイクロプリズム	ピントがずれているときは像のボケが強調されて格子模様になり、ピントが合うと格子模様が消えて像が明確になります。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。



リアコマンドダイヤルの中央を長押しすると、**MFアシスト**の設定を切り替えることができます。

## フォーカスチェック

**ON** にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
<b>ON</b>	<b>OFF</b>



- リアコマンドダイヤルの中央を押すと通常表示に戻ります。
- 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

## 測光 & フォーカスエリア連動


ON にすると、測光がマルチまたはスポットのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。

設定値	
ON	OFF

## 📷 ワンプッシュ AF 時の動作 (V.4)

フォーカスモードが **M** のときの AF ロックまたは **AF-ON** を割り当てたファンクションボタンによるピント合わせの方法を変更できます。


設定	説明
AF-S	ボタンを押すと、オートフォーカスでピントを合わせます。
AF-C	ボタンを押している間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。

 動画の設定も同時に変更されます (📖 183)。

## 被写界深度スケール (V.4)

被写界深度のスケール (ゲージ) の基準を変更できます。


設定	説明
ピクセル基準	パソコンなどの画面で拡大表示して厳密な被写界深度を確認するときの目安にします。
フィルム基準	プリント画像などを観賞するときの実用的な被写界深度を確認するときの目安にします。

 動画の設定も同時に変更されます (183)。

## レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが **AF-S** のときと、**AF-C** のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

 **AF+MF** が **ON** のときは、設定にかかわらずピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。

## 📷👤 フォーカスリミッター（V.4）

ピントを合わせる距離を制限して、ピントを合わせるスピードを速くします。





設定	説明
OFF	フォーカスリミッターを使用しません。
カスタム	最短距離と最長距離を指定してピントを合わせる範囲を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>実行</b>：設定した範囲で撮影します。</li> <li>• <b>設定</b>：2つの対象物を指定して、その間の範囲にピントを合わせるように設定します。</li> </ul>
プリセット1 プリセット2	あらかじめ設定されている範囲でピントを合わせて撮影します。


- ❗ ピントを合わせる範囲を、使用するレンズの最短撮影距離よりも手前に設定した場合、フォーカスリミッターは無効になります。
- フォーカスリミッターで設定、表示される距離は、実際の距離と異なる場合があります。

- 📄 **カスタム**設定時は次の操作もできます。
  - タッチパネルで2つの対象物をタッチして指定することもできます。
  - 対象物を選ぶかわりにフォーカスリングを回して無限遠に合わせると、最長距離を無限遠に設定できます。
- 動画の設定も同時に変更されます（📖 183）。

## 📷 👤 タッチパネルモード (V.4)

液晶モニター (LCD) のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 <b>AF</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。AF ロックを解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li><li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、タッチした場所にピントを合わせ続けます。ピント合わせの動作を解除するには、<b>AF OFF</b> アイコンをタッチします。</li><li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、ワンプッシュ AF の動作になり、タッチした場所にピントを合わせます。</li></ul>
 <b>AF OFF</b>	
 <b>エリア選択</b>	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 <b>OFF</b>	タッチ操作を行いません。

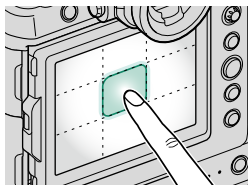
-  **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > 📷 タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- 動画の設定も同時に変更されます (📖 184)。

### ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中（フォーカスチェックがオンのとき）は、タッチパネルの動作が異なります。

#### ■ 画面の中央をタッチしたときの動作

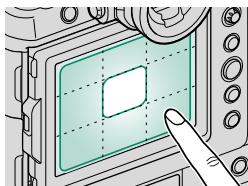
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

#### ■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作


タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。

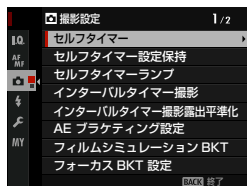


## 撮影設定（静止画）

静止画撮影時の設定を設定できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**📷**（撮影設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。





### セルフタイマー

シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。

- 画面には、シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。



設定	説明
 2 秒	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
 10 秒	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。
OFF	セルフタイマーを使用しません。

- ❗ シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。



## セルフタイマー設定保持

**ON** のときは、セルフタイマー撮影後に続けてシャッターボタンを押すと、設定されている時間でセルフタイマー撮影できます。また、電源をオフにしても**セルフタイマー**の設定は維持されます。

設定値	
ON	OFF

## セルフタイマーランプ (V.4)

**ON** にするとセルフタイマー撮影中にセルフタイマーランプが点滅します。夜景を撮影するときなどは **OFF** に設定してください。

設定値	
ON	OFF

## インターバルタイマー撮影

設定した時間ごとに自動撮影するインターバルタイマー撮影の撮影間隔と撮影回数を設定できます。

- 1 撮影メニューから 撮影設定 > インターバルタイマー撮影を選び、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。



- 2 フォーカスレバーで撮影間隔と撮影回数を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。



- 3 フォーカスレバーで開始時間を設定し、MENU/OK ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影が開始されます。



バルブ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。



- 三脚のご使用をおすすめします。
- 撮影中のバッテリー切れに注意してください。AC パワーアダプター AC-15V をご使用ください。
- インターバルタイマー撮影中は画面の表示が消えます。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
- 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。
- 撮影回数を  $\infty$  に設定すると、インターバルタイマー撮影設定前の画面に表示されていた撮影可能枚数まで撮影します。

## インターバルタイマー撮影露出平準化

ON にすると、インターバルタイマー撮影時にカメラが自動で露出を調整し、直前に撮影された画像と明るさが大きく変化しないようにします。

設定値	
ON	OFF

- ❗ 被写体の明るさが大きく変化するときは、露出が安定しないように見えることがあります。その場合、**インターバルタイマー撮影の撮影間隔**を短くすることをおすすめします。
- マニュアル（**M**）撮影のときは、**感度**が AUTO のときのみ露出の平準化を行います。

## AEブラケットング設定

AEブラケットング撮影の撮影コマ数などを設定できます ( 100 )。

サブメニュー	内容
コマ数 / ステップ数設定	AEブラケットングで撮影するコマ数と明るさの変化量 (ステップ数) を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• <b>コマ</b> : 撮影するコマ数を選びます。</li><li>• <b>ステップ</b> : 明るさの変化量を選びます。</li></ul>
1コマ / 連続	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>1コマ</b> : シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。</li><li>• <b>連続</b> : シャッターボタンを1度押すと、<b>コマ数 / ステップ数設定</b>の設定にしたがって連続撮影します。</li></ul>
撮影順序設定	AEブラケットングの撮影順序を設定できます。

## フィルムシミュレーション BKT ( V.4 )

フィルムシミュレーション BKT 撮影する3枚の画像に対するフィルムシミュレーションの設定をそれぞれ (フィルム1、フィルム2、フィルム3) 設定します ( 100、115 )。

## フォーカス BKT 設定

フォーカス BKT 撮影の方法を**マニュアル**か**AUTO**で選べます ( 102 )。

## 測光



カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ (露出) にならないときに使用します ( 95 )。


## シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
EF 電子先幕シャッター	カメラが状況に応じて <b>電子先幕</b> または <b>メカニカルシャッター</b> で撮影します。
M/E メカニカル+電子	カメラが状況に応じて <b>メカニカル</b> または <b>電子シャッター</b> で撮影します。
<sup>EF</sup> E 電子先幕シャッター+電子	カメラが状況に応じて <b>電子先幕</b> 、 <b>電子</b> 、 <b>メカニカルシャッター</b> のいずれかで撮影します。

EF 電子先幕シャッターに設定していても高速シャッターを使用すると、MS メカニカルシャッターになります。

-  電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
  - 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
  - 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
  - シャッター音を消して撮影できますが（ 224）、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。
- 電子先幕シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。
- シャッタースピードが高速になるほど露光ムラが大きくなり、被写体のボケ像が欠けて写ることがあります。

-  電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。
- ISO 感度は 12800 ～ 100 に制限されます。
  - 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
  - フラッシュは発光しません。ただし、ピクセルシフトマルチショット撮影時は発光します。

## フリッカー低減 (V.4)

蛍光灯などの照明下で画面や画像に発生するちらつき（フリッカー現象）を低減します。

設定	説明
全コマ	全コマでフリッカー低減処理を行います。1コマ目のみでフリッカー低減処理を行う場合に対し、連写速度が遅くなります。
1コマ目のみ	1コマ目のみでフリッカー低減処理を行い、2枚目以降（連写時）はその処理を継続します。連写中にフリッカーが見えてきてしまうことがあります。
OFF	フリッカー低減を行いません。




- フリッカー低減を使用すると、撮影にかかる時間が長くなります。
- 電子シャッターでは、フリッカー低減がOFFになります。
- 動画撮影では、使用できません。

## 感度

光に対するISO感度を変更できます ( 93 )。

## ブレ防止モード


手ブレ補正の ON/OFF を設定します。

設定	説明
常時	常に手ブレ軽減を行います。
撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。フォーカスモードが <b>C</b> のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時などカメラが固定されている場合は、ブレ防止モードを <b>OFF</b> にしてください。 <b>OFF</b> のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ（OIS スイッチ）がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じることがあります。




## 35mm フォーマットモード

撮影メニューの  **撮影設定** で **35mm** フォーマットモードを設定すると、画角が 35mm になり、画面の表示も変更されます。



設定	説明
ON	画角が 35mm になり、画面の表示も変更されます。
OFF	35mm フォーマットモードを使用しません。
AUTO	自動検出に対応しているマウントアダプターを装着しているときは、35mm フォーマットモードに自動で切り替わります。



- セットアップメニューの  **表示設定** > **画面のカスタマイズ** で **35mm** フォーマットモードのアイコンを表示させるかどうか（工場出荷時の設定値は ）設定できます（ 22）。
- 撮影メニューの  **画質設定** > **画像サイズ** は **L 3:2** 固定になります。



## ワイヤレス通信（V.4）

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

[http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera\\_remote/](http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/)

## フラッシュ設定（静止画）

静止画撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

静止画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
**⚡**（フラッシュ設定）タブを選びます。



### フラッシュ機能設定

フラッシュの発光モードや発光量または発光強度などを設定できます。使用するフラッシュによって設定できる項目が異なります。



各フラッシュの設定は「オプション品・外部機器の使い方」の「クリップオンフラッシュ」をご覧ください（ 284）。

### 赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定	説明
赤目抑制発光+ 補正処理	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光とデジタル補正による赤目補正を行います。
赤目抑制発光	赤目軽減を目的とした予備フラッシュ発光による赤目補正を行います。
補正処理	デジタル補正による赤目補正を行います。
OFF	赤目補正を行いません。

- 赤目抑制発光は、TTL モードで使用できます。
- 顔が検出できないときは、デジタル補正は使用できません。
- RAW ファイルの画像は、デジタル補正は使用できません。

## TTL-LOCK モード

TTL ロックの動作方法を設定します。TTL ロックを使用すると、TTL 発光による複数撮影においてフラッシュの発光量を一定にするためにプレ発光による演算結果をロックして撮影条件や調光を保つことができます。

設定	説明
直前の発光条件でロック	カメラが記憶している直前の撮影で使用された TTL 発光の撮影条件でロックします。
調光発光してロック	調光発光して、その調光結果でロックします。



- TTL ロックを使用するには、ファンクションボタンに **TTL-LOCK** を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと、TTL ロックを設定したり、解除したりすることができます（[P.269](#)）。
- ロックしていても調光補正はできません。
- **直前の発光条件でロック**を設定していても直前の発光条件がないときは、エラーメッセージが表示されます。

## LED ライト設定

フラッシュの LED ビデオライトを静止画撮影時の AF 補助光やキャッチライトとして使用するかどうかを設定できます。LED ライトを搭載したクリップオンフラッシュを使用しているときに設定できます。

設定	説明
キャッチライト	キャッチライトとしてのみ使用します。
AF 補助光	AF 補助光としてのみ使用します。
AF 補助光+ キャッチライト	AF 補助光とキャッチライトとして使用します。
OFF	どちらも使用しません。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。

## コマンダー設定

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。

設定	説明
Gr A	A グループに設定します。
Gr B	B グループに設定します。
Gr C	C グループに設定します。
OFF	撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。



フラッシュ機能設定メニューからも設定できる場合があります。


## CH 設定

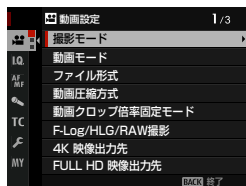
コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。

設定値			
CH1	CH2	CH3	CH4

## 動画設定（動画）

動画撮影に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、（動画設定）タブを選びます。

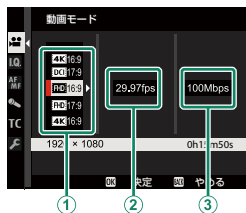



### 撮影モード（V.4）

動画を撮影するときの撮影モードを設定できます（[目次 62](#)）。

### 動画モード

撮影する動画の画像サイズとアスペクト比、フレームレート、ビットレートを変更できます。



- 1 撮影メニューから  動画設定 > 動画モードを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

2 フォーカスレバーの上下で動画の画像サイズとアスペクト比を選び (①)、フォーカスレバーを右に動かします。


- **4K 16:9**、**DCl 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16 : 9 または 17 : 9 の 4K 動画を撮影します。
- **FHD 16:9**、**FHD 17:9** を選ぶと、それぞれアスペクト比 16 : 9 または 17 : 9 の FULL HD 動画を撮影します。

3 フレームレートを選び (②)、フォーカスレバーを右に動かします。

設定値					
23.98P	24P	25P	29.97P	50P	59.94P

4 ビットレートを選び (③)、MENU/OK ボタンを押します。

設定値			
50Mbps	100Mbps	200Mbps	400Mbps

 フレームレート、ビットレートは、動画モードによって選択できる設定値が異なります。

## ファイル形式 (V.4)

撮影する動画のファイル形式を変更できます。

設定	説明
MOV/H.265(HEVC) LPCM	圧縮効率が高く、最高画質 / 高音質で撮影できます。メモリーカードには 4:2:0 10bit で、HDMI には 4:2:2 10bit で出力します。
MOV/H.264 LPCM	高画質 / 高音質で撮影できます。F-Log/HLG/RAW 撮影の <b>SD HLG</b> <b>HD HLG</b> は選べません。メモリーカードには 4:2:0 8bit、HDMI には 4:2:2 10bit で出力します。

## 動画圧縮方式

撮影する動画の圧縮方式を変更できます。

設定	説明
ALL-Intra	撮影したコマを1コマずつ圧縮する方式です。データ量は大きくなりますが、各コマのデータが保存されているので編集を前提とした動画撮影に適しています。
Long GOP	良好な画質と高い圧縮率を備えた圧縮方式です。データ量は小さく、長時間の撮影に適しています。

## 動画クロップ倍率固定モード (V.4)

動画のクロップ倍率を1.1倍に固定します。動画モードを変更したときに撮影範囲を合わせやすくなります。

設定値	
ON	OFF

## F-Log/HLG/RAW 撮影

F-Log、HLG（Hybrid Log-Gamma）および RAW で撮影された映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
   	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
 <b>F-Log</b>  <b>F-Log</b>	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
   <b>F-Log</b>	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには F-Log で撮影された映像が出力されます。
 <b>F-Log</b>  	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーにはフィルムシミュレーション映像が出力されます。
 <b>HLG</b>  <b>HLG</b>	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。
   <b>RAW</b>	メモリーカードにはフィルムシミュレーション映像が記録され、外部レコーダーには RAW で撮影された映像が出力されます。
 <b>F-Log</b>  <b>RAW</b>	メモリーカードには F-Log で撮影された映像が記録され、外部レコーダーには RAW で撮影された映像が出力されます。
 <b>HLG</b>  <b>RAW</b>	メモリーカードには HLG で撮影された映像が記録され、外部レコーダーには RAW で撮影された映像が出力されます。















- **F-Log** は、撮影後の映像処理（ポストプロダクション）を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。ISO 感度は ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 1250 以上、ISO 12800 以下になります。撮影メニューの **📺 動画設定 > ファイル形式** で **MOV/H.265(HEVC)LPCM** を選んでいるときに撮影可能です。
- フィルムシミュレーションの映像 (**🎞️**) は、撮影メニューの **📺 動画設定 > 🎞️ フィルムシミュレーション** で選んでいる設定になります。
- **SD 🎞️ HDMI F-Log** または **SD F-Log 🎞️ 🎞️** のときは、HDMI 出力とカメラ内 SD カード記録で、異なる画像サイズ (4K、Full HD) を選択することはできません。また、**📺 動画設定** の以下のメニューは使用できません。
  - 動画モードのフレームレート：**59.94P、50P**
  - **4K** フレーム間ノイズリダクション
  - **HDMI 出力情報表示**
- **RAW** で撮影された映像は、メモリーカードには記録できません。
- **RAW** で撮影された映像は、カメラ内部の画像補正処理が反映されません。
- カメラの画面に表示される画質や撮影範囲（画角）は、外部レコーダーに出力される映像とは異なります。**RAW** で出力された映像は外部レコーダーで確認してください。
- 外部レコーダーの表示画質は、外部レコーダーの仕様にもとづいて RAW から作られる映像であり、最終的なポストプロダクションなどで得られる映像を再現できない場合があります。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、カメラの画面の拡大表示機能は使用できません。
- **RAW** で撮影された映像を、対応している外部レコーダー以外で HDMI 出力すると、モザイク画像が表示され正しく表示できません。
- HDMI 出力に **RAW** を選んだときは、メモリーカードに記録される映像 (**🎞️**、**F-Log**、**HLG**) の ISO 感度は ISO 1250 以上、ISO 12800 以下になります。

## 4K 映像出力先





カメラを HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどに接続する場合、4K 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。



設定	説明
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に 4K 映像が記録・出力されます。
 	メモリーカードには 4K 映像が記録され、外部レコーダーには FULL HD 映像が出力されます。
 	メモリーカードには FULL HD 映像が記録され、外部レコーダーには 4K 映像が出力されます。
 — 	メモリーカードには何も記録されず、外部レコーダーには 4K 映像が出力されます。

 あらかじめ、撮影メニューの  **動画設定** > **動画モード** で **4K 16 : 9** または **DCI 17 : 9** を設定してください。

## FULL HD 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで外部レコーダーなどに接続する場合、FULL HD 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方に FULL HD 映像が記録・出力されます。
 — 	メモリーカードには何も記録されず、外部レコーダーには FULL HD 映像が出力されます。

-  • あらかじめ、撮影メニューの  **動画設定** > **動画モード** で **FHD 16 : 9** または **FHD 17 : 9** を設定してください。
- **HDMI 出力情報表示** が **OFF** のときは、4:2:2 10bit で HDMI 出力されます。


## HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

## 4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)

HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどとの接続時、スタンバイ中に HDMI 出力解像度を 4K から FULL HD に切り替えるかどうかを設定します。

設定	説明
 4K	スタンバイ中も HDMI 出力解像度を 4K のまま維持します。
 FHD	スタンバイ中は HDMI 出力解像度を FULL HD に切り替えます。バッテリーの消費を抑えます。

## HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。


設定値	
ON	OFF

## 測光 (V.4)

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 156)。

## ブレ防止モード (V.4)

手ブレ補正のON/OFFを設定します。

設定	説明
IBIS/OIS	センサーシフト式 (IBIS) と光学式 (OIS) のブレ補正を行います。OISを搭載していないレンズを使用している場合は、IBISでブレ補正を行います。
IBIS/OIS + DIS	IBISとOISに加え、電子式 (DIS) のブレ補正を行います。 <b>動画モード</b> に応じて画角がクロップされます。
OFF	ブレ補正を行いません。三脚使用時などカメラが固定されている場合は <b>OFF</b> にしてください。 <b>OFF</b> のときは、  が表示されます。



- レンズに手ブレ補正のスイッチ (OISスイッチ) がある場合、レンズ側の設定が優先されます。
- 手ブレ補正機能が動作すると、振動や動作音を感じる場合があります。

## ブレ防止モードブースト (V.4)

手ブレ補正の強さを設定します。

設定	説明
ON	手持ちで構図を固定して撮影する場合に適しています。
OFF	手持ちで構図を変えながら撮影する場合に適しています。



ブレ防止モードブーストを割り当てたファンクションボタンを押すと、動画撮影中に設定を切り替えることができます (📖 269)。



## 📷 感度 (V.4)

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
H (25600)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。
200 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
AUTO	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。

## ゼブラ設定

動画モードの画面に、露出オーバーで白とびが発生しそうな高輝度部分を縞状のパターン（ゼブラ）で表示できます。

設定	説明
ゼブラ右	 右上がりのゼブラ表示になります。
ゼブラ左	 左上がりのゼブラ表示になります。
切	ゼブラ表示しません。

## ゼブラレベル

ゼブラ設定のゼブラレベル（輝度レベル）を設定します。

設定値										
50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100

## 動画専用操作モード (V.4)

ON にすると、コマンドダイヤルとタッチ操作で撮影時の設定を変更できます。動画撮影時、カメラの操作音を記録したくないときに便利です (32)。

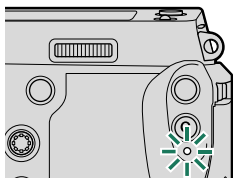
### 設定値

ON

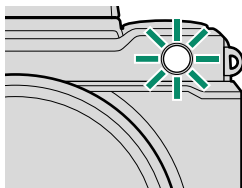
OFF

## タリーランプ

動画撮影中に点灯するランプの切り替え (インジケータランプまたは AF 補助光ランプ) や点灯または点滅の設定を変更できます。




インジケータランプ




AF 補助光ランプ

設定	説明
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケータランプが点灯します。
前面 OFF 背面	動画撮影中はインジケータランプが点滅します。
前面 背面	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点灯します。
前面 背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点灯します。
前面 背面	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプが点滅します。
前面 背面 OFF	動画撮影中は AF 補助光ランプが点滅します。
前面 OFF 背面 OFF	動画撮影中はインジケータランプと AF 補助光ランプは消灯します。


### **カスタム選択（V.4）**

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（ 128）。


### **カスタム登録 / 編集（V.4）**

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（ 129）。

### **カスタム登録内容の自動更新（V.4）**

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、静止画とは別に設定してください（ 133）。


### **ワイヤレス通信（V.4）**

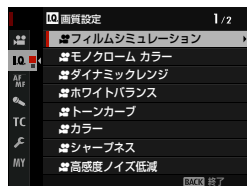
静止画と共通のメニューです（ 161）。

## 画質設定 (動画)

動画撮影時の画質に関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**IQ** (画質設定) タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### フィルム シミュレーション (V.4)

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 115)。




### モノクローム カラー (V.4)

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 117)。



## ダイナミックレンジ

撮影する動画のダイナミックレンジを変更できます。

設定	説明
 100%	それぞれの設定については「ダイナミックレンジ」( 119) を参照してください。
 200%	
 400%	



- 動画撮影時のダイナミックレンジには、**AUTO**（自動調整）はありません。
-  **200%**は ISO 感度が ISO 400 以上 ISO 12800 以下、 **400%**は ISO 800 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。
-  **動画設定 > F-Log/HLG/RAW 撮影**が     の場合に設定できます。

## ホワイトバランス (V.4)

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください ( 121)。

## トーンカーブ (V.4)

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください ( 125)。

## カラー

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください ( 125)。

## シャープネス

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 125)。


## 高感度ノイズ低減 (V.4)

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 126)。

## フレーム間ノイズリダクション

ON にすると、フレーム間のノイズを軽減します。

設定値	
ON	OFF


-  フレーム間ノイズリダクションは、**4K** または **DCI** で、フレームレートを **29.97P** 以下に設定しているときのみ有効です。
- カメラを動かした場合や動いている被写体を撮影した場合は、残像が出る場合があります。

## 周辺光量補正

**ON** にすると、動画の周辺光量を補正します。

設定値	
ON	OFF



- 別売のマウントアダプターを使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着した場合、**ON** にすると、撮影メニューの **画質設定 > マウントアダプター設定 > 周辺光量補正**（ 136）で設定した内容で、動画の周辺光量を補正します。
- 撮影した動画に縞模様が発生する場合は **OFF** にしてください。


## マウントアダプター設定（V.4）

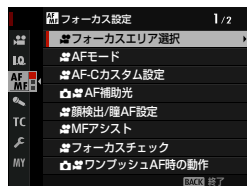
静止画と共通のメニューです（ 134）。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## フォーカス設定（動画）

動画撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**AF**（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



### フォーカスエリア選択

フォーカスモードが **S** または **C** のときのピントを合わせるエリアの位置を変更できます。フォーカスモードが **M** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます（[p.85](#)）。

### AFモード（V.4）

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
オートエリア	ピントを合わせるエリアをカメラが自動的に選びます。
エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

## AF-C カスタム設定

動画撮影時にフォーカスモードを **C** に設定したときのピントの追従性を設定します。

### 被写体保持特性

AF エリアに距離差のある被写体以外のもが入ってきた場合、それまで追っていた被写体を保持するかどうかを決める特性です。被写体保持特性については、「AF-C カスタム設定」の「各設定の特性について」の「被写体保持特性」(P.139)を参照してください。

設定値				
0	1	2	3	4

- 数値が大きいくほど、意図しない被写体にピントが合ってしまうと、ピントを合わせたい被写体になかなか切り替わらない場合があります。
- 数値が小さいほど、AF エリアに入ってきた意図しない被写体に切り替わる場合があります。

### AF 速度

AF でピントを合わせる速度を調整します。速度を速くしたいときは「+」側に、遅くしたいときは「-」側に設定します。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5



## AF 補助光 (V.4)

静止画と共通のメニューです (P.142)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## 顔検出 / 瞳 AF 設定

動画撮影時の顔検出の設定ができます。

設定	説明
顔検出 ON	設定については「顔検出 / 瞳 AF 設定」(P.143) を参照してください。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

 動画撮影時はフォーカスモード切換レバーを **S** にしても、 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定が顔検出 ON のときは、自動的に **C** (コンティニュアス AF) になります。また、フォーカスモードが **M** のときは、顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON にしても顔検出は行われません。

## MF アシスト

マニュアルフォーカス時 (フォーカスモードが **M** のとき) のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です (フォーカスピーキング機能を使用しません)。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

## フォーカスチェック

静止画撮影メニューと同じ機能ですが、動画撮影用に設定してください (📖 146)。

## ワンプッシュ AF 時の動作 (V.4)

静止画と共通のメニューです (📖 147)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## 被写界深度スケール (V.4)




静止画と共通のメニューです (📖 148)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## フォーカスリミッター (V.4)

静止画と共通のメニューです (📖 149)。設定を変更すると静止画撮影メニューの設定も同時に変更されます。

## 📷 👤 タッチパネルモード (V.4)

液晶モニター (LCD) のタッチ操作で、ピント合わせやフォーカスエリア選択ができるように設定できます。

タッチパネルモード	意味
 AF	<p>ピントを合わせたいところの画面をタッチして、ピント合わせを行います。<b>シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。</li><li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。</li><li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、動画スタンバイ中はタッチした場所でワンプッシュ AF の動作を行い、動画撮影中はタッチした場所にフォーカスエリアを移動します。</li></ul>
 エリア選択	<p>フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。<b>シャッターボタンを全押しすると動画撮影を開始し、もう一度全押しすると動画撮影を終了します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>フォーカスモードが <b>S</b> (AF-S) のときは、動画撮影中にもう一度画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。ピント合わせをする場合は、<b>AF-ON</b> を割り当てたボタンを押してください。</li><li>フォーカスモードが <b>C</b> (AF-C) のときは、動画撮影中、タッチした場所にピントを合わせ続けます。</li><li>フォーカスモードが <b>M</b> (MF) のときは、タッチした場所にフォーカスエリアを移動させません。</li></ul>
 OFF	<p>タッチ操作を行いません。</p>





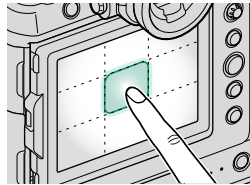
- **操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定** が **OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- 静止画撮影メニューにある同じ機能の設定も同時に変更されます (p.150)。

### ピント位置拡大中のタッチパネルの動作

ピント位置拡大中 (フォーカスチェックがオンのとき) は、タッチパネルの動作が異なります。

#### ■ 画面の中央をタッチしたときの動作

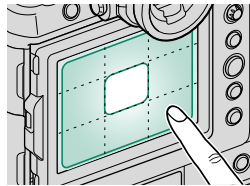
画面の中央をタッチしたときは、以下のように動作します。



タッチパネルモード	動作
AF	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
エリア選択	AF-S : AF
	MF : ワンプッシュ AF
OFF	AF-S/MF : OFF

#### ■ 画面の中央以外の場所をタッチしたときの動作

タッチパネルモードや静止画 / 動画撮影の状態に関わらず、シングルタッチすると常に拡大表示する位置が移動するだけで、他の動作は行いません。



## フォーカスチェックロック (V.4)

拡大表示中に動画撮影を開始したときに、拡大表示を維持したまま撮影するかどうかを設定できます。

設定値

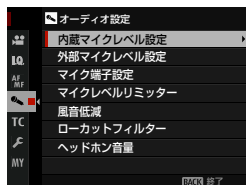
ON

OFF

## オーディオ設定 (動画)

動画撮影時の音声に関する設定を変更できます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
🔊 (オーディオ設定) タブを選びます。



### 内蔵マイクレベル設定 (V.4)

内蔵マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	フォーカスレバーを右に動かすと、マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

### 外部マイクレベル設定 (V.4)

外部マイクの音量を調節できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にマイクレベルを調節します。
マニュアル	フォーカスレバーを右に動かすと、マイクレベルを 25 段階から設定できます。
OFF	マイクレベルをオフにします。

## マイク端子設定 (V.4)

マイク入力端子に取り付ける機器を設定します。

設定	説明
マイク	外部マイクを直接取り付けるときに選びます。
ライン	ライン出力する外部音声機器を取り付けるときに選びます。

## マイクレベルリミッター (V.4)

マイクへの音声信号の過大入力による音割れを抑制します。

設定値	
ON	OFF

## 風音低減 (V.4)

動画撮影時に風音によるノイズを低減して録音します。

設定値	
ON	OFF

## ローカットフィルター (V.4)

動画撮影時に低域ノイズをカットして録音します。

設定値	
ON	OFF

## ヘッドホン音量 (V.4)

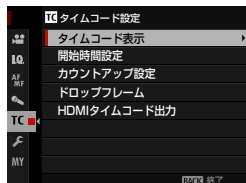
ヘッドホンの音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を1 ~ 10に設定します。

## タイムコード設定（動画）

動画撮影時の時間を表すタイムコード（時間 / 分 / 秒 / フレーム）  
についての設定ができます。

動画撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、  
**TC**（タイムコード設定）タブを選びます。



### タイムコード表示（V.4）

**ON** にすると、動画撮影画面や再生画面にタイムコードを表示します。

設定値	
ON	OFF

### 開始時間設定（V.4）

タイムコード値を調整できます。

設定	説明
手動設定	フォーカスレバーを右に動かすと、タイムコードの開始時間を手動で設定できます。
現在時刻	現在のカメラの時間 / 分 / 秒がタイムコードの開始時間になります。
リセット	00 時間 00 分 00 秒にタイムコードをリセットします。

### カウントアップ設定（V.4）

タイムコードのカウントを動画撮影中のみ行うか、常時カウントを行うか  
を選べます。

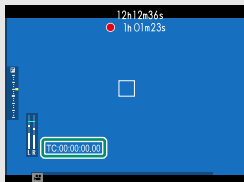
設定	説明
レックラン	動画撮影中のみ、タイムコードのカウントを行います。
フリーラン	常時タイムコードのカウントを行います。

## ドロップフレーム (V.4)

動画のフレームレートが **59.94P** と **29.97P** の場合に、タイムコードのカウンと実際の映像時間に生じた小数点以下の部分の差のズレを補正するためにタイムコードを間引く（ドロップフレームを行う）かどうかを設定できます。

設定	説明
ON	ドロップフレームを行います。タイムコードと映像時間を厳密に合わせたいときに選びます。
OFF	ドロップフレームを行いません。

- ドロップフレームの設定により、タイムコードの表示が異なります。



TC:00:00:00:00

ON

TC:00:00:00:00

OFF

- 動画のフレームレートが **23.98P** の場合、ドロップフレームは常に **OFF** になります。

## HDMI タイムコード出力 (V.4)

動画を HDMI で出力するときに、タイムコードを付加するかどうかを選びます。

設定値

ON

OFF

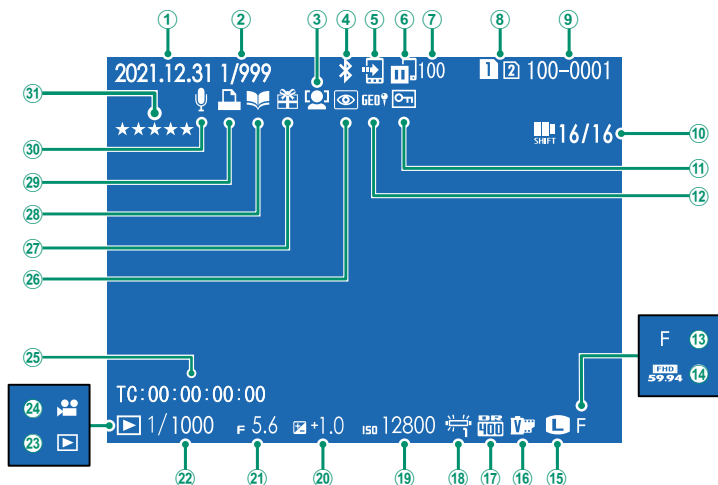
# 画像の再生と再生メニュー

# 7

## 再生時の表示画面

再生時は、画面（EVF/LCD）に次の情報が表示されます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

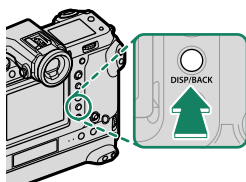


① 日付・時刻.....	51、53、219	⑪ ダイナミックレンジ .....	119
② コマ数表示		⑫ ホワイトバランス .....	121
③ 顔検出.....	143	⑬ ISO感度.....	93
④ Bluetooth ON/OFF .....	253	⑭ 露出補正.....	96
⑤ 画像転送予約.....	210	⑮ 絞り値.....	71、74、76
⑥ 画像転送状況.....	253、298	⑯ シャッタースピード.....	71、72、76
⑦ 画像転送予約枚数.....	210	⑰ 再生モード.....	59
⑧ カードスロット.....	197	⑱ 動画アイコン.....	66
⑨ コマNO.....	249	⑲ タイムコード.....	189
⑩ ピクセルシフトマルチショット.....	109	⑳ 赤目補正.....	162、206
⑪ プロテクト.....	204	㉑ プレゼント.....	59
⑫ 位置情報.....	258、298	㉒ フォトブックアシスト.....	212
⑬ 画質モード.....	113	㉓ プリント予約.....	214
⑭ 動画モード.....	165	㉔ ボイスメモ.....	207
⑮ 画像サイズ.....	112	㉕ レーティング.....	208
⑯ フィルム シミュレーション.....	115		



## 情報表示の切り替え

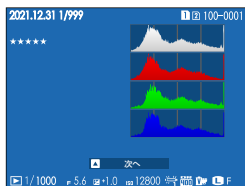
再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



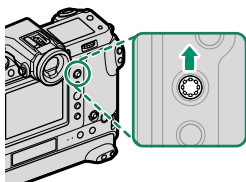
情報表示なし



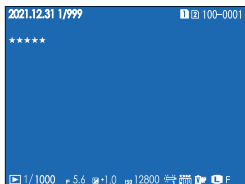
INFO 画面

## 撮影時の情報確認

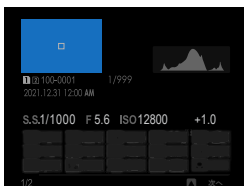
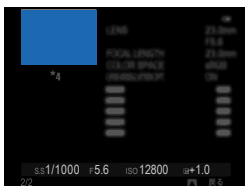
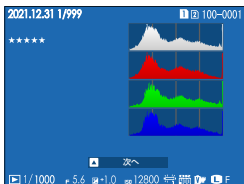
1 コマ再生時にフォーカスレバーを上動かすと撮影時の情報を確認できます。



1 コマ再生



INFO 画面 1

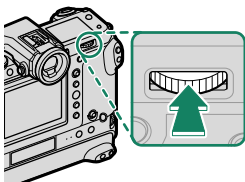


INFO 画面 3

INFO 画面 2

## ピントの位置を拡大表示する

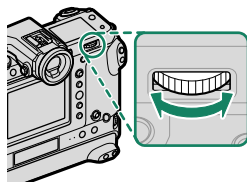
リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度リアコマンドダイヤルの中央を押すと、1 コマ再生に戻ります。



## 再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



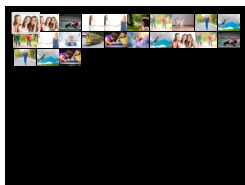
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



DISP/BACK  
MENU/OK

拡大再生 1



拡大再生 2



## 再生ズーム

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押すか、リアコマンドダイヤルの中央を押します。

- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ**によって変わります。
- 再生メニュー > リサイズ**または**トリミング**の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

### ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

## マルチ再生

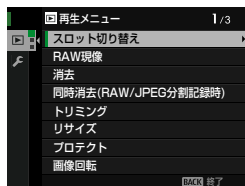
1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

- フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

## 再生メニュー


画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



## スロット切り替え

画像を再生するメモリーカードを選びます。

 ボタンを長押ししても、再生するメモリーカードを切り替えることができます。

## RAW 現像 (V.4)

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて別ファイルで保存（現像）できます。

### 現像手順

1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。

2 再生メニュー > RAW 現像を選びます。

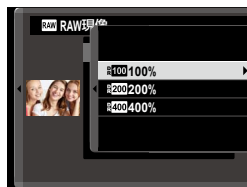
3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。

5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



6 フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。


7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。



8 Q ボタンを押します。

保存する画像のプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押して、別ファイルとして保存します。

 RAW 画像の再生時に Q ボタンを押しても、RAW 現像を表示できます。

## RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
ファイル形式	保存する画像ファイルの形式を変更できます。
画像サイズ	記録する画像の大きさを変更できます。
画質モード	記録する画像の圧縮率を変更できます。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たまにに近い写真を撮影できます。
Dレンジ優先	明暗差の大きいシーンで、白とびと黒つぶれの両方を抑えるよう階調を補正して自然な印象の画像を撮影します。
フィルム シミュレーション	色調を変更できます。
モノクローム カラー	フィルムシミュレーションの  ACROS や  モノクロで撮影したモノクロ画像の色調を調整できます。
グレイン・エフェクト	画像にザラっとした粒状の質感を与えます。
カラークローム・エフェクト	赤や緑、黄色などの飽和しがちな彩度の高い色情報を階調豊かに表現します。
カラークローム ブルー	青系の色情報を階調豊かに表現します。
スムーズスキン・エフェクト	人物の肌をなめらかに補正します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
トーンカーブ	画像のハイライト部やシャドウ部の強弱を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
高感度ノイズ低減	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
明瞭度	画像をはっきりとさせます。
点像復元処理	回折現象やレンズ周辺部のわずかなボケを補正し、解像感を向上させます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。



撮影時の設定によって設定できない項目があります。

## 消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。


**!** 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

### 1 コマ消去

**1** 消去メニューから**1コマ**を選びます。



**2** 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。




## 複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
  - 選択された画像は  が表示されます。
  - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。  
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。



 プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、 が表示されます。

## 全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
- 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。

 **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。  
● プリント予約を設定している画像を消去しようとする、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。


## 同時消去 (RAW/JPEG 分割記録時)


 保存設定 >  カードスロット設定を RAW/JPEG 分割記録にして 2 枚のカードに記録した RAW 画像と JPEG 画像を同時に消去するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	RAW 画像を消去すると、別のカードに同時記録した JPEG 画像も消去されます。
OFF	RAW 画像を消去しても、別のカードに同時記録した JPEG 画像は消去されません。

## トリミング


撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。


- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > トリミングを選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。

-  拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、実行が黄色で表示されます。
- トリミングした画像の縦横比は、4:3 になります。

## リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

# プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。


1 再生メニュー>プロテクトを選びます。


2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選べます。</li></ul>
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。





4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。

- 
- 画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。
  - 再生画面で **AF-ON** ボタンを押してもプロテクトを設定したり解除したりすることができます。

## 画像回転


撮影した画像を回転して再生できます。

- 1  **表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にします。**
  - 2 再生画面で回転したい画像を選びます。
  - 3  **再生メニュー > 画像回転を選びます。**
  - 4 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
  - 5 **MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。**
-  プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
  - 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
  -  **表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。**

## 赤目補正


人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

**1** 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

**2**  再生メニュー > 赤目補正を選びます。

**3** MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。



- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの（ が表示されている）画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

## ボイスメモ設定

静止画に音声記録できます。

1 再生メニュー > ボイスメモ設定を ON にします。

2 再生画面でボイスメモを記録したい画像を選びます。

3 フロントコマンドダイヤルの中央を押している間、ボイスメモが記録されます。

30 秒経過すると、記録は終了します。



- すでにボイスメモが記録されている画像に再度記録すると、上書き記録されます。
- プロテクトされている画像にボイスメモは記録できません。
- 画像を消去すると、記録されているボイスメモも消去されます。


### ボイスメモの再生について

再生時にボイスメモが記録されている画像を選択すると、🔊が表示されます。

- フロントコマンドダイヤルの中央を押すと、ボイスメモを再生できます。
- ボイスメモ再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。
- 再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。

## レーティング

撮影した画像に星の数でランクを付けることができます。

1  再生メニュー > レーティングを選びます。

2 フロントコマンドダイヤルでランク付けをしたい画像を選び、リアコマンドダイヤルで★の数（0～5）を設定します。



- フロントコマンドダイヤルの代わりにフォーカスレバーで画像を選ぶこともできます。
- 1コマ再生画面や9コマ再生画面、マルチサムネイル画面のときに **AE-L** ボタンを押して、レーティングの画面に切り替えることもできます。
- タッチパネルで画像の拡大や縮小ができます。
- 以下の画像はレーティングを設定できません。
  - プロテクトされている画像
  - 動画
  - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）



## 画像コピー

カメラのメモリーカードスロット 1 (以下、スロット 1) に装着したメモリーカードとメモリーカードスロット 2 (以下、スロット 2) に装着したメモリーカードとの間で、画像をコピーできます。

**1** 再生メニュー > 画像コピーを選びます。

**2** コピーの方法を選びます。

設定	説明
スロット 1 → スロット 2	スロット 1 のメモリーカードの画像をスロット 2 のメモリーカードにコピーします。
スロット 2 → スロット 1	スロット 2 のメモリーカードの画像をスロット 1 のメモリーカードにコピーします。

**3** フォーカスレバーを右に動かします。

**4** コピーするコマ数を選びます。


設定	説明
1 コマ	表示中の画像をコピーします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>手順 5 のあとにフォーカスレバーを左右に動かして、続けてコピーする画像を選べます。</li> </ul>
全コマ	すべての画像をコピーします。

**5** MENU/OK ボタンを押して、コピーを開始します。

- !**
- コピー先の空き容量がなくなると、その時点でコピーを終了します。
  - 32GB 以下の SD メモリーカード (32GB を含む) の場合、ファイルサイズが 4GB を超えたファイルはコピーされず、コピーを終了します。

## 画像転送予約

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送する画像を予約できます。

1  再生メニュー > 画像転送予約 > コマ選択を選びます。

2 転送予約する画像を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、画像を転送予約します。



手順 2 と 3 を繰り返して、転送したい画像をすべて予約します。


4 DISP/BACK ボタンを押して、画像の転送予約を終了します。

再生画面に戻ります。



接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF が ON で、撮影後自動画像転送が ON のときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、画像転送予約した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
  - プロテクトされている画像
  - 動画
  - RAW 画像
  - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
- 接続設定 > 共通設定 >  ボタン設定をペアリング / 転送予約に設定しておく、 ボタンを押しても転送予約できます。
- 画像転送予約 > 予約リセットを選ぶと、すべての転送予約を解除できます。
- 接続設定 > Bluetooth 設定 > 撮影後自動画像転送を ON にして、撮影した画像を自動的に転送予約することもできます。




## ワイヤレス通信 (V.4)

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



- 「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。  
[http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera\\_remote/](http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/)
-  接続設定 > 共通設定 >  ボタン設定をワイヤレス通信に設定しておく  
と、 ボタンを押してスマートフォンと通信できます。

## フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

### フォトブックを作成する

1 再生メニュー>フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上にかすと表示されている画像を選択または選択解除し、下に動かすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と1枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は300枚までです。
- 画像が1枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

#### 作成したフォトブックについて

カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/photoprinting/print>

## 作成したフォトブックを見る

---

作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

## 作成したフォトブックを編集 / 削除する

---

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。

---

- 2 編集または削除を選びます。
  - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
  - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。

---


- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

## プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておく、フジカラーデジタルカメラプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。


1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

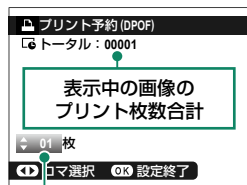
2 日付の有無を設定します。

設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。


3 プリント予約する画像を選びます。

4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。



 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



プリント枚数

 手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

-  DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

## instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめ **接続設定** > **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

**1** プリンターの電源を入れます。

**2** 再生メニュー > **instax プリンタープリント** を選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



**3** プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

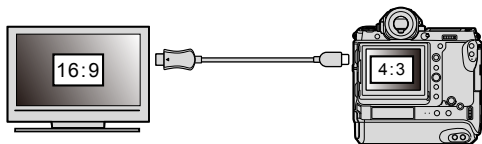


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

**4** 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

## 表示比率

4:3 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



		設定	
		16:9	4:3
イメージ			



**16:9** で撮影された画像は **16:9** に設定してください。**4:3** で撮影された画像を再生すると、左右に黒い枠が表示されます。




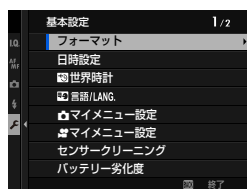
# セットアップメニュー

# 8

## セットアップメニュー（基本設定）


カメラの基本的な設定を変更できます。

**MENU/OK** ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。



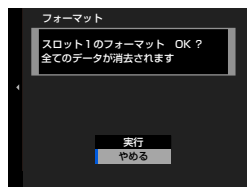
### フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット**を選びます。


2 フォーマットしたいメモリーカードが入っているスロット（スロット1/スロット2）を選びます。



3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



4 実行を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。

 確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。

-  プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリートレイを取り出さないでください。

 （消去）ボタンを長押し中にリアコマンドダイヤルの中央を押してもフォーマット画面を表示できます。

## 日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。
- 3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

## 世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
<b>ホーム</b>	現在設定されている日時を表示します。
<b>現地</b>	旅行先の日時を表示します。

### 現地時間の設定方法

- 1 **現地** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 フォーカスレバーの左右で設定する項目（+/-、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。

**現地** を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に と日時が約 3 秒間黄色で表示されます。

## 言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

## マイメニュー設定 (V.4)

静止画撮影時によく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます (📖 261)。



## マイメニュー設定 (V.4)

動画撮影時によく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます (📖 261)。

## センサークリーニング

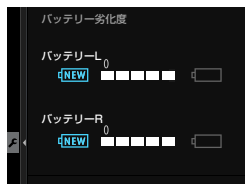
センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。


設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、プロワーでセンサーをクリーニングしてください（ 335）。

## バッテリー劣化度

バッテリーの劣化状態をチェックできます。バッテリーの劣化状態を0～4の目盛りの位置で表示します。数値が大きいくほどバッテリーの劣化が進んでいることを示します。



 バッテリーが劣化すると、バッテリーの消耗が早くなります。新しいバッテリーをお買い求めいただくことをおすすめします。

## リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。

1 リセットするメニューを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

設定	説明
静止画メニュー リセット	静止画撮影メニューの <b>カスタム登録 / 編集</b> の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
動画メニュー リセット	動画撮影メニューの <b>カスタム登録 / 編集</b> の内容、ホワイトバランスのカスタムの内容以外がリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの <b>日時設定、世界時計、著作権情報、接続設定</b> の接続に関する設定以外がリセットされます。


2 確認画面で**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

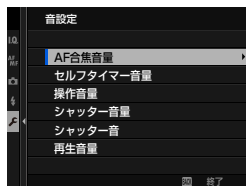
## 認証

セットアップメニューの **基本設定 > 認証** を選ぶと、製品型番などの認証情報が電子形式で表示されます。

## セットアップメニュー（音設定）





カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。







### AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





### セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





## 操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。




## シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

## シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
 1サウンド1	シャッター音1に設定します。
 2サウンド2	シャッター音2に設定します。
 3サウンド3	シャッター音3に設定します。

## 再生音量


動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1～10	音量を1～10に設定します。



## セットアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。



### EVF 明るさ

EVF（ファインダー）の明るさを調整できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的に適切な明るさを調整します。
マニュアル	-7 ~ +5 の明るさを手動で調整します。

### EVF 鮮やかさ

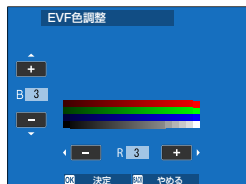
EVF（ファインダー）の鮮やかさを調整できます。

設定値										
-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5

### EVF 色調整

EVF（ファインダー）の色調を調整できます。

1 フォーカスレバーで色調を調整します。



2 MENU/OK ボタンで決定します。

## LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

### 設定値

-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----

## LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

### 設定値

-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
----	----	----	----	----	---	----	----	----	----	----

## LCD 色調整

LCD（液晶モニター）の色調を調整できます。

**1** フォーカスレバーで色調を調整します。

**2** MENU/OK ボタンで決定します。

## 撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または <b>MENU/OK</b> ボタンを押すまで表示します。リアコマンドダイヤルの中央を押すと、ピント位置が拡大表示され、もう一度押すと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 <b>OFF</b> になります。
OFF	表示しません。



- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

## 縦横自動回転表示

**ON** にすると、撮影時にカメラが縦向きの場合、ファインダー（EVF）または液晶モニター（LCD）の表示が縦向きになります。

設定値	
ON	OFF

## マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル (M) 撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は <b>OFF</b> にしてください。

## ナチュラルライブビュー

撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピアでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。


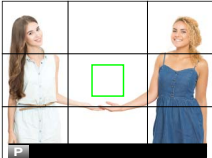

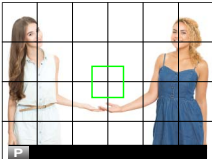

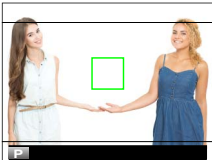
## F-Log ビューアシスト (V.4)


ON にすると、F-Log 撮影時や F-Log 撮影した動画の再生時に、階調補正を適用した映像（BT.709 相当）を画面に表示します。

設定値	
ON	OFF

## フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます（9 コマ）。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます（24 コマ）。	
 HD フレーミング	画面が 16:9 になるようなガイド線が表示され、HD 画像の構図が決めやすくなります。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください（[P.22](#)）。

## 縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

### 設定値

ON

OFF

## 再生時拡大倍率 (V.4)

再生時にリアコマンドダイヤルの中央を押して画像を拡大するときの拡大倍率を変更できます。

設定	説明
2倍 (中央から)	撮影した画像の中央をそれぞれ設定した倍率で拡大表示します。
4倍 (中央から)	画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。
8倍 (中央から)	
等倍 (合焦点から)	フォーカスエリア枠を中心にピクセル等倍で表示します。撮影した画像サイズにより、拡大倍率は変わります。
前回の倍率 (中央から)	前回到画像を再生したときの拡大倍率で、画像の中央を拡大表示します。画像の等倍よりも倍率が大きくなる場合は、自動的に等倍表示になります。

## 距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。

## 2 画面モード表示設定

情報表示切り替えの「2画面」の表示設定を変更できます。

設定	説明
R: フォーカス L: フレーム	R（右）側の子画面（小さい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）に撮影画面全体を表示します。
R: フレーム L: フォーカス	R（右）側の子画面（小さい画面）に撮影画面全体を表示し、L（左）側の親画面（大きい画面）にピントを合わせた位置を拡大表示します。

## 画面のカスタマイズ

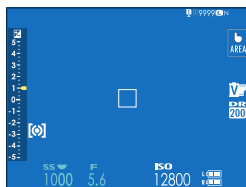
撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます（ 22）。

## 情報表示拡大モード (EVF)

ON にすると、EVF 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

❗ 情報表示拡大モード (EVF) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (図 15)。

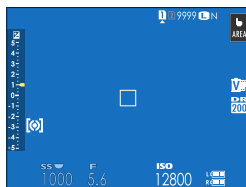
📄 ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます (図 269)。

## 情報表示拡大モード (LCD)

ON にすると、LCD 画面に表示する撮影時の情報を拡大して表示できます。拡大表示する情報は **表示設定 > 情報表示拡大 表示設定** で変更できます。



OFF



ON

❗ 情報表示拡大モード (LCD) を ON にすると、一部のアイコンが非表示になります (図 17)。

📄 ファンクションボタンに情報表示拡大モードを割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで情報表示拡大モードの ON/OFF を切り替えられます (図 269)。



## 情報表示拡大 表示設定

**表示設定 > 情報表示拡大モード (EVF)、情報表示拡大モード (LCD) を ON にしたときに拡大表示する項目を変更できます。**



サブメニュー	説明
① 露出表示	画面の下部に表示する項目を選びます。画面に表示する項目には、 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されます。 <input checked="" type="checkbox"/> が表示されている状態で <b>MENU/OK</b> ボタンを押すと、選択が解除されます。
② <input checked="" type="checkbox"/> ゲージ	<b>ON</b> にすると、露出補正ゲージが拡大表示されます。
③ L1、L2、L3、L4	画面の左側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。
④ R1、R2、R3、R4	画面の右側に拡大表示するアイコンを最大4つまで選択できます。

## 情報表示コントラスト調整


表示画面のコントラストを調整できます。

設定	説明
高コントラスト	コントラストを高め（明暗差を大きく）設定します。
通常	通常表示です。
低コントラスト	コントラストを低め（明暗差を小さく）設定します。
暗所	暗い環境で使用するときに適したコントラストに設定します。

## サブ液晶モニター設定


サブ液晶モニターに表示する画面を設定します。設定は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。設定できる画面は次のとおりです。

設定	説明
情報表示	カメラの設定を表示します。表示する項目は変更できます。
ダイヤル	ISO感度とシャッタースピードをダイヤルのイラストで表示します。
ヒストグラム	ヒストグラムを表示します。

 サブ液晶モニター切替ボタンを押すことで、それぞれの画面を切り替えることができます。

### 情報表示に表示する項目を変更する

情報表示に表示する項目は次のように変更できます。

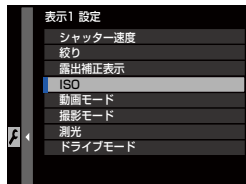
- 1 セットアップメニューから  表示設定 > サブ液晶モニター設定を選びます。
- 2 静止画撮影時または動画撮影時を選び、MENU/OK ボタンを押します。
- 3 情報表示を選び、MENU/OK ボタンを押します。



- 4 表示を変更する場所を選び、MENU/OK ボタンを押します。



## 5 表示する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。



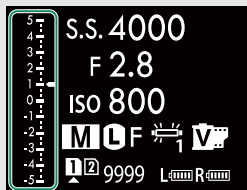
割り当て可能な項目は次のとおりです。

- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正表示
- ISO
- 動画モード
- 撮影モード
- 測光
- ドライブモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 画像サイズ & 画質モード
- シャッター方式
- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 35mm フォーマットモード
- ブーストモード
- プレ防止
- セルフタイマー
- なし

## 6 手順 4 と手順 5 を繰り返して、表示項目を設定します。





ゲージの場所はゲージのオンまたはオフのみ選べます。



ゲージ

## リアサブモニター設定

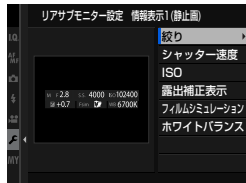
リアサブモニターに表示する項目を設定します。設定は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。設定できる項目は次のとおりです。

設定	説明
情報表示 1	情報表示 1 または情報表示 2 にあらかじめ設定した項目を表示します。
情報表示 2	
 5 4 3 2 1 0 -1 -2 -3 -4 -5	露出補正ゲージを表示します。
<input checked="" type="checkbox"/> ゲージ	
	ヒストグラムを表示します。
ヒストグラム	
OFF	リアサブモニターをオフにします。

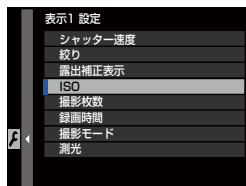
### 情報表示 1 と情報表示 2 に表示する項目を変更する

情報表示 1 または情報表示 2 に表示する項目は次のように変更できます。

- 1 セットアップメニューから **表示設定 > リアサブモニター設定** を選びます。
- 2 静止画撮影時または動画撮影時を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 情報表示 1 または情報表示 2 を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 表示を変更する場所を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



## 5 表示する項目を選び、MENU/OK ボタンを押します。



割り当て可能な項目は次のとおりです。


- シャッター速度
- 絞り
- 露出補正表示
- ISO
- 撮影枚数
- 録画時間
- 撮影モード
- 測光
- ドライブモード
- フォーカスモード
- ホワイトバランス
- 画像サイズ & 画質モード
- シャッター方式
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- 動画モード
- 画像転送予約
- 35mm フォーマットモード
- ファイル形式
- 動画圧縮方式
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
- 明瞭度
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム・ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- プーストモード
- プレ防止
- フラッシュ
- セルフタイマー
- バッテリー残量表示
- 表示なし

## 6 手順4と手順5を繰り返して、表示項目を設定します。

## サブ液晶モニター背景色

周囲の明るさや暗さに応じてサブ液晶モニターの背景色を変えることで、サブ液晶モニターを見やすくできます。

設定	説明
黒	暗い場所で撮影するときに選びます。
白	明るい場所で撮影するときに選びます。

 サブ液晶モニターの照明が点灯している間は、常に白背景の表示になります。

## リアサブモニター明るさ

リアサブモニターの明るさを調整できます。

設定値										
+5	+4	+3	+2	+1	0	-1	-2	-3	-4	-5

## クイックメニュー背景設定 (V.4)

静止画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

設定値	
透明	黒

## クイックメニュー背景設定 (V.4)


動画撮影時のクイックメニューの背景を設定できます。

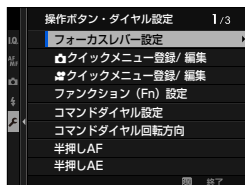
設定値	
透明	黒

# セットアップメニュー

## (操作ボタン・ダイヤル設定)


カメラの操作ボタンや操作ダイヤルに関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、 (セットアップ) タブを選び、**操作ボタン・ダイヤル設定**を選びます。



### フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF (ロック)	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
 ボタンで ON	フォーカスレバーの中央を押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。

### クイックメニュー登録 / 編集 (V.4)

静止画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (📖 263)。

### クイックメニュー登録 / 編集 (V.4)


動画撮影時にクイックメニューに表示するメニューを変更できます (📖 264)。

## ファンクション (Fn) 設定 (V.4)


ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます (図 269)。

## コマンドダイヤル設定 (V.4)

フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルの機能を設定できます。

設定	説明
フロントコマンドダイヤル 1	フロントコマンドダイヤル 1 にシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト)) または絞り値 (絞り)* を割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 2	フロントコマンドダイヤル 2 とフロントコマンドダイヤル 3 に、シャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り)*、ISO 感度 (ISO)、またはなしを割り当てます。
フロントコマンドダイヤル 3	
リアコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル回転時の機能をシャッタースピード (S.S.(プログラムシフト))、絞り値 (絞り)*、ISO 感度 (ISO)、またはなしに割り当てます。
露出補正割り当て	 (露出補正) ボタンを押したときに、フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルのどちらか、または両方で露出補正をするかを選びます。

\* 撮影モードが **A** (絞り優先) か **M** (マニュアル) で、絞りリングを **A** ポジションまたは **C** ポジションに設定しているとき

-  コマンドダイヤル設定は、フロントコマンドダイヤルの中央を長押ししても設定できます。
- フロントコマンドダイヤルの中央を押すたびに、フロントコマンドダイヤル 1、フロントコマンドダイヤル 2、フロントコマンドダイヤル 3 の順に切り替えます。
- 縦位置コマンドダイヤルの設定も同時に変更されます。



## コマンドダイヤル回転方向（V.4）

コマンドダイヤルで数値を変更するときの、ダイヤルを回す向きを変更できます。フロントコマンドダイヤルとリアコマンドダイヤルでそれぞれ設定できます。

設定	説明
- - - - - +	コマンドダイヤルを右に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。
+ - - - - -	コマンドダイヤルを左に回すと数値が増えたり、項目が次に進んだりします。

## 半押し AF


ON にすると、シャッターボタン半押し時にオートフォーカスでピントを合わせます。

サブメニュー	説明
AF-S	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ON</b>：シャッターボタンを半押しすると、オートフォーカスでピントを合わせ、ピントを固定します。</li> <li>● <b>OFF</b>：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。</li> </ul>
AF-C	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>ON</b>：シャッターボタンを半押ししている間、オートフォーカスでピントを合わせ続けます。</li> <li>● <b>OFF</b>：シャッターボタンを半押ししてもフォーカスに関する動作は行いません。</li> </ul>

## 半押し AE

ON にすると、シャッターボタン半押し時にAEロック（露出を固定）します。フォーカスモードが **S** (AF-S) または **M** (マニュアルフォーカス) のときと、**C** (AF-C) のときでそれぞれ個別に設定できます。

設定値	
ON	OFF

 連写時に露出を追従させたいときは、**OFF** にしてください。

## レンズなしリリース

ONにすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

### 設定値

ON

OFF

## カードなしリリース

メモリーカードが未挿入時の動作を設定できます。

設定	説明
ON	メモリーカードが未挿入のときもシャッターがきれ、動作を確認できます。撮影メニューやセットアップメニューも表示できます。
OFF	メモリーカードが未挿入のときはシャッターがきれません。メモリーカードの入れ忘れ防止などに便利です。

## フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードが **M** のとき）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
🕒 時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 時計回りに設定します。
🕒 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を 🕒 反時計回りに設定します。

## フォーカスリング操作

フォーカスリングの操作に応じたピント移動について設定できます。

設定	説明
ノンリニア	リング操作の回転速度に応じて、移動量可変でピントを移動します。
リニア	回転速度に応じず、回転量に対してリニアにピント移動します。

## AE/AF-LOCK 設定

AE ロックまたは AF ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
AE/AF-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、固定されます。
押下切替	ボタンを押すと固定され、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

## AWB-LOCK 設定

AWB（オートホワイトバランス）ロックを割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。AWB ロックを使用すると、ホワイトバランス設定が **AUTO** のときにホワイトバランスを固定できます。

設定	説明
AWB-LOCK 押下中のみ	ボタンを押している間、AWB ロックします。
押下切替	ボタンを押すと AWB ロックされ、もう 1 度ボタンを押すと解除されます。

## 露出補正ボタン設定

露出補正を割り当てたファンクションボタンを押したときの機能を変更できます。

設定	説明
<input checked="" type="checkbox"/> 押下中のみ (P)	ボタンを押している間、リアコマンドダイヤルで露出を補正できます。
<input checked="" type="checkbox"/> 押下切替 (S)	ボタンを押してからリアコマンドダイヤルで露出を補正し、もう 1 度ボタンを押して露出補正を終了します。

## タッチパネル設定

液晶モニター（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

### 📷 タッチパネル設定

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

### 📷 ダブルタップ拡大

設定	説明
ON	撮影時に液晶モニター（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。
OFF	タッチによる画像拡大はしません。

### 📺 タッチファンクション

設定	説明
ON	タッチファンクションを使用します。
OFF	タッチファンクションを使用しません。

### 📺 タッチパネル設定

設定	説明
ON	再生時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用します。
OFF	タッチパネルとして使用しません。

## EVF タッチパネル有効範囲


EVF 使用時に液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。タッチパネルの有効範囲は次の中から選びます。

設定	説明
<input type="checkbox"/>	全面で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	右下 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左半分で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左上 1/4 側で動作
<input checked="" type="checkbox"/>	左下 1/4 側で動作
OFF	タッチパネルとして使用しません。

## ロック (V.4)

カメラのボタンや機能をロックして誤操作を防止できます。機能別にロックするボタンや機能を選ぶこともできます。

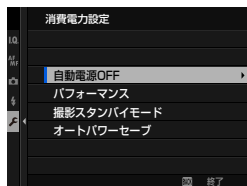
サブメニュー	内容
ロック指定	<ul style="list-style-type: none"> <li>解除：ロック指定を解除します。</li> <li>全てロック：機能別ロック設定で選択できるすべてのボタンや機能を一括でロックします。</li> <li>機能別ロック：機能別ロック設定で選んだボタンや機能をロックします。</li> </ul>
機能別ロック設定	ロック指定で機能別ロックを選んだときにロックするボタンや機能を選びます。

 撮影画面で MENU/OK ボタンを長押しすると機能別ロックができます。もう一度長押しするとロックを解除します。

## ■ セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**消費電力設定**を選びます。




### 自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
1分	
30秒	
15秒	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

## パフォーマンス (V.4)

ブーストを選ぶと、カメラの AF 性能や EVF 表示の性能がアップします。

設定	説明
ブースト	<p>カメラの AF 性能や EVF 表示の性能がアップします。バッテリーの持続時間は <b>ノーマル</b> よりも短くなります。</p> <p>次の中から優先する項目を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>AF 優先 - 通常</b>: オートフォーカスの動作速度を速くします。</li> <li>• <b>AF 優先 - 低照度</b>: オートフォーカスの動作速度を速くし、さらに EVF や LCD の明るさを調整して暗所での被写体を見やすく表示します。映像にブレが生じると、残像が発生する場合があります。</li> <li>• <b>EVF 表示解像度優先</b>: ファインダー表示の解像度を高くなります。</li> <li>• <b>EVF 表示フレームレート優先</b>: ファインダー表示のフレームレートを高くして、動きをなめらかにします。</li> </ul> <p> 液晶モニター表示の場合は、<b>AF 優先 - 通常</b> で動作します。</p>
ノーマル	<p>カメラの AF 性能や EVF 表示の性能、バッテリーの持続時間を標準の性能にします。</p>

## 撮影スタンバイモード

撮影スタンバイモードになるまでの時間を設定できます。

設定	説明
5分	
2分	設定した時間カメラを操作しないと、カメラ機能が休止し省電力モードになります。撮影スタンバイモードから復帰する場合は
1分	<b>MENU/OK</b> ボタンなどを押してください。
30秒	
15秒	
OFF	撮影スタンバイモードは使用しません。

## オートパワーセーブ

バッテリーを長持ちさせるモードに設定できます。

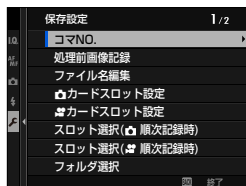
設定	説明
ON	一定時間何も操作しないしていると、フレームレートが低下して、自動的にバッテリーを長持ちさせるモードになります。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。
OFF	オートパワーセーブは使用しません。



## セットアップメニュー（保存設定）

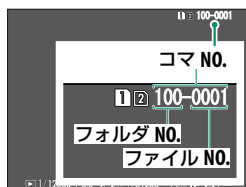
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**設定**（セットアップ）タブを選び、**保存設定**を選びます。



### コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。

- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、**コマ NO.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ NO. が「100-0001」から付けられます。**コマ NO.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。
- 基本設定 > リセット**を行っても**コマ NO.** はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

## 処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値	
ON	OFF

## ファイル名編集

ファイル名 (DSCF\*\*\*\*/\_DSF\*\*\*\*) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
Adobe RGB	_DSF****	_ABC****

## 📷 カードスロット設定 (V.4)

2 枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2 枚のメモリーカードに同時に保存します。
RAW/JPEG 分割記録	スロット 1 のメモリーカードには RAW 画像を、スロット 2 のメモリーカードには JPEG 画像をそれぞれ保存します。この設定は <b>📷 画質設定 &gt; 画質モード</b> が、 <b>SUPER FINE+RAW、FINE+RAW、NORMAL+RAW</b> のときのみ有効です。

## 🗂️ カードスロット設定（V.4）

2枚のメモリーカードへの記録方法を変更できます。

設定	説明
順次記録	使用しているメモリーカードスロットのメモリーカードの容量がなくなったら、もうひとつのメモリーカードに自動的に切り替えて保存します。
バックアップ記録	2枚のメモリーカードに同時に保存します。

- ❗ バックアップする動画の動画モードを変更することはできません。撮影時の設定で記録されます。
- 動画モードの設定によっては、バックアップ記録ができない場合があります。

### スロット選択 (📷 順次記録時)

📷 カードスロット設定が順次記録のときに、最初に記録するメモリーカードスロットを設定できます。

設定値	
スロット 1	スロット 2

### スロット選択 (🗂️ 順次記録時)

🗂️ カードスロット設定が順次記録のときに、最初に記録するメモリーカードスロットを設定できます。

設定値	
スロット 1	スロット 2

## フォルダ選択

記録フォルダの切り替えや新規作成ができます。

設定	説明
フォルダ選択	フォーカスレバーを上下に動かして既存のフォルダを選択し、 <b>MENU/OK</b> ボタンを押すと、次に撮影する画像は選んだフォルダに保存されます。
フォルダ作成	5文字のフォルダ名を入力し決定した後、撮影すると、入力した名前のフォルダが作成され、画像はそのフォルダに保存されます。

## 著作権情報

撮影時の著作権情報を画像の Exif 情報に記録できます。画面の内容にしたがってそれぞれ情報を入力すると、設定後に撮影された画像に著作権情報が記録されます。


設定	説明
著作権情報の表示	現在登録されている著作権情報を表示します。
作成者名の入力	作成者名を入力します。
著作権者名の入力	著作権者名を入力します。
著作権情報の削除	現在登録されている著作権情報を削除します。画像に著作権情報を残したくない場合は、 <b>著作権情報の削除</b> を行ってから撮影してください。

## セットアップメニュー（接続設定）

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、**2**（セットアップ）タブを選び、**接続設定**を選びます。



 無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。  
<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

### Bluetooth 設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
ペアリング登録	「FUJIFILM Camera Remote」がインストールされているスマートフォンとペアリング登録します。
ペアリング 接続先選択	ペアリング登録で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。 <b>接続なし</b> を選択するとスマートフォンとのペアリングは行いません。
ペアリング削除	ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。削除するスマートフォンを選んでください。削除されたスマートフォンは <b>ペアリング接続先選択</b> のリストからも削除されます。
Bluetooth ON/OFF	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ON</b>：カメラの電源をオンにすると、常にペアリング登録されているスマートフォンと Bluetooth 接続します。</li><li>● <b>OFF</b>：Bluetooth 接続しません。</li></ul>
撮影後 自動画像転送	<ul style="list-style-type: none"><li>● <b>ON</b>：撮影後に画像を転送予約します。転送予約できる画像は JPEG のみです。</li><li>● <b>OFF</b>：撮影後に画像を転送予約しません。</li></ul>
スマートフォン 同期設定	ペアリング登録されているスマートフォンと同期する内容を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>位置情報 &amp; 日時</b>：位置情報と日時を同期します。</li><li>● <b>位置情報</b>：位置情報のみを同期します。</li><li>● <b>日時</b>：日時のみを同期します。</li><li>● <b>OFF</b>：スマートフォンと同期しません。</li></ul>



- スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。
- **Bluetooth ON/OFF** が **ON** で、**撮影後 自動画像転送**が **ON** のときや再生メニューの**画像転送予約**を設定しているときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。**撮影後 自動画像転送**が **OFF** の場合は、**再生メニュー** > **画像転送予約**で、転送予約する画像を選んで転送予約することもできます。

## ネットワーク設定

無線 LAN（ワイヤレス）に関する設定を変更できます。

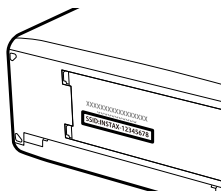
サブメニュー	内容
ワイヤレスアクセス ポイント設定	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>簡単設定</b>：アクセスポイントに簡単接続で接続します。</li><li>• <b>手動設定</b>：アクセスポイントにマニュアル操作で接続します。<b>無線 LAN ルーター選択</b>、<b>SSID 入力</b>を手動で行います。</li></ul>
ワイヤレス IP アドレス設定	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>自動</b>：IP アドレスを自動で設定します。</li><li>• <b>手動</b>：IP アドレスを手動で設定します。<b>IP アドレス</b>、<b>ネットマスク</b>、<b>ゲートウェイ</b>の設定をそれぞれ手動で行います。</li></ul>

## instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

### プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。





## 接続モード (V.4)



外部機器とカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USB カードリーダー	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパソコンに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー撮影 自動	USB ケーブルでパソコン、ジンバル、ドローンなどを接続すると、外部機器からカメラの制御が可能になります。接続した外部機器の電源を入れると、カメラは自動的にテザー撮影状態（外部機器による制御を受け付ける状態）になります。外部機器と接続していないときや外部機器の電源がオフのときは、通常通りにカメラを使用できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>「Capture One」、「Adobe® Photoshop® Lightroom® + Tether Plugin」、「FUJIFILM X Acquire」、「FUJIFILM Pixel Shift Combiner」がインストールされているパソコンと接続すると、撮影した静止画をパソコンへ自動転送したり、パソコンから静止画の撮影を制御したりできます。「FUJIFILM X Acquire」では、カメラ設定の保存や読み込みも可能です。</li><li>「FUJIFILM X Webcam」がインストールされているパソコンと接続すると、カメラをウェブカメラとして使用できます。</li><li>対応したジンバル・ドローンなどを接続すると、ジンバル・ドローン側からカメラの制御が可能になります。制御は静止画撮影と動画撮影の両方行えます。静止画撮影、動画撮影の切り替えはカメラ側で設定します。使用できる機能は接続先のジンバル・ドローンの仕様によって異なります。</li></ul>
USB テザー撮影 固定	<b>USB テザー撮影 自動</b> と使用できる機能は同じです。ただし、外部機器を接続していないときや外部機器の電源がオフのときも、テザー撮影状態（外部機器による制御を受け付ける状態）になります。USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、外部機器からの制御を継続できます。工場出荷時の設定では、撮影した静止画はメモリーカードに記録されませんのでご注意ください。




設定	説明
ワイヤステザー撮影 固定	ワイヤレス接続でテザー撮影モードになります。  <b>接続設定 &gt; ネットワーク設定</b> でアクセスポイントを設定してください。
USB RAW 現像 / 設定保存読込	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」「設定保存読込」が可能になります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>USB RAW 現像</b>：（使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO）カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質に RAW 現像を行います。</li> <li>• <b>設定保存読込</b>：（使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire）カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有したりするときに便利です。接続していないときは通常のカメラとして動作します。</li> </ul>

 **消費電力設定 > 自動電源 OFF** の設定は、テザー撮影中（外部機器を接続した撮影中）でも有効になります。テザー撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。

 このカメラで使用できるソフトウェアについては、 316 をご覧ください。







## スマートフォン無線通信周波数設定

Camera Remote を使用して無線 LAN 通信を行うときの周波数を設定します。

設定値	
2.4GHz (IEEE802.11 b/g/n)	5GHz (IEEE802.11 a/n/ac)
 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 5GHz の一部のチャンネルについて、屋外での使用が禁止されている国・地域があります。ご使用になる前に 5.2GHz 帯 (W52) が使用可能かご確認ください。</li> <li>• 国・地域によって選べる設定値は異なります。</li> </ul>	

## 共通設定

無線 LAN 機能に関する共通設定を変更できます。

サブメニュー	内容
名前	無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。
スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。スマートフォン送信時  圧縮を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 <ul style="list-style-type: none"><li>• ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。ON でのご使用をおすすめします。</li><li>• OFF：元画像のサイズのままで送信します。</li></ul>
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。
 ボタン設定	再生モードで  ボタンを押したときの動作を設定できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>• *ペアリング / 転送予約：ペアリングまたは転送予約を行います。</li><li>•  ワイヤレス通信：ワイヤレス通信を行います。</li></ul>

## 情報表示 (V.4)

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレス、無線 LAN の IP アドレスを表示します。

## ワイヤレス設定初期化

無線通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

## ショートカット機能

9

## ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

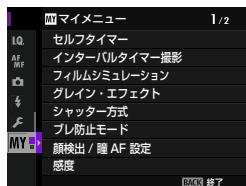
このカメラでは、よく使う機能のメニューをマイメニューやクイックメニューに登録して使用したり、ファンクションボタン、タッチファンクションで機能をダイレクトで呼び出したりできます。

ショートカット機能	内容	目録
マイメニュー	よく使うメニューなどを選んでマイメニューに登録しておくことができます。 <b>MENU/OK</b> ボタンを押して、 <b>M</b> (マイメニュー) タブを選ぶと、登録したメニューのみが表示されます。	261
クイックメニュー	<b>Q</b> ボタンを押すと <b>Q</b> (クイックメニュー) が表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。 <b>Q</b> (クイックメニュー) で設定値を変更することもできます。	263
ファンクションボタン	あらかじめ割り当てられている機能のファンクションボタンを押すと、ダイレクトで割り当てた機能呼び出すことができます。	269
タッチファンクション	タッチファンクション ( <b>T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4</b> ) でタッチパネルをフリックして、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	274

# マイメニュー

よく使うメニューを自由にまとめて登録できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、**MY** (マイメニュー) タブを選びます。



**!** **MY** マイメニューにメニューが登録されていないときは **MY** (マイメニュー) タブを選ぶことはできません。

## マイメニュー設定

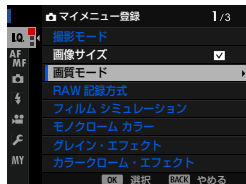
よく使うメニューなどを **MY** マイメニューに登録しておくことができます。登録したメニューは、**MY** (マイメニュー) タブを選ぶと表示されます。

- 1 セットアップメニューの **基本設定** > **マイメニュー設定** または **マイメニュー設定** を選びます。  
メニューが表示されます。



**!** **順序変更** を選ぶと登録したマイメニューの順番を変更できます。**削除** を選ぶと登録したマイメニューを削除できます。

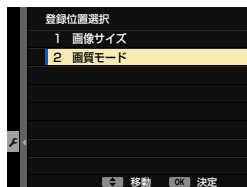
- 2 **登録** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
登録可能なメニューが青文字で表示されます。



**!** 登録済みのメニューにはチェックマークが付きます。

**3** 登録するメニューの順序を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。


マイメニューが登録されます。



**4** **MENU/OK** ボタンを押します。

マイメニュー登録画面に戻ります。

**5** 手順 3 と 4 を繰り返して、マイメニューを登録します。

 最大 16 項目 (8×2 ページ) のメニューが登録できます。

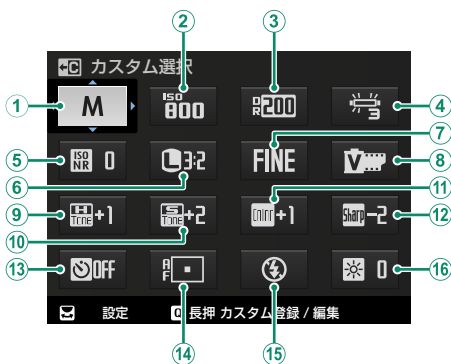
## クイックメニュー

クイックメニューを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。クイックメニューは **Q** ボタンを押して表示させます。

### クイックメニュー画面

クイックメニューに表示する項目は静止画撮影時と動画撮影時で個別に設定できます。工場出荷時は、クイックメニューに以下の機能が割り当てられています。

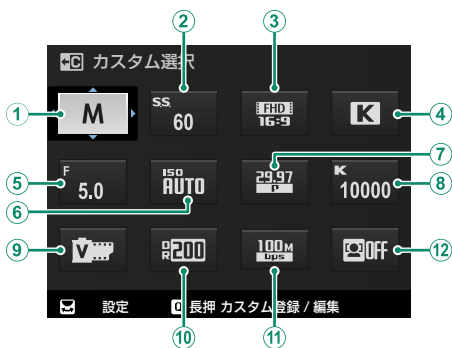
#### 静止画撮影時



#### 工場出荷時の設定

① 撮影モード / カスタム選択	⑨ ハイライトトーン
② 感度	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ 高感度ノイズ低減	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ AFモード
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュ機能設定
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ EVF/LCD 明るさ

各メニュー (② ~ ⑯) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。



### 工場出荷時の設定

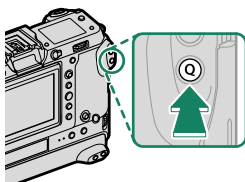
① 撮影モード / カスタム選択	⑦ 動画モード フレームレート
② シャッタースピード	⑧ ホワイトバランス色温度 (K 設定時)
③ 動画モード 解像度 / アスペクト比	⑨ フィルムシミュレーション
④ 白平衡	⑩ ダイナミックレンジ
⑤ 絞り (動画専用操作モード)	⑪ 動画モードビットレート
⑥ 感度	⑫ 顔検出 / 瞳 AF 設定

各メニュー (② ~ ⑫) には、それぞれの設定値が表示されます。各メニュー項目は、入れ替えることができます。



## 設定の確認と変更

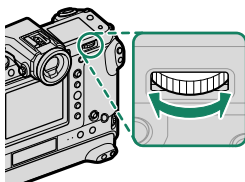
- 1 撮影画面で **Q** ボタンを押します。  
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルで設定値を選びます。



- 4 **Q** ボタンを押します。

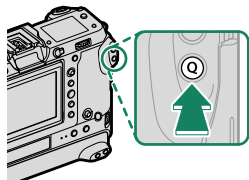
表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。


- クイックメニューの操作はタッチ操作でも行えます。
- Q** ボタンはファンクションボタンとして使用できます。**Fn** 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で、ファンクションボタンの機能を他の機能に割り当てることができます。また、ファンクションボタンの機能を他のボタンに割り当てすることもできます (p.269)。
- Fn** 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定で **Q** ボタン設定をなしに設定すると、**Q** (クイックメニュー) ボタンは無効になります。

## クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。





- 1 撮影画面で **Q** ボタンを長押しします。  
クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。



 静止画撮影時 / 動画撮影時によって、静止画または動画のクイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

- 2 割り当てを変更するメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 割り当てるメニューを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。  
クイックメニューにメニューが割り当てられます。

 クイックメニューの割り当ては、 操作ボタン・ダイヤル設定 >  クイックメニュー登録 / 編集または  クイックメニュー登録 / 編集からも設定できます。





## 割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（**K** 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリック低減
- 感度
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

## 割り当て可能なメニュー（動画）

- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
- 動画感度
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- 動画モード ビットレート
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードブースト
- シャッタースピード
- 絞り（動画専用操作モード ）
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

## ファンクション機能

ファンクションボタン、タッチファンクションに、それぞれ機能を1つ割り当てられます。

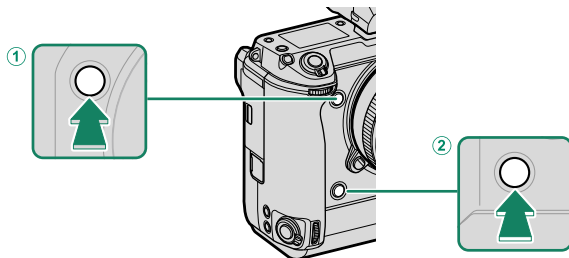
### ファンクションボタン

ファンクションボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。

### ファンクションボタンの工場出荷時設定

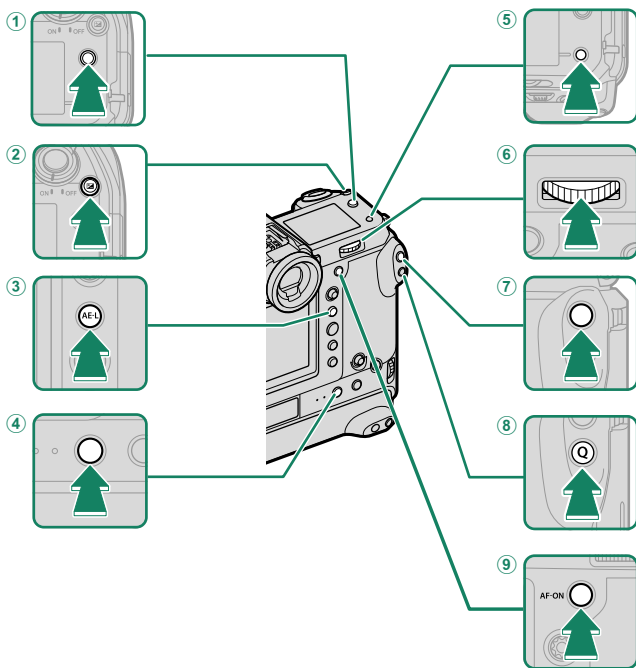
工場出荷時に割り当てられている機能とボタンの位置は次のとおりです。

#### 前面のファンクションボタン



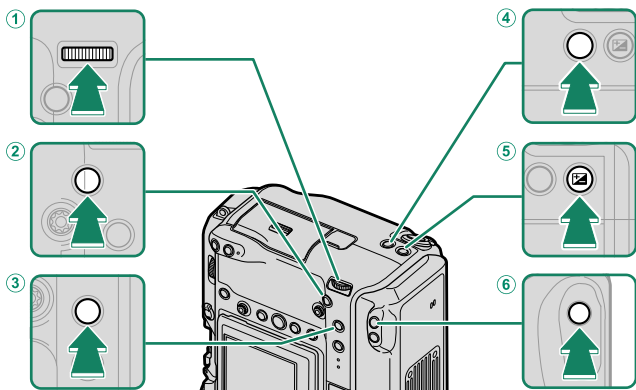
ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn3 ボタン	パフォーマンス
② 縦位置 Fn3 ボタン	パフォーマンス

## 背面のファンクションボタン



ファンクションボタン	割り当てられている機能
① Fn2 ボタン	撮影モード
② Fn1 ボタン	露出補正
③ AE-L ボタン	AE LOCK のみ
④ Fn5 ボタン	AF モード
⑤ サブ液晶モニター切替ボタン	サブ液晶モニター切替
⑥ リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
⑦ Fn4 ボタン	顔検出 ON/OFF
⑧ Q ボタン	クイックメニュー
⑨ AF-ON ボタン	AF-ON




## 背面のファンクションボタン (縦位置)




ファンクションボタン	割り当てられている機能
① 縦位置リアコマンドダイヤル中央押し	フォーカスチェック
② 縦位置 <b>AF-ON</b> ボタン	<b>AF-ON</b>
③ 縦位置 <b>AE-L</b> ボタン	<b>AE LOCK</b> のみ
④ 縦位置 <b>Fn2</b> ボタン	撮影モード
⑤ 縦位置 <b>Fn1</b> ボタン	露出補正
⑥ 縦位置 <b>Fn4</b> ボタン	顔検出 ON/OFF

## ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 撮影モード
- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔セレクト 
- 顔検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- セルフタイマー
- AE ブラケットング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画専用操作モード 
- サブ液晶モニター切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK
- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし

 なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。



## AF-ON の割り当て

AF-ON を割り当てたボタンを押すとピント合わせを行います。

## モデリング発光の割り当て

モデリング発光に対応したクリップオンフラッシュを装着している状態で、**モデリング発光**を割り当てたボタンを押すと、モデリング発光を行います。撮影前に被写体の影の出かたなどを確認できます。

## TTL-LOCK の割り当て

TTL-LOCK を割り当てたボタンを押すと、**⚡ フラッシュ設定 > TTL-LOCK**モードで設定されているモードでロックできます (📖 163)。

## 顔セレクト ※EVF の割り当て

顔セレクト ※EVF を割り当てたボタンで、顔セレクト ※EVF のオンとオフを切り替えることができます。

オンにすると、**AF フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**でピントを合わせる顔を、フォーカスレバーや EVF 使用時のタッチ操作 (📖 30) で選択できます。






オンにすると、フォーカスレバー、EVF 使用時は以下の操作になります。

- フォーカスレバーを動かしてピントを合わせる人物の顔を選択できます。フォーカスレバーの中央を押すと、ピントを合わせる位置を顔ではなく、フォーカスエリアに変更することができます (📖 85)。もう一度押すとピントを合わせる位置は顔に戻ります。
- EVF 使用時はタッチパネル(液晶モニター)の操作やフォーカスレバーでピントを合わせる人物の顔を選択できます。

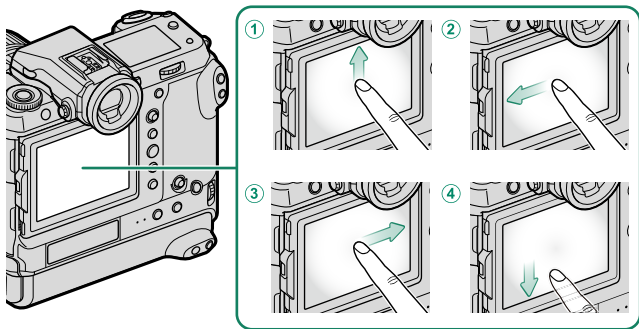
## タッチファンクション

タッチファンクション (T-Fn1/T-Fn2/T-Fn3/T-Fn4) 機能は、タッチパネル (液晶モニター) のフリック動作で機能呼び出すことができます。

 タッチファンクションは工場出荷時の設定ではオフになっています。タッチファンクションを使用する場合は、 操作ボタン・ダイヤル設定 > タッチパネル設定 >  T-Fn タッチファンクションを ON にしてください。

### タッチファンクションの工場出荷時設定




工場出荷時に割り当てられている機能とフリック方向は次のとおりです。



タッチファンクション	割り当てられている機能
① T-Fn1 (液晶モニターを上フリック)	ヒストグラム
② T-Fn2 (液晶モニターを左フリック)	フィルム シミュレーション
③ T-Fn3 (液晶モニターを右フリック)	ホワイトバランス
④ T-Fn4 (液晶モニターを下フリック)	電子水準器

## タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、**操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- Dレンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム選択
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔セレクト 
- 顔検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- セルフタイマー
- AE ブラケット設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 動画専用操作モード 
- サブ液晶モニター切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影後自動画像転送
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。



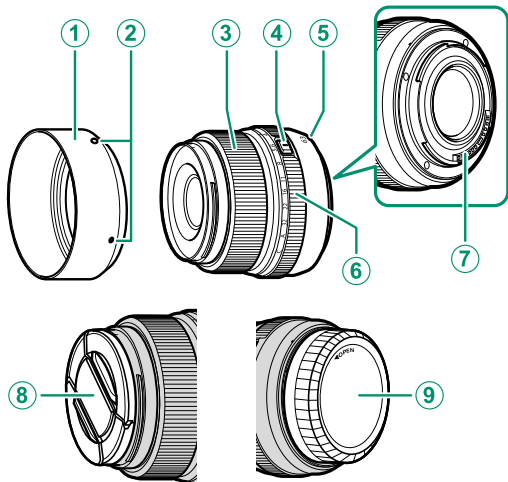
# 10

## オプション品・ 外部機器の使い方

## 交換レンズ

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM G マウント対応の交換レンズが使用できます。

### レンズの各部名称



① レンズフード

② 取り付け指標

③ フォーカスリング

④ 絞りリングロック解除ボタン

⑤ 取り付け指標（焦点距離）

⑥ 絞りリング

⑦ レンズ信号接点

⑧ レンズフロントキャップ

⑨ レンズリアキャップ

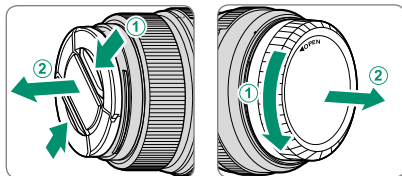
 ここでは、GF63mmF2.8 RWR を例に説明しています。

## 交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

## レンズキャップの取り外し方

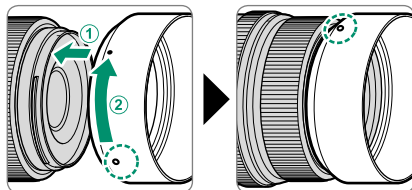
図のようにレンズキャップを取り外します。



❗ レンズキャップは形状が異なることがあります。

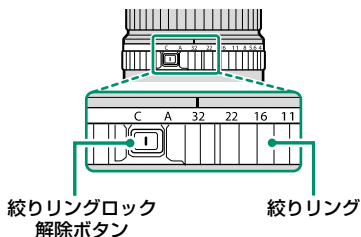
## レンズフードの取り付け方




レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。




## 絞りリング

絞りリングで、撮影時の絞り (F 値) の設定方法を選択できます (撮影モードが **A** (絞り優先)、または、**M** (マニュアル) のとき)。



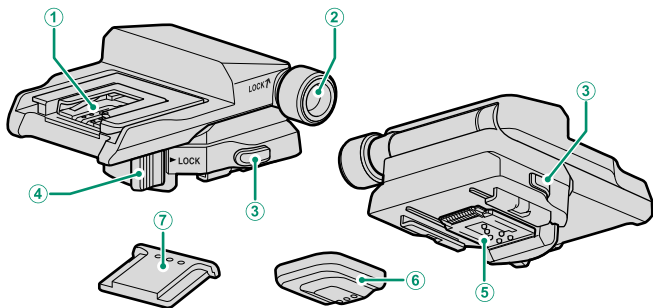
設定	説明
 <b>C</b> ポジション	絞りリングを <b>A/C</b> ポジションに合わせると、カメラ本体のコマンドダイヤルで絞り (F 値) を設定できます。
 <b>A</b> ポジション	
 絞り目盛り ( <b>A/C</b> ポジション以外)	絞りリングの目盛りで、絞り (F 値) を設定できます。

 絞りリングを **A/C** ポジションに合わせるときや、**A/C** ポジションから解除するときは、絞りリングロック解除ボタンを押しながら絞りリングを回してください。



## EVF チルトアダプター

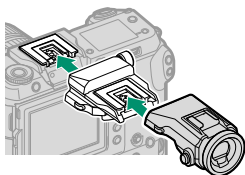
別売の EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着すると、ファインダーの角度を左右 ( $\pm 45^\circ$ )、上下 ( $0^\circ \sim 90^\circ$ ) に変更できます。



- ① ホットシュー
- ② チルトロックつまみ
- ③ アダプターロック解除ボタン
- ④ 回転ロックレバー
- ⑤ 接続端子
- ⑥ 端子カバー
- ⑦ ホットシューカバー

## 取り付け方

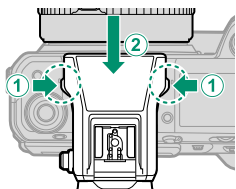
カメラに EVF チルトアダプター EVF-TL1 を装着して、交換式ファインダー EVF-GFX2 を装着します。



カメラと EVF チルトアダプターのホットシューカバーと端子カバーを取り外してから装着してください。

### 取り外し方

交換式ファインダー EVF-GFX2 を取り外して、両方のアダプターロック解除ボタンを押しながら (①)、正面側を押さえて (②) EVF チルトアダプターを取り外します。



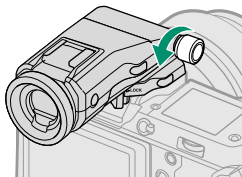
複数の EVF チルトアダプターを取り付けないでください。

## 使い方

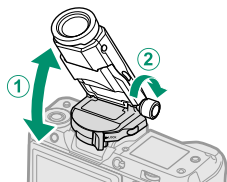
見やすい角度にファインダーを動かします。

### 上下の角度を変える

チルトロックつまみを緩めると、EVF の上下の角度を  $0^{\circ} \sim 90^{\circ}$  で調整できます。

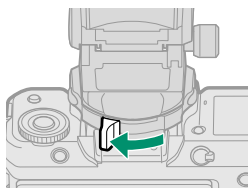


角度の調整が終わったら (①)、チルトロックつまみを締めて固定します (②)。

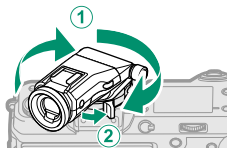


### 左右の向きを変える

回転ロックレバーを左側にスライドすると、EVF の左右の向きを  $\pm 45^{\circ}$  で調整できます。



左右の調整が終わったら (①)、回転ロックレバーを右側にスライドしてロックします (②)。



## クリップオンフラッシュ / シンクロターミナル

別売のクリップオンフラッシュを使うと、大光量の撮影ができます。別売のクリップオンフラッシュには、同調速度よりも高速シャッターに対応するFP（ハイスピードシンクロ）発光対応の製品や、単灯フラッシュとしてだけでなく、ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとしてもご使用いただける製品もあります。

❗ カメラでセットアップメニューを表示しているときなど、フラッシュのテスト発光ができない場合があります。

### 赤目補正について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。赤目現象を補正したいときは、

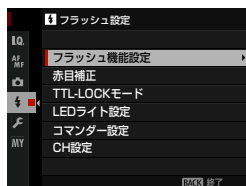
**📷 フラッシュ設定 > 赤目補正を OFF** 以外に設定します。**📷 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON** に設定する必要があります。

## クリップオンフラッシュ・シンクローターミナルを設定する


1 使用するフラッシュをカメラに接続します。

2 撮影メニューの **1** フラッシュ設定 > フラッシュ機能設定を選びます。

カメラに接続しているフラッシュの状態により、表示されるメニューや設定可能な項目が異なります。



フラッシュ設定	説明	
シンクローターミナル	別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。シンクローターミナル、他社製フラッシュ等ホットシューのX接点のみを使用した撮影で使用します。	286
クリップオンフラッシュ	別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	287
コマンダー(光通信)	富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したコマンダーフラッシュを使用するときに表示されます。光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応している別売のクリップオンフラッシュを接続して、電源を入れている場合に表示されます。	290

 ホットシューに何も接続されていない場合やカメラに対応したクリップオンフラッシュ以外が接続されている場合は、**シンクローターミナル**の設定画面が表示されます。

3 フラッシュの設定を変更します。

フォーカスレバーで変更する項目を選び、リアコマンドダイヤルで設定値を変更します。



4 DISP/BACK ボタンを押します。

フラッシュモードが設定されます。

## シンクローターミナル

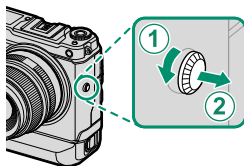
別売のクリップオンフラッシュを使用していないときに表示されます。



項目	設定 / 説明
① モード (発光モード)	<p>ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号を発行するかどうかを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>M</b>: 撮影に同期して、ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号が発行されます。撮影は同調速度よりも長いシャッタースピードを使用する必要があります。また、発光時間の長いフラッシュ、応答の遅いフラッシュなどを使用する場合は、さらに遅いシャッタースピードを設定してください。</li><li>● <b>OFF</b>: ホットシュー X 接点 (シンクローターミナル) からトリガー信号を発行しません。</li></ul>
② 同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>FRONT (先幕)</b>: シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</li><li>● <b>REAR (後幕)</b>: シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</li></ul>

### シンクローターミナルについて

シンクロコードを必要とするフラッシュをお使いになるときは、シンクロコードをシンクローターミナルに接続してください。




## クリップオンフラッシュ

別売のクリップオンフラッシュを使用するときに表示されます。



項目	設定 / 説明
①モード (発光モード)	<p>フラッシュに設定されている発光モードが表示されます。カメラで発光モードを変更できるフラッシュをご使用の場合は、発光モードを選択することができます。表示される内容や設定可能な項目はご使用されているフラッシュにより異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>TTL</b>：TTL 自動調光で発光します。<b>調光補正</b>で発光量を調整できます。</li> <li>• <b>M</b>：被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、<b>発光量</b>で発光強度を変更できます。</li> <li>• <b>Multi</b>：対応しているクリップオンフラッシュをご使用の場合、1回の撮影中に複数回発光（マルチ発光）します。</li> <li>• <b>OFF</b>：フラッシュを使用しません。フラッシュを使用しない設定が可能なフラッシュをご使用の場合に選択できます。</li> </ul>

項目	設定 / 説明
② 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>モードが TTL</b> のときに、調光補正量を調整できます。撮影条件によっては調整可能範囲を超え、設定値が反映されない場合があります。EF-X20、EF-20、EF-42 をご使用の場合は、フラッシュ本体での調光補正設定と合算した補正量が適用されます。</li> <li>● <b>モードが M</b> のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、フル発光 (<math>1/1</math>) から <math>1/512</math> 発光まで、<math>1/3</math> 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</li> <li>● <b>モードが Multi</b> のときに、カメラで発光強度を変更できるフラッシュをご使用の場合は、<math>1/4</math> 発光から <math>1/512</math> 発光まで <math>1/3</math> 段ステップで発光強度を設定できます。状況によっては、フラッシュの発光強度を少量に設定すると、設定値が十分に反映されない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</li> </ul>
③ TTL モード	<p>TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>鋸</b> (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。</li> <li>● <b>帆</b> (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</li> <li>● <b>鋸</b> (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。</li> </ul>



項目	設定 / 説明
④同調モード	<p>フラッシュが発光するタイミングを選びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>FRONT (先幕)</b>: シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。</li> <li>● <b>REAR (後幕)</b>: シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。</li> <li>● <b>⚡ (AUTO FP(HSS))</b>: FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが <b>Multi</b> のときは、<b>先幕</b> となります。</li> </ul>
⑤ズーム設定	<p>照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。カメラで設定変更が可能なフラッシュをご使用の場合は、照射角ズームを設定できます。<b>AUTO</b> の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。</p>
⑥配光設定 (配光特性)	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>☞ (光量優先)</b>: フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。</li> <li>● <b>☞ (スタンダード)</b>: 撮影画角に対して最適な照射角にします。</li> <li>● <b>☞ (配光優先)</b>: 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。</li> </ul>
⑦LEDライト 設定	<p>本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、フラッシュ内蔵のLEDライトの用途を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>👁 (キャッチライト)</b>: キャッチライトのみ使用します。</li> <li>● <b>AF (AF 補助光)</b>: AF 補助光のみ使用します。</li> <li>● <b>👁 (AF 補助光+キャッチライト)</b>: AF 補助光とキャッチライトの両方を使用します。</li> <li>● <b>OFF</b>: どちらも使用しません。</li> </ul>
⑦TIMES* (発光回数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑧Hz* (発光周波数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、発光周波数を設定します。</p>

\* フラッシュの能力を超えた設定を行った場合は、フラッシュ側で設定が調整される場合があります。

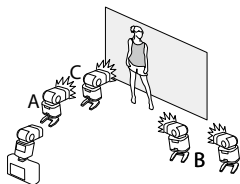
## コマンダー（光通信）

富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュを接続している場合に表示されます。













富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムでは、コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルをCH1～CH4から設定することができます。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分ける際に便利です。

また、システムを構成するフラッシュをA、B、Cの3つのグループに分けて、グループごとに発光モード、発光量を設定できます。



項目	設定 / 説明
① A グループ モード ② B グループ モード ③ C グループ モード (発光モード)	<p>それぞれのグループの発光モードを設定します。A、B グループは <b>TTL/TTL%/M/Multi/OFF</b> から選択できます。C グループは <b>TTL/M/Multi/OFF</b> から選択できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>TTL</b> : <b>TTL</b> を設定したグループのフラッシュは TTL 自動調光で発光します。グループごとに調光補正を設定できます。</li> <li>• <b>TTL%</b> : A または B グループで <b>TTL%</b> を設定すると、A グループと B グループの発光を光量比で設定できます。また A、B グループ全体として調光補正を設定できます。</li> <li>• <b>M</b> : <b>M</b> を設定したグループのフラッシュは、被写体の明るさやカメラ側の設定に関わらず、常に一定の光量で発光します。グループごとにフル発光を基準として発光強度を設定できます。</li> <li>• <b>Multi</b> : A、B または C グループを <b>Multi</b> に設定すると、システム全体がマルチ発光モードになります。マルチ発光モードでは 1 回の撮影中に複数回発光させることができます。</li> <li>• <b>OFF</b> : <b>OFF</b> を設定したグループのフラッシュは発光しません。</li> </ul>
④ A グループ 調光補正 / 発光量 ⑤ B グループ 調光補正 / 発光量 ⑥ C グループ 調光補正 / 発光量 (発光強度)	<p>グループごとに設定されるモードに応じて、調光補正や発光強度が設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• モードが <b>TTL</b> に設定されているときは調光補正を設定できます。</li> <li>• モードが <b>M/Multi</b> に設定されているときは発光強度を設定できます。</li> <li>• モードが <b>TTL%</b> に設定されているときは光量比と調光補正が設定できます。</li> </ul> <p>補正量、発光強度の設定がフラッシュの調整能力を超える場合には、十分に調整できない場合がありますので、実際の撮影画像で確認してください。</p>

項目	設定 / 説明
⑦ TTL モード	TTL 撮影の発光モードを選びます。カメラの撮影モード (P、S、A、M) によって選択可能な設定が異なります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>  (フラッシュ発光 AUTO) : 被写体の明るさに応じて、発光・非発光の判断を含めて適切な発光をカメラが自動で制御します。被写体が十分に明るい場合、フラッシュは発光しません。フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。                     </li> <li>  (スタンダード) : 一般的なフラッシュ撮影に使用します。発光強度はカメラが自動でコントロールします。カメラのシャッターボタンを押したときに、フラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。                     </li> <li>  (スローシンクロ) : 夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。カメラのシャッタースピードが低速に設定されます。カメラのシャッターボタンを押したときにフラッシュが充電されていないときは、撮影を優先して非発光で撮影します。                     </li> </ul>
⑧ 同調モード	フラッシュが発光するタイミングを選びます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>  (先幕) : シャッターが開いた直後にフラッシュが発光します。通常の撮影ではこちらを選んでください。                     </li> <li>  (後幕) : シャッターが閉じる直前にフラッシュが発光します。                     </li> <li>  (AUTO FP(HSS)) : FP (ハイスピードシンクロ) に対応したフラッシュを接続している場合に選択できます。シャッタースピードに応じて、FP (ハイスピードシンクロ) と先幕を自動で切り替えます。シャッタースピードがフラッシュ同調速度より速い場合は、自動で FP になります。モードが Multi のときは、先幕となります。                     </li> </ul>
⑨ ズーム設定	照射角ズームに対応したフラッシュをご使用の場合に照射角設定が表示されます。また、ご使用のフラッシュによっては、カメラで照射角ズームを設定できます。AUTO の設定では、カメラに取り付けているレンズの焦点距離に応じて自動で照射角が変更されます。
⑩ 配光設定 (配光特性)	本機能に対応しているフラッシュをご使用の場合は、撮影画角に対するフラッシュ光の配光 (照射角) 特性を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>  (光量優先) : フラッシュの照射角を若干狭めに設定して到達距離を稼ぎます。                     </li> <li>  (スタンダード) : 撮影画角に対して最適な照射角にします。                     </li> <li>  (配光優先) : 照射角を若干広めにして撮影画面全体の配光の均一性を高めます。                     </li> </ul>

項目	設定 / 説明
⑪ コマンダー設定 (コマンダー発光設定)	<p>モードが <b>TTL</b>、<b>TTL%</b>、<b>M</b> のときに、富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムのコマンダーフラッシュとして使用する際の、発光グループを設定できます。富士フィルムの光通信方式ワイヤレス多灯フラッシュシステムに対応したクリップオンフラッシュを接続している場合に設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Gr A</b> : A グループに設定します。</li> <li>• <b>Gr B</b> : B グループに設定します。</li> <li>• <b>Gr C</b> : C グループに設定します。</li> <li>• <b>OFF</b> : 撮影時には、撮影画像への影響を最小限に抑えた微小光量で発光します。</li> </ul>
⑪ <b>TIMES</b> (発光回数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、1 回の撮影における発光回数を設定します。</p>
⑫ <b>CH</b> 設定	<p>コマンダーフラッシュとリモートフラッシュ間の光通信チャンネルを設定します。近隣で本フラッシュシステムを使用している場合の混信による誤動作を防いだり、複数のフラッシュシステムを使い分けたりする際に便利です。</p>
⑫ <b>Hz</b> (発光周波数)	<p>モードが <b>Multi</b> のときに、発光周波数を設定します。</p>



# 11

## 他機器との接続

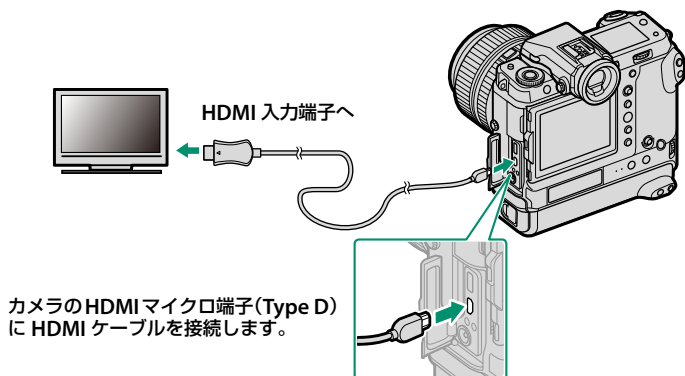
## HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

### HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。  
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。
- 4 カメラの電源をオンにします。  
テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません ( 297)。


- ! ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5 m 以内のものをご使用ください。



## 撮影画面の出力

4K映像または FULL HD 映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

## 再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして  (再生) ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

## 無線通信で接続


### (Bluetooth®/ 無線 LAN (Wi-Fi))

カメラとスマートフォンやパソコンを無線で通信できます。無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

### スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)

カメラとスマートフォンは、Bluetooth または無線 LAN の 2 つの方法で接続できます。

 カメラとスマートフォンを無線で通信するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

#### FUJIFILM Camera Remote について

通信後は、「FUJIFILM Camera Remote」を使って以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信
- スマートフォンでカメラのシャッターをきる
- カメラのファームウェアアップデート

「FUJIFILM Camera Remote」については以下のサイトをご覧ください。

[http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera\\_remote/](http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/)

## Bluetooth® でスマートフォンとペアリングする

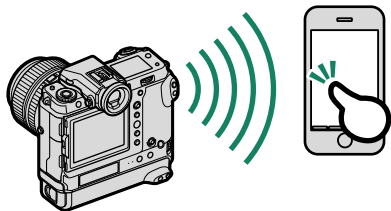
**☑ 接続設定** > **Bluetooth 設定**のペアリング登録で、スマートフォンとカメラをペアリングできます。スマートフォンとペアリングすると、スマートフォンへ画像を簡単に転送できます。



- ☑ 画像の転送は無線 LAN による通信で行われます。
- ☑ ペアリングすると、スマートフォンの位置情報や日時をカメラに同期できます (📖 253)。
- ☑ ペアリング登録したスマートフォンやタブレット (最大7デバイス) を選択して通信できます。

## 無線 LAN でスマートフォンと通信する

**☑ 撮影設定**、**🎞 動画設定**または**🔄 再生メニュー**>ワイヤレス通信で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



## テザー撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > ネットワーク設定** で設定後に、**接続設定 > 接続モード > ワイヤステザー撮影 固定** に設定してください (📖 256)。



- 「Capture One Pro Fujifilm」、 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」、 「FUJIFILM X Acquire」などのソフトウェアをご使用ください。「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC」でご利用いただく場合は、Adobe Exchange サイトから、「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」を入手してください。「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」は無償で入手可能です。




- テザー撮影の詳しい方法は、以下のサイトをご覧ください。

<http://app.fujifilm-dsc.com/jp/#tether>

- 「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」 (📖 316) をご覧ください。

## USB ケーブルで接続

USB ケーブルでパソコンやスマートフォンに接続できます。

 実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

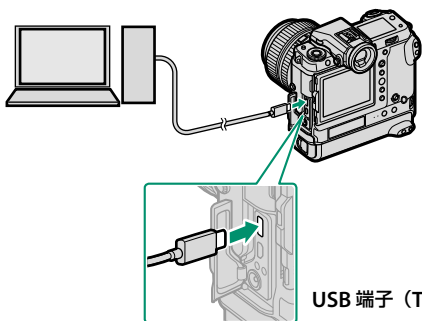
**1** パソコンを起動します。


**2** カメラを用途に応じた設定にします。

- 「テザー撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Pixel Shift Combiner)」 ( 304)
- 「メモリーカードの画像をパソコンに転送する」 ( 305)
- 「カメラをウェブカメラとして使用する (FUJIFILM X Webcam)」 ( 305)
- 「RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)」 ( 306)
- 「カメラの設定を保存する / 読み込む (FUJIFILM X Acquire)」 ( 306)
- 「ピクセルシフトマルチショット」 ( 109)

**3** カメラの電源をオフにします。

**4** USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



 USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

---

## 5 カメラの電源をオンにします。

---


## 6 用途に応じたパソコンのソフトウェアを使用して操作します。

- **テザー撮影機能をご使用の場合**：「Capture One Pro Fujifilm」、  
「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether  
Shooting Plug-in PRO for GFX」、  
「FUJIFILM X Acquire」などでテザー  
撮影を行ってください。
- **画像転送機能をご使用の場合**：OS 標準のアプリケーションなどで、  
画像をパソコンに取り込んでください。
- **ウェブカメラとして使用する場合**：「FUJIFILM X Webcam」でカメラ  
をウェブカメラとして使用できます。
- **RAW 現像機能をご使用の場合**：「FUJIFILM X RAW STUDIO」で RAW  
現像を行ってください。カメラの画像処理エンジンを使用することで、  
高速に RAW 現像機能をご利用いただけます。
- **カメラの設定を保存 / 読込を行う場合**：「FUJIFILM X Acquire」でカメラ  
の設定を保存 / 読込んでください。お好みのカメラ設定を一括でファイル  
に保存したり、複数のカメラ間で設定を同期したりできます。
- **ピクセルシフトマルチショットを行う場合**：ピクセルシフトマルチ  
ショットはテザー撮影にも対応しています。テザー撮影は「FUJIFILM  
Pixel Shift Combiner」で行います。




- USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

## テザー撮影機能を使用する (Capture One Pro Fujifilm/ Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX/ FUJIFILM X Acquire/FUJIFILM Pixel Shift Combiner)

- カメラをあらかじめ  **接続設定 > 接続モード > USB テザー撮影 自動** に設定してください。



- 「Capture One Pro Fujifilm」、 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」、 「FUJIFILM Pixel Shift Combiner」 などのソフトウェアをご使用ください。

-  ● **USB テザー撮影固定**は、カメラをテザー撮影専用の状態を使用する場合に選択してください。この状態では USB ケーブルを抜いてもカメラは通常のカメラとして機能せず、撮影した画像がメモリーカードに保存されませんのでご注意ください。
- テザー撮影の詳しい方法は、以下のサイトをご覧ください。  
<http://app.fujifilm-dsc.com/jp/#tether>
- 「Capture One Pro Fujifilm」、 「Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX」、 「FUJIFILM X Acquire」、 「FUJIFILM Pixel Shift Combiner」 の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」 (📖 316) をご覧ください。



## メモリーカードの画像をパソコンに転送する

- カメラをあらかじめ **接続設定 > 接続モード > USB カードリーダー** に設定してください。
- お使いのパソコンに適したソフトウェアをご使用ください。



## Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

- !** ファイルサイズが4GBを超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。

## Windows をお使いの方

Windows をお使いの方は、OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。

## カメラをウェブカメラとして使用する (FUJIFILM X Webcam)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > 接続モード > USB テザー撮影 自動** に設定してください。
- 「FUJIFILM X Webcam」をご使用ください。



- 📄** 「FUJIFILM X Webcam」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(頁316)をご覧ください。

## RAW 現像する (FUJIFILM X RAW STUDIO)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > 接続モード > USB RAW 現像 / 設定保存読込** に設定してください。
- 「FUJIFILM X RAW STUDIO」をご使用ください。



「FUJIFILM X RAW STUDIO」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(p. 316)をご覧ください。

## カメラの設定を保存する / 読込む (FUJIFILM X Acquire)

- カメラをあらかじめ **接続設定 > 接続モード > USB RAW 現像 / 設定保存読込** に設定してください。
- 「FUJIFILM X Acquire」をご使用ください。



「FUJIFILM X Acquire」の詳細は、「カメラで使えるソフトウェア」(p. 316)をご覧ください。

## スマートフォンと接続する

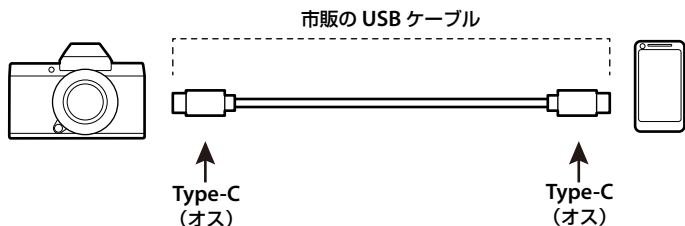
スマートフォンに画像を転送するときは、カメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

### Android のスマートフォンをお使いの方

スマートフォンに搭載されている USB 端子の形状によって、接続方法が異なります。

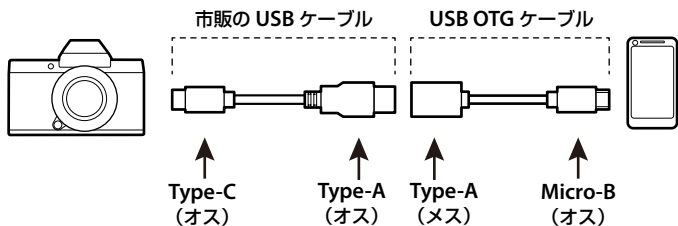
#### USB Type-C の場合

カメラに搭載されている USB 端子 (Type-C) と接続するケーブルをご用意ください。



#### USB Micro-B の場合

USB OTG 対応ケーブルでカメラとスマートフォンを接続します。



- ! スマートフォンが USB OTG に対応している必要があります。
- USB Type-C と USB Micro-B のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。OTG ケーブルを使用してください。

---

**1** カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



「Camera Importer」以外のアプリ（「フォト」など）へのアクセスを許可するかどうかを確認する通知が表示された場合は、「キャンセル」をタップして手順2に進みます。

---

**2** スマートフォンを操作して、「Android システム・USB PTP に接続しました」の通知をタップします。

---

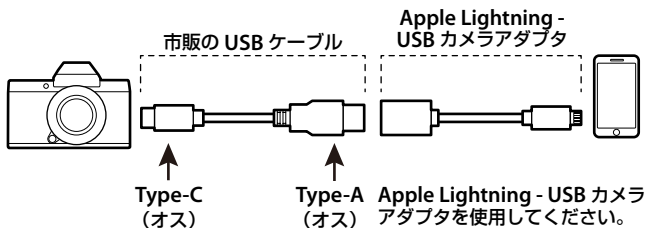
**3** USB デバイス用のアプリの中から「Camera Importer」を選びます。自動的に「Camera Importer」アプリが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



「Camera Importer」アプリから「There is no MTP device connected」などの通知が表示された場合は、USBケーブルを抜いて、手順1からやり直してください。


## iOS のスマートフォンをお使いの方

カメラアダプタでカメラとスマートフォンを接続します。カメラには USB 端子 (Type-C) が搭載されているので、別途カメラアダプタの USB 端子 (Type-A) と接続するケーブルをご用意ください。



カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

「写真」アプリを起動すると、画像 / 動画をインポートできます。

- 
 USB Type-C を搭載した iPad Pro、iPad Air を接続するときは、Type-C to C の USB ケーブルを使用してください。
- USB Type-C と Lightning のケーブルで直接つないだ場合、正しく接続できません。カメラアダプタを使用してください。

## instax SHARE プリンターと接続

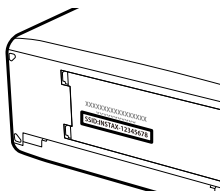
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

### プリンターとの接続を設定する

**接続設定** > **instax プリンター接続設定**を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

#### プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



## 画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー > instax プリンター  
プリントを選ぶと、カメラとプリンターの  
接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタン  
を押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。





# 12

資料

## カメラで使える別売アクセサリー

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリーを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/>をご覧ください。

---

**充電式バッテリー NP-T125**：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

---

**バッテリーチャージャー BC-T125**：充電式バッテリー NP-T125 を充電します (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。

---

**AC パワーアダプター AC-15V**：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。カメラ本体内のバッテリーを充電することもできます。

---

**GF シリーズレンズ**：FUJIFILM G マウント専用の交換レンズです。

---

**EVF チルトアダプター EVF-TL1**：装着することでファインダーの角度を左右 (±45°)、上下 (0°～90°) に変更できます。

---

**アイカップ EC-XH W/EC-XT L/EC-XT M/EC-XT S/EC-GFX**：ファインダー接眼部に装着するアイカップです。

---

**マウントアダプター H MOUNT ADAPTER G**：GX645AF 用の交換レンズ SUPER EBC FUJINON HC レンズ 9 本とテレコンバータ 1 本をカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

---

**マクロエクステンションチューブ MCEX-18G WR/MCEX-45G WR**：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

---

**ビューカメラアダプター VIEW CAMERA ADAPTER G**：「CM FUJINON」など、往年のフジノン大判カメラ用レンズなどを使用して撮影を行う際に使用するビューカメラアダプターです。

---

**クリップオンフラッシュ EF-X500**：ガイドナンバー最大 50 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光に対応しています。また、富士フィルム光通信多灯システムのコマンダーフラッシュ、リモートフラッシュとしても使用できます。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

**バッテリーパック EF-BP1**：EF-X500 用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

**クリップオンフラッシュ EF-60**：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 60 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。同調速度を超えた高速シャッターに追従する FP (ハイスピードシンクロ) 発光や、別売ワイヤレスコマンダー EF-W1 をコマンダーとしたリモートフラッシュとしても使用できます。

**ワイヤレスコマンダー EF-W1**：NAS \*無線通信方式に対応したフラッシュ用ワイヤレスコマンダーです。別売クリップオンフラッシュ EF-60 やニッシンジャパン株式会社の NAS 対応フラッシュと合わせて使用できます。

\*NAS はニッシンジャパン株式会社の登録商標です。

**クリップオンフラッシュ EF-42**：ガイドナンバー最大 42 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能、24 ~ 105mm (35mm フィルム換算) のオートズーム機能、マニュアル発光機能を搭載しております。バウンス角度は上 90°、左 180°、右 120°です。単三電池 4 本を使用します。

**クリップオンフラッシュ EF-X20**：ガイドナンバー 20 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。単四電池 2 本を使用した小型、軽量のフラッシュで、TTL 調光補正、マニュアル発光強度をダイヤルで設定できます。

**クリップオンフラッシュ EF-20**：ガイドナンバー 20 (ISO 100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。TTL 自動調光機能のみを搭載しており、マニュアル発光には対応していません。バウンス角度は上 90°です。単三電池 2 本を使用します。

**リモートレリーズ RR-100**：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください。

**ステレオマイク MIC-ST1**：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

**グリップベルト GB-001**：本体に装着することでホールド感を高めます。

**ボディキャップ BCP-002**：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

**instax SHARE プリンター SP-1/SP2/SP-3**：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

## カメラで使えるソフトウェア

このカメラでは、以下のソフトウェアを使用できます。最新情報については、<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/compatibility/cameras/> をご覧ください。

### FUJIFILM Camera Remote

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです (📖 298)。

[http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera\\_remote/](http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/)

### RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKPIX

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです。富士フィルムウェブサイトから無償で入手可能です。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/software/raw-file-converter-ex-powered-by-silkpix/>



本ソフトウェアは、株式会社市川ソフトウェアラボラトリーが提供するソフトウェアです。

### Capture One Express Fujifilm

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです。Capture One 社から無償で入手可能です。

<https://www.captureone.com/ja/products-plans/capture-one-express/fujifilm>

### Capture One Pro Fujifilm

Capture One 社のテザー撮影、RAW 現像に対応したワークフローソフトウェアです。

<https://www.captureone.com/ja/explore-features/fujifilm>

## Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC + FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX

Adobe® Photoshop® Lightroom® Classic CC に、専用のプラグインソフトウェア FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX を追加することで PC 撮影が可能になります。FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX は Adobe Exchange サイトから無償で入手可能です。

FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/adobe-photoshop-lightroom-tether-plugin/>

## FUJIFILM X Acquire

カメラとパソコン（Windows/Mac）を USB ケーブルまたは Wi-Fi 経由で接続し、撮影した画像をパソコンに自動転送して指定したフォルダに保存したり、USB 接続によりカメラ設定をバックアップ / リストアしたりすることができるパソコン用アプリケーションソフトウェアです。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-acquire/>



一部のカメラは撮影した画像の自動転送（テザー撮影機能）に対応していません。

## FUJIFILM X Webcam

パソコンとカメラを USB ケーブルで接続することで、カメラをウェブカメラとして活用することができるソフトウェアです。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-webcam/>

## FUJIFILM X RAW STUDIO

パソコンとデジタルカメラを USB ケーブルで接続して、パソコンに代わり、デジタルカメラに搭載している独自の画像処理エンジンを使用して演算することで、高速かつ高品質な RAW 現像を実現します。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/products/software/x-raw-studio/>

## FUJIFILM Pixel Shift Combiner

ピクセルシフト撮影した複数の画像の合成や、偽色の低減処理ができるパソコン用アプリケーションです (📖 109)。

<https://fujifilm-x.com/products/software/pixel-shift-combiner/>

# お取り扱いにご注意ください


## ご使用前に必ずお読みください

### 安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプター、USBケーブルを外す。



電源プラグを抜く

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。

カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。



水ぬれ禁止

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプター、USBケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買い上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。



風呂、シャワー室での使用禁止

風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解禁止

分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

**警告**

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

感電したり、破損部でケガをする原因になります。



接触禁止

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 一度端子部分が曲ってしまったコネクタは使用しないでください。



不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。



移動中の使用はしない。

歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。



雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。

落雷すると誘電雷により感電の原因になります。



指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。

電池は極性(⊕⊖)表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。



指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。



電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、

失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。

視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。



**△ 警告**

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。



- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

電源を入れたまま長時間、身体の同じ箇所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。



- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。



誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

**△ 注意**



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜く



ときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

電源プラグを  
抜く

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- ・ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンターにご依頼ください。

### 電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

### 充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

#### ■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

#### ■ 充電について

- 付属の充電器を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が +5℃～ +40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - +10℃～ +35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は +10℃～ +35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

#### ■ バッテリーの寿命について

- 常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

## ■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が +15℃～ +25℃ くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。



バッテリーは、過度な低気圧中に放置しないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

## ■ 電池の廃棄について

- 電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。
- 電池は、機械的に押し潰し、又は切断しないでください。

## ■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBR」のホームページをご参照ください。

<https://www.jbr.com/>

**■ AC パワーアダプター使用機種**

必ず専用の AC パワーアダプターをお使いください。

弊社専用品以外の AC パワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

AC パワーアダプターに関する詳細は、取扱説明書をご参照ください。

- 室内専用です。
- DC 入力端子へ、接続コードのプラグをしっかりと差し込んでください。
- DC 入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- AC パワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。  
詳細は <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> をご覧ください。
- 使用中、AC パワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

## カメラをお使いになる前のご注意

### ■ 撮影の前には試し撮りをしましょう

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

### ■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

### ■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

### ■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

## ■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop ならびに Lightroom は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

## ■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

## カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

### ■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

### ■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

### ■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

### ■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

### ■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。



## メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

### ■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- スポンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

### ■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

## レンズとアクセサリについてのご注意

- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが4.5mm以下の製品をご使用ください。
- 他社製品と組み合わせ使用した際の性能や、それによって生じた事故や故障につきましては保証いたしかねます。

## 無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

**重要！** 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。

**!** 本製品は、米国輸出規則（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

### ■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときにはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

### ■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

### ■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

### ■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品は電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダ等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。

**■ 本製品は「電波法」に基づく技術基準適合証明を受けた無線設備を内蔵し、証明ラベルは無線設備上に表示または、画面で確認することができます。以下の行為は法律で罰せられることがあります。**

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

**■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
  - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

■ 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社デジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。

• 2.4GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

**2.4DS/OF4**

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

**2.4XX8**

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

• 5GHz 帯使用時の注意事項（日本国内向け）

5GHz の周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz 帯（W52/W53/W56）の 3 種類の帯域を使用することができます。5.2GHz/5.3GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

■ 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

Bluetooth 機能は、電源を切っても機能が働く場合があります。Bluetooth 機能を停止させるためには、**接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF** を **OFF** に設定してください。

## レンズをご使用前に必ずお読みください


### 安全上のご注意

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

### 警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

火災・感電の原因になります。

分解禁止

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。**


感電したり、破損部でケガをする原因になります。

接触禁止

• 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店または弊社デジタルカメラサポートセンター、修理サービスセンターにご相談ください。








 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽を見ない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

**△ 注意**

-  **油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**  
火災・感電の原因になることがあります。
-  **異常な高温になる場所に置かない。**  
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。  
火災の原因になることがあります。
-  **小さいお子様の手の届くところに置かない。**  
ケガの原因になることがあります。
-  **濡れた手で触らない。**  
感電の原因になることがあります。
-  **逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。**  
太陽光がカメラ内部に直接入ることで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
-  **使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。**  
太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
-  **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。**  
転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

## お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のよう  
にお手入れすることをおすすめします。

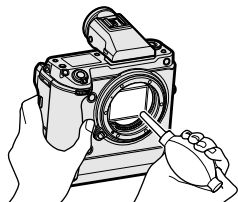
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブローブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブローでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

## センサークリーニング

■ 基本設定 > センサークリーニングを実行しても汚れが取れない場合は、ブローでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社修理サービスセンターでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

- 1 センサーの表面に付着したほこりをブロー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



- 2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

- 3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。


- ❏ ブローはブラシの付いていないものを使用してください。ブローのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
- 取り除けていない場合は、再度ブローでクリーニングしてください。

## ファームウェア更新情報


本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種 of ファームウェア更新情報をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

### ファームウェアバージョンの確認方法

 バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

- 1 カメラの電源をオフにします。  
メモリーカードが入っていることを確認します。
- 2 **DISP/BACK** ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。
- 3 バージョンの確認ができれば、電源をオフにしてください。

 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。



## トラブルシューティング / FAQ



カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

### 電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	頁	
<b>ON/OFF</b> （電源）レバーを <b>ON</b> に合わせても電源がオンになりません。  <b>ON/OFF</b> （電源）レバーをオフにしたあとに素早くオンにしても液晶モニターが点灯しません。  バッテリー、電源について  バッテリーの消耗が早いです。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	40	
	バッテリーを正しい向きで入れていませんか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	44	
	バッテリートレイはきちんと取り付けられていますか？	バッテリートレイをきちんと取り付けてください。		
	—	—	液晶モニターが点灯するまで、シャッターボタンを半押しし続けてください。	—
	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	—	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
	バッテリーの端子が汚れていませんか？	—	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
同じバッテリーを長時間使っていませんか？	<b>プリ AF を ON</b> に設定していませんか？	<b>プリ AF を ON</b> で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	142	
	—	バッテリーの寿命の可能性があります。 <b>バッテリー劣化度</b> を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。	221	
使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	40	

	症状	ここをチェック！	処置	📖	
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	40	
		バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。		
		プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	プラグを正しくコンセントに接続してください。		
		最後に充電してから長期間経っていませんか？	長期間充電しないと、安全のため充電ができなくなります。新しいバッテリーと交換してください。		
		充電器使用時にプラグアダプターは正しく充電器に装着されていますか？	プラグアダプターを正しく充電器に装着してください。		43
		USB 充電時に USB ケーブルはパソコンに接続されていますか？	パソコンと正しく USB ケーブルで接続してください。		44
	USB 充電時にパソコンの電源がオフまたは休止状態になっていませんか？	パソコンの電源がオンになっていることを確認し休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続し直してください。			
充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—		
充電について	充電中にインジケータランプ 2 が点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	44	
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	<b>バッテリー劣化度</b> を確認し、劣化している場合は、新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	221 314 369	

## メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	
メニューが日本語以外で表示されています。	 言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	53 220

## 撮影時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	46 200
		メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	218
		メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	46
		バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	40
		電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	49
		他社製のマウントアダプターを使用していますか？	<b>レンズなしリリースをON</b> にしてください。	242
シャッターボタンを半押しすると、EVF や LCD にノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているので、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—	
マニュアル	ピントを合わせられません。	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	97

	症状	ここをチェック！	処置	頁
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	143
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが使用できない設定になっていませんか？	フラッシュが使用できる設定に変更してください。	162
		バッテリー残量が少なくなっていないですか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	40
		ドライブモードが連写やブラケティングになっていませんか？	ドライブモードを連写やブラケティング以外に設定してください。	7
フラッシュについて	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗い。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。	72 76 358


症状	ここをチェック！	処置	📖
画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れが付いていませんか？	レンズを清掃してください。	—
	レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	57
	撮影時にAF フレーム（赤点灯）と <b>!AF</b> が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	58
撮影した画像の異常について	画像に点状のノイズがあります。	撮像素子の特性* によるもので、故障ではありません。 <b>ピクセルマッピング</b> を実行してください。	128
		* 撮像素子が X 線や宇宙線などの影響を受けると、撮影画像に「輝点（白、赤、青など）」が生じる場合があります。 <b>ピクセルマッピング</b> を行うと輝点が軽減されます。	
画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにしたあとでご利用ください。	49
	温度警告が表示されていませんか？		354

撮影した画像の異常について


## 再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができません。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	224
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがなくてください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがなくてください。	—
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	204
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリートレイを取り出しましたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリートレイを取り出すと、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	249

## 接続時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続について	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、再生モードでは、カメラの画面には何も表示されません。	296
	カメラの画面にもテレビの画面にも何も表示されません。	<b>VIEW MODE</b> ボタンによる切り替えが <b>EVF ONLY +</b>  になっていませんか？	ファインダーに目を近づけてください。 <b>VIEW MODE</b> ボタンを押して、他の設定に変更してください。	18
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	296
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
テレビの音量が小さくなっていますか？	テレビの音量を調節してください。			
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	301
	「FUJIFILM X RAW STUDIO」、 <b>「FUJIFILM X Aquire」</b> がカメラを正常に認識しません。	カメラの <b>接続モード</b> を確認してください。	カメラを USB ケーブルで接続するときに、あらかじめ <b>USB RAW 現像 / 設定保存読込</b> に設定してください。	306





	症状	ここをチェック！	処置	
スマートフォンなどの接続について	スマートフォンと接続できません。	接続の方法を確認してください。	スマートフォンに搭載されている端子の形状によって、接続方法が異なります。	307

## 無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。  
<https://digitalcamera-support-ja.fujifilm.com/>

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンと接続できません。  スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。  画像送信が途中で失敗 / 切断します。	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	298
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は 1 台のみです。  別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	298
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。  周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。 他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	

症状	ここをチェック！	処置	📖
スマートフォンに送信できません。	動画が選択されていませんか？ (画像を取り込み機能の使用時)	動画の送信には時間がかかる場合があります。またスマートフォンで再生できない動画は送信できない場合があります。	298
スマートフォンで受信した画像が開けません。	共通設定のスマートフォン送信時  圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時  圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	258



## その他


	症状	ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	44
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	40
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
		ボタンロックをしていますか？	<b>MENU/OK</b> ボタンを長押しして、ロックを解除してください。	15 17
カメラの動作などについて	カメラが正常に動作しなくなりました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	44 369
	EVF/LCD の画像がカクカクした動きになりスムーズな動きに見えません。	—	<b>パフォーマンスがノーマル</b> に設定されている場合、一定時間何も操作をしないと、フレームレートが低下します。ボタンを操作すると通常のフレームレートに戻ります。	247
音について	音が出ません。	<b>音設定</b> で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	223

	症状	ここをチェック！	処置	📖
EVFに ついて	EVFが表示しません。	EVFを正しく装着 しましたか？	EVFを「カチッ」と 音（感触）がするまで 押し込み、装着して ください。	12
Q (クイック メニュー)	<b>Q</b> ボタンを押しても クイックメニューが 表示されません。	TTL-LOCK状態になっ ていませんか？	TTL-LOCKを解除して ください。	163

## 警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点減)	バッテリーの残量がありません。	
<b>!AF</b> (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。</li> <li>適切な明るさ(露出)ではありませんが撮影できます。</li> </ul>
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源を入れ直してください。</li> <li>電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</li> </ul>
フォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンでフォーマットされています。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物が入っています。	カメラの電源をオフにしてレンズを取り外し、異物を取り除いて電源を入れ直してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れています。	弊社動作確認済みのメモリーカードを挿入してください。
プロテクトされたカードです	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。

警告表示	警告内容	処置
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
	静止画または動画を記録中にメモリーカードを取り出しました。	記録中はメモリーカードを取り出さないでください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 <b>コマ NO.</b> を <b>新規</b> に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 <b>コマ NO.</b> を <b>連番</b> に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。



警告表示	警告内容	処置
プロテクトされています	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロテクトされているファイルを消去しようとしました。</li> <li>プロテクトされているファイルを回転しようとしました。</li> </ul>	プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 🚫 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません 🚫 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
🚫 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—
📁 実行できません		
4K 設定とモニターが合っていない 📺 動画モードを変更してください	HDMI 接続機器とカメラの動画モードが合っていない。	適切な動画モードに変更すると接続できる場合があります (📖 165)。

警告表示	警告内容	処置
! (黄)	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	
! (赤)	カメラの温度が上昇しています。画面にノイズが多くなったり、連写速度、表示のなめらかさなどのパフォーマンスが低下したり、動画撮影ができなくなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

## 標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード				
			16GB			32GB	
画質		SUPER FINE	FINE	NORMAL	SUPER FINE	FINE	NORMAL
静止画	4:3	260	390	630	530	790	1260
	RAW (非圧縮)	70			150		
	RAW (ロスレス圧縮)	140			300		
	RAW (圧縮)	220			440		
動画 *1、*2	4K 2160	20分			40分		
	FHD 1080	20分			40分		


\*1 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。

\*2 ビットレートが工場出荷時の設定の場合。

**!** 動画を連続して撮影した場合、32GB よりも大きい SD メモリーカード (32GB を含まず) 使用時は、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも 1 つの動画ファイルとして記録されます。32GB 以下の SD メモリーカード (32GB を含む) 使用時は、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能です。動画ファイルは分割して記録されます。

## 主な仕様

システム																											
製品名	FUJIFILM GFX100																										
製品型番	FF180005																										
有効画素数	約 1 億 200 万画素																										
撮像素子	43.8mm × 32.9mm BA、原色フィルター採用																										
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード* (弊社推奨品)																										
メモリーカードスロット	SD カード × 2 (UHS-II 対応)																										
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静止画：DCF2.0 準拠</li> <li>● 圧縮：Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 /DPOF 対応</li> <li>● 非圧縮 / ロスレス圧縮：RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり、TIFF (RGB)</li> <li>● 動画：H.265/H.264 規格準拠 (MOV)、ステレオ音声付き</li> <li>● 音声 (ボイスメモ)：ステレオ (WAVE)</li> </ul>																										
記録画素数	<table border="0"> <tr> <td><b>L</b> 4:3 (11648 × 8736)</td> <td><b>L</b> 65:24 (11648 × 4304)</td> </tr> <tr> <td><b>L</b> 3:2 (11648 × 7768)</td> <td><b>L</b> 5:4 (10928 × 8736)</td> </tr> <tr> <td><b>L</b> 16:9 (11648 × 6552)</td> <td><b>L</b> 7:6 (10192 × 8736)</td> </tr> <tr> <td><b>L</b> 1:1 (8736 × 8736)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 4:3 (8256 × 6192)</td> <td><b>M</b> 65:24 (8256 × 3048)</td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 3:2 (8256 × 5504)</td> <td><b>M</b> 5:4 (7744 × 6192)</td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 16:9 (8256 × 4640)</td> <td><b>M</b> 7:6 (7232 × 6192)</td> </tr> <tr> <td><b>M</b> 1:1 (6192 × 6192)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 4:3 (4000 × 3000)</td> <td><b>S</b> 65:24 (4000 × 1480)</td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 3:2 (4000 × 2664)</td> <td><b>S</b> 5:4 (3744 × 3000)</td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 16:9 (4000 × 2248)</td> <td><b>S</b> 7:6 (3504 × 3000)</td> </tr> <tr> <td><b>S</b> 1:1 (2992 × 2992)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><b>RAW</b> (11808 × 8754)</td> <td><b>TIFF</b> (11648 × 8736)</td> </tr> </table>	<b>L</b> 4:3 (11648 × 8736)	<b>L</b> 65:24 (11648 × 4304)	<b>L</b> 3:2 (11648 × 7768)	<b>L</b> 5:4 (10928 × 8736)	<b>L</b> 16:9 (11648 × 6552)	<b>L</b> 7:6 (10192 × 8736)	<b>L</b> 1:1 (8736 × 8736)		<b>M</b> 4:3 (8256 × 6192)	<b>M</b> 65:24 (8256 × 3048)	<b>M</b> 3:2 (8256 × 5504)	<b>M</b> 5:4 (7744 × 6192)	<b>M</b> 16:9 (8256 × 4640)	<b>M</b> 7:6 (7232 × 6192)	<b>M</b> 1:1 (6192 × 6192)		<b>S</b> 4:3 (4000 × 3000)	<b>S</b> 65:24 (4000 × 1480)	<b>S</b> 3:2 (4000 × 2664)	<b>S</b> 5:4 (3744 × 3000)	<b>S</b> 16:9 (4000 × 2248)	<b>S</b> 7:6 (3504 × 3000)	<b>S</b> 1:1 (2992 × 2992)		<b>RAW</b> (11808 × 8754)	<b>TIFF</b> (11648 × 8736)
<b>L</b> 4:3 (11648 × 8736)	<b>L</b> 65:24 (11648 × 4304)																										
<b>L</b> 3:2 (11648 × 7768)	<b>L</b> 5:4 (10928 × 8736)																										
<b>L</b> 16:9 (11648 × 6552)	<b>L</b> 7:6 (10192 × 8736)																										
<b>L</b> 1:1 (8736 × 8736)																											
<b>M</b> 4:3 (8256 × 6192)	<b>M</b> 65:24 (8256 × 3048)																										
<b>M</b> 3:2 (8256 × 5504)	<b>M</b> 5:4 (7744 × 6192)																										
<b>M</b> 16:9 (8256 × 4640)	<b>M</b> 7:6 (7232 × 6192)																										
<b>M</b> 1:1 (6192 × 6192)																											
<b>S</b> 4:3 (4000 × 3000)	<b>S</b> 65:24 (4000 × 1480)																										
<b>S</b> 3:2 (4000 × 2664)	<b>S</b> 5:4 (3744 × 3000)																										
<b>S</b> 16:9 (4000 × 2248)	<b>S</b> 7:6 (3504 × 3000)																										
<b>S</b> 1:1 (2992 × 2992)																											
<b>RAW</b> (11808 × 8754)	<b>TIFF</b> (11648 × 8736)																										
レンズマウント	FUJIFILM G マウント																										

システム		
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>静止画</b>：ISO100～12800 (1/3 段ステップ)、AUTO 1～3 ISO50、25600、51200、102400 は拡張モード</li> <li>● <b>動画</b>：ISO200～12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO25600 は拡張モード</li> </ul>	
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> <li>● TTL256分割測光</li> <li>● マルチ、スポット、アベレージ、中央部重点</li> </ul>	
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル	
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>静止画</b>：-5EV～+5EV (1/3 段ステップ)</li> <li>● <b>動画</b>：-2EV～+2EV (1/3 段ステップ)</li> </ul>	
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>メカニカルシャッター／電子先幕シャッター</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- P モード時：4 秒～1/4000 秒</li> <li>- A モード時：30 秒～1/4000 秒</li> <li>- S/M モード時：60 分～1/4000 秒</li> <li>- バルブ：最長 60 分</li> </ul> </li> <li>● <b>電子シャッター／メカニカル+電子／電子先幕シャッター+電子</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- P モード時：4 秒～1/16000 秒</li> <li>- A モード時：30 秒～1/16000 秒</li> <li>- S/M モード時：60 分～1/16000 秒</li> <li>- バルブ：最長 60 分</li> </ul> </li> </ul>	
連写	<b>選択可能な連写速度 (コマ / 秒 [fps]) JPEG</b>	
	<b>連写モード</b>	<b>メカニカルシャッター</b>
	<b>電子シャッター</b>	
	<b>CH 高速連写</b>	5.0
	<b>CL 低速連写</b>	2.0
	 連写速度と連続記録枚数は、撮影環境やご使用のメモリーカードによって変わります。	
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>モード</b>：シングル AF、コンティニュアス AF、マニュアルフォーカス (リング回転式)</li> <li>● <b>AF 方式</b>：インテリジェントハイブリッド AF (TTL コントラスト AF + 位相差 AF)、AF 補助光付き</li> <li>● <b>AF フレーム選択</b>：シングルポイント、ゾーン、ワイド／トラッキング、オール</li> </ul>	

<b>システム</b>	
ホワイトバランス	AUTO、カスタム 1～3、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球、水中
セルフタイマー	OFF、2秒、10秒
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>モード</b>：TTL（フラッシュ発光 AUTO、スタンダード、スローシンクロ）、マニュアル、マルチ、OFF</li> <li>• <b>同調モード</b>：先幕、後幕、AUTO FP（ハイスピードシンクロ）</li> <li>• <b>赤目補正</b>：赤目抑制発光+補正処理、赤目抑制発光、補正処理、OFF</li> </ul>
ホットシュー	あり（TTL フラッシュ対応）、同調シャッタースピード 1/125 秒以下
シンクロ接点	X 接点、同調シャッタースピード 1/125 秒以下
シンクロターミナル	あり
ファインダー（EVF）	交換式ファインダー EVF-GFX2（付属）
液晶モニター（LCD）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>背面</b>：3.2 型カラー液晶モニター、約 236 万ドット、3 方向チルト式、タッチパネル付き</li> <li>• <b>天面</b>：1.80 型 memory LCD、303 × 230 ドット</li> </ul>
リアサブモニター	2.05 型有機 EL、256 × 64 ドット
動画 （ステレオ音声付き）	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>画像サイズ</b>：<b>4K</b> 16:9、<b>DCl</b> 17:9、<b>FHD</b> 16:9、<b>FHD</b> 17:9</li> <li>• <b>フレームレート</b>：59.94P、50P、29.97P、25P、24P、23.98P</li> <li>• <b>ビットレート</b>：400Mbps、200Mbps、100Mbps、50Mbps</li> <li>• <b>記録 / 出力形式</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>H.265</b>：SD カード 4:2:0 10bit/HDMI 出力 4:2:2 10bit</li> <li>- <b>H.264</b>：SD カード 4:2:0 8bit/HDMI 出力 4:2:2 10bit</li> </ul> </li> </ul>

## 入出力端子

マイク入力端子	φ 3.5mm ステレオミニジャック
ヘッドホン出力端子	φ 3.5mm ステレオミニジャック
リモートリリース端子	φ 2.5mm 3 極ミニジャック
デジタル入出力	USB 端子（Type-C）USB3.2Gen1x1
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子（Type D）

## 電源部、その他

## 電源

- 充電式バッテリー NP-T125 (付属)
- AC アダプター AC-15V (別売)

バッテリー作動可能  
枚数 / 時間の目安

- **バッテリー**：NP-T125 (2個)
- **レンズ**：GF63mmF2.8 RWR 使用
- **クリップオンフラッシュ**：非装着
- **撮影モード**：Pモード
- **オートパワーセーブ**：ON

## 静止画撮影枚数

パフォーマンス	LCD	EVF
ブースト	約 700 枚	約 560 枚
ノーマル	約 800 枚	約 740 枚

## 1回の充電で撮影できる合計動画時間

画質	実撮影電池寿命	連続撮影電池寿命
4K <sup>*1</sup>	約 100 分	約 170 分
FHD <sup>*2</sup>	約 150 分	約 240 分

\*1 フレームレート 29.97fps の場合

\*2 フレームレート 59.94fps の場合

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数や時間の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時では、バッテリー作動可能枚数は少なくなり、時間は短くなります。

## 本体外形寸法

## (幅×高さ×奥行き)

156.2mm × 144.0mm × 75.1 (48.9\*) mm

\* 突起部含まず、奥行きは最薄部表記

## 本体質量

約 1155g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)

## 撮影時質量

約 1320g (付属バッテリー、メモリーカード含む)

## 動作環境

- **温度**：-10℃～+40℃ (バッテリー充電時：+5℃～+40℃)
- **湿度**：10%～80% (結露しないこと)

## ワイヤレス通信

### 無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac (無線 LAN 標準プロトコル)
使用周波数範囲 (中心周波数)	<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>イスラエル、インドネシア</b> : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch)</li><li>• <b>アメリカ合衆国、カナダ、中国、インド、韓国、マレーシア</b> : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5745 MHz ~ 5825 MHz (UNII-3)</li><li>• <b>EU 加盟国、日本、オーストラリア、ノルウェー、 ニュージーランド、トルコ、香港、フィリピン、ベトナム、 シンガポール、タイ、UAE、ロシア、台湾、サウジアラビア、 カタール、バーレーン、オマーン、エジプト、イラン、クウェート、 レバノン、ウズベキスタン</b> : 2412 MHz ~ 2462 MHz (11 ch) : 5180 MHz ~ 5320 MHz (W52、W53) : 5500 MHz ~ 5700 MHz (W56)</li></ul>
アクセス方式	インフラストラクチャーモード

### Bluetooth®

準拠規格	Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)
使用周波数範囲 (中心周波数)	2402 MHz ~ 2480 MHz



## 交換式ファインダー EVF-GFX2


種類	有機 EL
サイズ	0.5 型
画素数	約 576 万ドット
光学倍率	0.86 倍 (35mm 判換算 50mm レンズ、無限遠、視度 -1.0m <sup>-1</sup> )
対角視野	約 41 度 (水平視野 約 33 度)
視度調節	-4m <sup>-1</sup> ~ +2m <sup>-1</sup> (dpt)
アイポイント	約 23mm
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	53.6mm × 36.4mm × 80.1mm
質量	約 95g


## バッテリー NP-T125

公称電圧	10.8V
公称容量	1250mAh
使用温度	-10℃ ~ +40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.0mm × 54.4mm × 26.0mm
質量	約 81g

## バッテリーチャージャー BC-T125

定格入力	AC 100V ~ 240V 50/60Hz
入力容量	23 ~ 31VA
定格出力	DC 12.6V 800mA
適合バッテリー	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-T125
充電時間	約 140 分 (+25℃において)
使用温度	+5℃ ~ +40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	71.4mm × 97.0mm × 34.2mm (突起物を除く)
質量	約 120g

 質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

# 索引

## 【数字】

- 2 画面表示、21
- 2 画面モード表示設定、231
- 4K 映像出力先、170
- 4K HDMI 出力解像度 (スタンバイ時)、171
- 4K フレーム間ノイズリダクション、178
- 35mm フォーマットモード、160

## 【A～Z】

- A** (絞り優先撮影)、74
- AE/AF-LOCK 設定、243
- AE/AF ロック、97
- AE-L (AE ロック) ボタン、98
- AE ブラケティング、100
- AE ブラケティング設定、156
- AE ロック、97, 98
- AF-ON、273
- AF-C カスタム設定、138, 181
- AF+MF、145
- AF (オートフォーカス)、80
- AF 警告、9
- AF 合焦音量、223
- AF 速度、181
- AF 補助光、142, 163, 174, 181
- AF ロック、97
- AF ポイント表示、141
- AF モード、83, 137, 180
- ALL-Intra、167
- AUTO 設定、94
- AWB-LOCK 設定、243
- Bluetooth 設定、253
- BULB (バルブ撮影)、78
- C** (AF-C)、81, 84, 138, 147, 181
- CH 設定、164
- DISP/BACK** (表示 / 戻る) ボタン、20, 193
- DPOF 指定、214

- D レンジ優先、120, 199
- EVF (ファインダー)、14, 18
- EVF 明るさ、19, 225
- EVF 鮮やかさ、19, 225
- EVF 色調整、225
- EVF タッチパネル有効範囲、30, 245
- EVF チルトアダプター、11, 281
- Fn** (ファンクション) ボタン、269
- F-Log/HLG/RAW 撮影、168
- F-Log ビューアシスト、229
- FUJIFILM Camera Remote、161, 211, 254, 298, 316
- FUJIFILM instax SHARE、215, 255, 310
- FUJIFILM Pixel Shift Combiner、109, 304, 318
- FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO for GFX、300, 304, 317
- FUJIFILM X Acquire、300, 304, 306, 317
- FUJIFILM X RAW STUDIO、306, 318
- FUJIFILM X Webcam、317
- FULL HD 映像出力先、170
- H.264 LPCM、166
- H.265(HEVC) LPCM、166
- HDMI、171, 296
- HDMI ケーブル、296
- HDMI 出力情報表示、171
- HDMI タイムコード出力、190
- HDMI レックコントロール、171
- instax プリンター接続設定、255, 310
- instax プリンタープリント、215, 311
- ISO 感度、93, 158, 173
- ISO ブラケティング、100
- LCD (液晶モニター)、10, 16, 18, 21, 30
- LCD 明るさ、19, 226
- LCD 鮮やかさ、19, 226
- LCD 色調整、226

LED ライト設定、163  
 Long GOP、167  
**MENU/OK** ボタン、28, 112, 176, 197, 218  
 MF アシスト、146, 182  
**M** (マニュアルフォーカス)、88  
**P** (プログラム撮影)、56, 70  
**P、S、A、M** 撮影、70  
**Q** (クイックメニュー) ボタン、263  
 RAW FILE CONVERTER EX powered by SILKYPIX、316  
 RAW 画像、113  
 RAW 記録方式、114  
 RAW 現像、198, 257, 318  
 SD/SDHC/SDXC メモリーカード、48  
**S** (シャッタースピード優先撮影)、72  
**S** (AF-S)、81, 83, 147  
 TTL、287  
 TTL-LOCK、163, 273  
 TTL-LOCK モード、163  
 USB RAW 現像 / 設定保存読込、257  
 USB ケーブル、43, 301  
 USB テザー撮影、256, 304  
 WB シフト、122, 199  
 Wi-Fi (無線 LAN)、298

**【あ】**  
 アイカップ、13  
 アイセンサー、18  
 赤目補正、162, 206, 284  
 後幕シャッター、286, 289, 292  
 アドレス、258  
 アベレージ (測光)、95  
 色温度、124  
 色空間、127, 199  
 インジケータランプ、9, 42, 43, 174  
 インターバルタイマー撮影、154  
 インターバルタイマー撮影露出平準化、155  
 液晶モニター (LCD)、10, 16, 18, 21, 30

オートフォーカス (AF) 撮影、80  
 オプション品 (別売アクセサリ)、314  
 お手入れについて、334  
 オーディオ設定 (撮影メニュー)、187  
 オートパワーオフ (自動電源 OFF)、246  
 オートパワーセーブ、248  
 オール (AF モード)、84  
 音設定 (セットアップメニュー)、223

**【か】**

カードスロット設定、250, 251  
 カードなしリリース、242  
 海外で使うとき、328  
 開始時間設定、189  
 外部フラッシュ (別売クリップオンフラッシュ)、284  
 外部マイク、63  
 外部マイクレベル設定、187  
 カウントアップ設定、189  
 顔検出 / 瞳 AF 設定、143, 182  
 顔セレクト、273  
 拡大表示、87, 91, 196  
 風音低減、188  
 画質設定 (撮影メニュー)、112, 176  
 画質モード、113, 199  
 カスタム選択、128, 175  
 カスタム登録内容の自動更新、133, 175  
 カスタム登録 / 編集、129, 175  
 カスタムホワイトバランス、122  
 画像回転、205  
 画像コピー、209  
 画像サイズ、112, 199  
 画像転送予約、210  
 カメラで使えるソフトウェア、316  
 画面のカスタマイズ、22, 231  
 カラー、125, 177, 199  
 カラークローム・エフェクト、117, 199  
 カラークローム ブルー、118, 199  
 感度 (ISO 感度)、93, 158, 173

基本設定 (セットアップメニュー)、218  
キャッチライト、163  
共通設定、258  
距離指標、90  
距離指標の単位、90, 230  
記録画素数、356  
クイックメニュー (Qメニュー) ボタン、  
239, 263, 266  
クイックメニュー登録 / 編集、239, 266  
クイックメニュー背景設定、238  
クリップオンフラッシュ、284, 285, 287,  
315  
グレイン・エフェクト、117, 199  
ケーブルプロテクター、4  
減感 (増感 / 減感)、199  
言語、53, 220  
高感度ノイズ低減、126, 178, 199  
交換レンズ、39, 278  
工場出荷時 (リセット)、222  
合焦マーク、82  
コマ NO. (コマナンバー)、249  
コマンダー設定、164  
コマンダー (光通信)、290  
コマンドダイヤル、8  
コマンドダイヤル回転方向、241  
コマンドダイヤル設定、240  
コンティニユアス AF (C)、81

## [さ]

再生音量、224  
再生時拡大倍率、230  
再生時の表示画面、192  
再生ズーム、196  
再生方法、195  
再生メニュー、viii, 197  
先幕シャッター、286, 289, 292  
撮影画像表示、227  
撮影時の表示画面、14

撮影スタンバイモード、248  
撮影設定 (撮影メニュー)、152  
撮影メニュー、iv, 111  
撮影モード、56, 62, 112, 165  
サブ液晶モニター、24  
サブ液晶モニター照明ボタン、26  
サブ液晶モニター設定、234  
サブ液晶モニター背景色、26, 238  
自動電源 OFF (オートパワーオフ)、246  
視度調節ダイヤル、13  
絞りリング、280  
絞り値、71, 74, 76  
絞り優先 (A) 撮影、74  
シャープネス、125, 178, 199  
シャッター音、224  
シャッター音量、224  
シャッタースピード、71, 72, 76, 357  
シャッタースピード優先、72  
シャッター選択、134  
シャッター方式、157  
周辺光量補正、136, 179  
消去、60, 200  
ショートカット機能、260  
消費電力設定 (セットアップメニュー)、  
246  
情報表示、258  
情報表示拡大 表示設定、233  
情報表示拡大モード (EVF)、232, 233  
情報表示拡大モード (LCD)、232, 233  
情報表示コントラスト調整、233  
情報表示の切り替え、20, 193  
初期設定、51  
処理前画像記録、250  
シングル AF (S)、81  
シングルポイント (AF モード)、83, 84  
シンクローターミナル、284, 285, 286  
スタンダード画面、22

- ズームリング、57
- スポット（測光）、95
- スマートフォン、161, 211, 299
- スマートフォン無線通信周波数設定、257
- スムーズスキン・エフェクト、118, 199
- スローシンクロ、288, 292
- スロット切り替え、197
- スロット選択、251
- 静止画（再生）、59
- 静止画（プログラム撮影）、56
- 世界時計、219
- 接続設定（セットアップメニュー）、253
- 接続モード、256
- セットアップメニュー、ix, 217
- ゼブラ設定、173
- ゼブラレベル、173
- セルフタイマー、152
- セルフタイマー音量、223
- セルフタイマー設定保持、153
- セルフタイマーランプ、153
- センサークリーニング、221, 334, 335
- 操作音量、224
- 操作ボタン・ダイヤル設定（セットアップメニュー）、239
- 増感（増感/減感）、199
- ゾーン（AFモード）、83, 84
- ゾーンエリア特性、140
- 速度変化特性、139
- 測光、95, 156, 171
- 測光モード、95
- 測光&フォーカスエリア連動、147
- ソフトウエア、316
- 【た】**
- ダイナミックレンジ、119, 177, 199
- ダイナミックレンジ BKT、101
- タイムコード設定（撮影メニュー）、189
- タイムコード表示、189
- 多重露出撮影、106
- タッチパネル設定、244
- タッチパネルモード、150, 184
- タッチファンクション、33, 244, 274
- 縦位置撮影、35
- 縦表示、35
- 縦/横位置 AF モード切替、141
- 縦横自動回転再生、230
- 縦横自動回転表示、35, 227
- ダブルタップ拡大、244
- タリーランプ、174
- 中央部重点（測光）、95
- 長秒時ノイズ低減、126
- 著作権情報、252
- デジカメプリント、214
- デジタルスプリットイメージ、91, 146
- デジタルマイクロプリズム、91, 146
- テレビ接続（HDMI 出力）、296
- 電源、49
- 電子先幕シャッター（シャッター方式）、157
- 電子シャッター（シャッター方式）、157
- 電子水準器、23
- 点像復元処理、127, 199
- 動画圧縮方式、167
- 動画クロップ倍率固定モード、167
- 動画再生、66
- 動画撮影、62
- 動画設定（撮影メニュー）、65, 165
- 動画専用操作モード、32, 174
- 動画モード、165
- 同時消去（RAW/JPEG 分割記録時）、202
- トーンカーブ、125, 177, 199
- ドライブボタン、7
- ドライブモードダイヤル、6
- トラッキング（AFモード）、84
- トリミング、202

ドロップフレーム、190

## 【な】

内蔵マイクレベル設定、187

長押し (MENU/OK ボタン)、15, 17, 245

長押し (Q ボタン)、266

長押し (再生ボタン)、59, 197

長押し (消去ボタン)、218

長押し (リアコマンドダイヤル中央)、8, 91

ナチュラルライブビュー、228

日時設定 / 日時変更、53, 219

認証、222

ネットワーク設定、254

## 【は】

バージョンの確認方法、336

ハイスピードシンクロ (FP)、289, 292

パソコン接続、301

発光モード、286, 287, 291

バッテリー、40, 44, 50

バッテリー劣化度、221

パフォーマンス、247

バルブ撮影、78

半押し AF、241

半押し AE、241

ピクセルシフトマルチショット、109

ピクセルマッピング、128

被写界深度確認、75, 90

被写界深度スケール、148, 183

被写体保持特性、139, 181

ヒストグラム表示、23

表示設定 (セットアップメニュー)、225

表示比率、216

標準撮影枚数 / 記録時間、355

ピントの確認、90

ファイル形式、166, 199

ファイル名編集、250

ファンクション (Fn) 設定、240, 272

ファンクション (Fn) ボタン、269

フィルムシミュレーション、115, 176, 199

フィルムシミュレーション BKT、100, 156  
ブースト、247

フォーカス BKT、102

フォーカス BKT 設定、102, 156

フォーカス位置拡大、145

フォーカスエリア、85, 86, 137, 180

フォーカスエリア選択、83, 85, 137, 180

フォーカス設定 (撮影メニュー)、137, 180

フォーカスチェック、146, 183

フォーカスチェックロック、186

フォーカス点数切り替え、142

フォーカスピーキング、92, 146, 182

フォーカスモード、81

フォーカス優先 (レリーズ優先 / フォーカス優先)、148

フォーカスリミッター、149, 183

フォーカスリング、242

フォーカスリング操作、242

フォーカスレバー、5, 85, 239

フォーカスレバー設定、239

フォーマット (初期化)、218

フォトブックアシスト、212

フォルダ選択、252

ブラケット撮影、99

フラッシュ機能設定、162

フラッシュ設定 (撮影メニュー)、162

プリ AF、142

フリッカー低減、158

プリント予約 (DPOF)、214

フレーミングガイド、229

ブレ防止モード、159, 172

ブレ防止モードブースト、172

プログラム (P) 撮影、56, 70

プログラムシフト、71

プロテクト、204

フロントコマンドダイヤル (コマンドダイヤル)、8, 240

ペアリング、51, 253, 299

別売アクセサリ、314  
ヘッドホン音量、188  
ボイスメモ設定、207  
保存設定（セットアップメニュー）、249  
ホワイトバランス、121, 177, 199  
ホワイトバランス BKT、101

**【ま】**

マイク端子設定、188  
マイクレベルリミッター、188  
マイメニュー（マイメニュー設定）、220, 261  
マウントアダプター設定、134, 179  
マニュアル (M) 撮影、76  
マニュアル時モニター露出 /WB 反映、79, 228  
マニュアルフォーカス (M)、88  
マルチ再生、196  
マルチ（測光）、95  
無線 LAN (Wi-Fi)、298  
銘板プレート、5  
明瞭度、126, 199  
メカニカルシャッター（シャッター方式）、157  
メモリーカード、46, 47  
モノクローム カラー、117, 176, 199

**【ら】**

リアコマンドダイヤル（コマンドダイヤル）、8, 240  
リアサブモニター、27  
リアサブモニター明るさ、238  
リアサブモニター設定、236  
リサイズ、203  
リセット、222  
リモートリリース、79  
レーティング、208  
リリース優先（リリース優先 / フォーカス優先）、148

連写（連続撮影）、104  
レンズ（取付）、39  
レンズ（交換レンズ）、278  
レンズキャップ、279  
レンズフード、279  
レンズなしリリース、242  
レンズ登録、134  
ローカットフィルター、188  
露出補正、96  
露出補正ボタン設定、243  
ロスレス圧縮、114  
ロック、245

**【わ】**

ワイド（AF モード）、84  
ワイヤレス設定初期化、258  
ワイヤレス通信、161, 175, 211  
ワンプッシュ AF 時の動作、147, 183

## ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

### 1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

### 2 富士フィルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/> をご覧ください。

### 3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？  
トラブルが発生する直前の操作は？  
カメラの状態は？  
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱いについて」をご確認ください。



# アフターサービスについて

## 保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

## 修理

### ■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

### ■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは富士フィルムイメージングプラザに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンターのご案内が巻末にあります。

### ■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

### ■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

## 個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルムデジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは富士フィルムイメージングプラザにお願いいたします。

## 修理依頼票

※ あらかじめ「個人情報の取扱について」をご確認ください。

※ 本紙は拡大コピーしてお使いください。

※ 下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		FAX 番号	
ご住所	〒      -		
製品名（型名）		ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体に 記載してある8桁の 番号です。 修理お問い合わせ時に ご連絡ください。	NO.
修理品への添付	<input type="checkbox"/> 保証書 <input type="checkbox"/> （ <input type="checkbox"/> （	<input type="checkbox"/> メモリーカード	<input type="checkbox"/> バッテリー ） ）
見積	<input type="checkbox"/> 要（修理金額	円以上見積り）	<input type="checkbox"/> 不要
見積連絡方法	<input type="checkbox"/> 電話	<input type="checkbox"/> FAX	
故障症状 （故障時の様子）			
ご購入時期	20    年    月	※保証書を添付してください。	
修理履歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 再依頼（ <input type="checkbox"/> 同一症状 <input type="checkbox"/> 別症状）		
発生 状況	発生頻度	<input type="checkbox"/> 開始時のみ <input type="checkbox"/> いつも <input type="checkbox"/> 時々（    日に    回）	
	動作モード	<input type="checkbox"/> 再生時 <input type="checkbox"/> 撮影時 <input type="checkbox"/> ショックを与えると	
	他機との接続	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有（接続機                      ）	
	使用電源		



- 本製品に関するお問い合わせは…

### 富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

TEL 0570-04-1060

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX  
03-6625-2809 050-3786-2060

※メールでのお問い合わせ、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/contact/>



- 修理に関するご相談受付窓口は・・・

### 富士フイルム修理サービスセンター

TEL 0570-04-1040

- 上記電話番号がご利用いただけない場合 ■FAX  
03-6625-2810 050-3786-2040

- 修理品の送付先  
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1

※修理に関するサービス内容、窓口の受付時間などはこちらをご覧ください。  
<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/repair/>



- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 0570-04-1711

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

# FUJIFILM

---

**FUJIFILM Corporation**

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

